

市民・事業者・学生ニーズ（アンケート）調査結果

目次

1. アンケートの概要	4
2. アンケート集計分析結果	5
2.1 市民	6
1. 回答者の属性	6
(1) Q1 性別	6
(2) Q2 職業	6
(3) Q3 年齢	6
(4) Q4 家族構成	7
(5) Q5 居住者人数	7
(6) Q6 居住年数	7
(7) Q7 住宅状況	8
(8) Q8 居住地区	8
2. 環境の保全に関わる行動の取組状況	9
(1) Q9	9
3. 省エネルギー・再生可能エネルギー設備などの利用状況について	29
(2) Q10	29
4. 環境への取組に対する満足度及び重要度	38
(1) Q11	38
(2) Q12	38
5. 望ましい環境像	57
(1) Q13	57
6. 大切だと思うまたは将来に残したい場所について	61
(1) Q14	61
7. 環境に関する情報の認知度	61
(1) Q15	61
(2) Q16	65
(3) Q17	68
8. 市に望む環境施策	70
(1) Q18	70
9. 市の環境に関する意見	74
(1) Q19	74
2.2 事業者	78
1. 回答者の属性	78
(1) Q1 業種	78

(2) Q2 事業所の種類	78
(3) Q3 従業員数	79
(4) Q4 事業活動年数	79
2. 環境の保全に関わる行動の実践状況について	80
(1) Q5.....	80
3. 省エネルギー・再生可能エネルギー設備などの利用状況.....	82
(1) Q6.....	82
4. 市の環境に対する貴事業所の満足度及び重要度	85
(1) Q7.....	85
(2) Q8.....	85
5. 環境問題に対する考えについて	92
(1) Q9.....	92
(2) Q10.....	93
6. 事業所独自の環境保全の取組について	94
(1) Q11.....	94
7. 市に望む環境施策.....	95
(1) Q12.....	95
(2) Q13.....	96
2.3 学生	98
1. 環境への取組に対する満足度及び重要度	98
(1) Q1.....	98
2. 環境の保全に関わる行動の取組状況.....	105
(1) Q2.....	105
3. 望ましい環境像	106
(1) Q3.....	106
4. 大切だと思うまたは将来に残したい場所について	107
(1) Q4.....	107
5. 環境に関する情報の認知度	108
(1) Q5.....	108
(2) Q6.....	108

1. アンケートの概要

	市民		事業者	学生
対象	郵送	Web	・（一社）白井工業団地協議会会員 227 事業者 ・商工会会員 524 事業者	・市内の小学 4 年生 677 人 ・市内の中学 2 年生 739 人
	・市内の満 18 歳以上の市民に対して住民台帳から無作為抽出	・Web アンケート会社登録モニターから白井市民を無作為抽出		
調査項目	・設問 1～8 回答者の属性 ・設問 9 環境保全行動の実践状況 ・設問 10 省エネ・再エネ設備の利用状況 ・設問 11、12 市の取組への満足度・重要度 ・設問 13 望ましい環境像 ・設問 14 将来残したい場所 ・設問 15～17 環境に関する情報の認知度 ・設問 18 市に望む環境施策 ・設問 19 環境に関する意見		・設問 1～4 事業所の属性 ・設問 5 環境保全行動の実践状況 ・設問 6 省エネ・再エネ設備の利用状況 ・設問 7、8 市の取組への満足度・重要度 ・設問 9、10 環境問題への考え方 ・設問 11 環境に配慮した事業活動の実施状況 ・設問 12 市に望む環境施策 ・設問 13 環境に関する意見	・設問 1 市の取組への満足度・重要度 ・設問 2 環境保全行動の実践状況 ・設問 3 望ましい環境像 ・設問 4 将来残したい場所 ・設問 5、6 環境に関する情報の認知度
回収率	53.8%（1,076 人／2,000 人）	19.6%（110 人／562 人）	33.6%（252 事業所／751 事業所）	75.5%（1069 人／1416 人） （11 校／14 校） ※3 校は新型コロナウイルスの影響等により未実施
実施時期	令和 2 年 2 月 14 日～3 月 10 日	令和 2 年 2 月 17 日～2 月 19 日	令和 2 年 2 月 14 日～3 月 10 日	令和 2 年 2 月 14 日～3 月 10 日
発 送 方 法 回 収	調査票の郵送回収	Web ページでの回収	調査票の郵送回収	各学校へ配布・回収
送 付 資 料	・依頼文 ・調査票 ※リマインダ葉書を送付	—	・依頼文 ・調査票	・依頼文 ・調査票

2. アンケート集計分析結果

市民、事業所、小中学生のアンケート集計分析結果を以下に示す。単純集計の結果に加えて、年齢や住居形態、事業所の種類などでクロス集計を実施することで、より詳細な傾向等を抽出している。

経年変化では、平成 27 年度、平成 22 年度に実施したアンケート結果と今回のアンケート結果を比較している。

なお、集計結果は端数処理の関係により、合計が 100% とならないことがある。

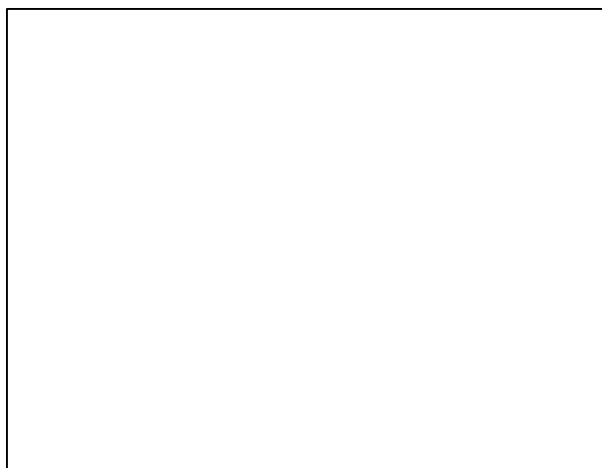
【結果の見方について】

設問内容及び集計分析結果は、以下に示す記載様式で統一してまとめている。各設問内容を記載し、アンケート集計をもとに作成したグラフと集計表を記載している。

□設問内容（記載イメージ）

1) 設問○ ●●●●

.....。	
1.	3.
2.	4.

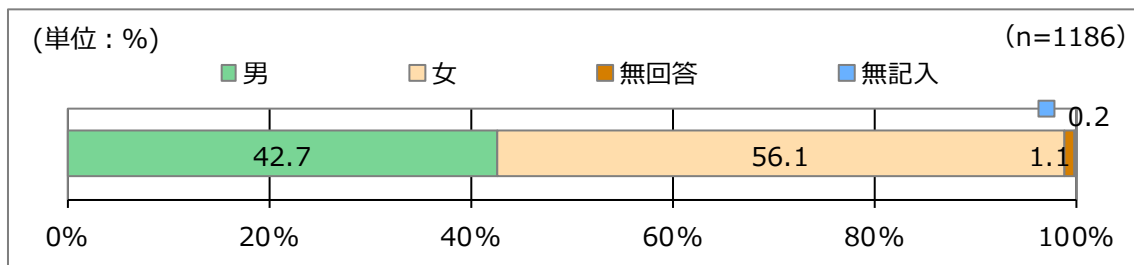


2.1 市民

1. 回答者の属性

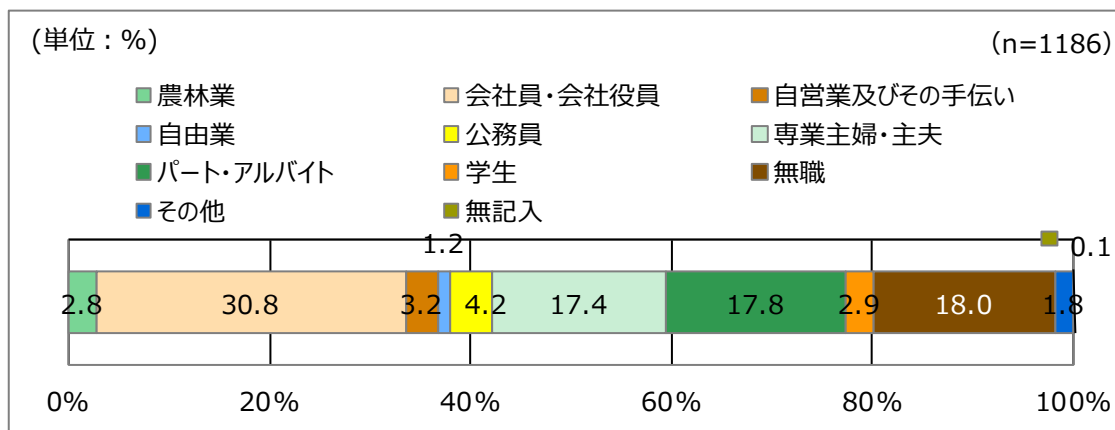
(1) Q1 性別

・女性が 56.1%、男性が 42.7%と同程度の割合である。



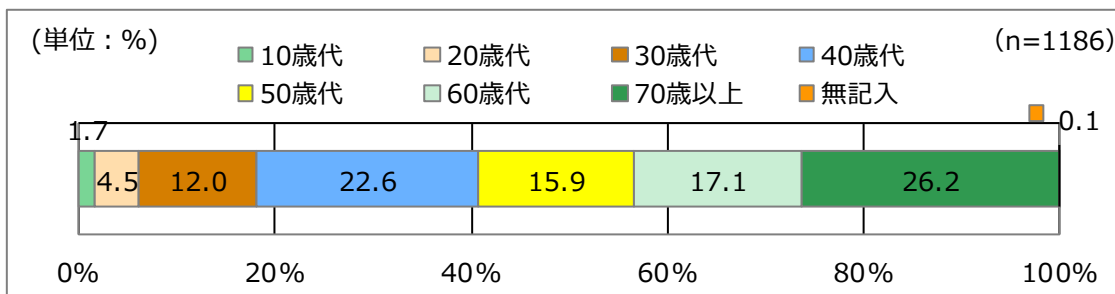
(2) Q2 職業

・会社員が 30.8%と最も多く、次いで無職が 18.0%と多い。
 ・自由業が 1.2%と最も少なく、次いで農林業が 2.8%と少ない。



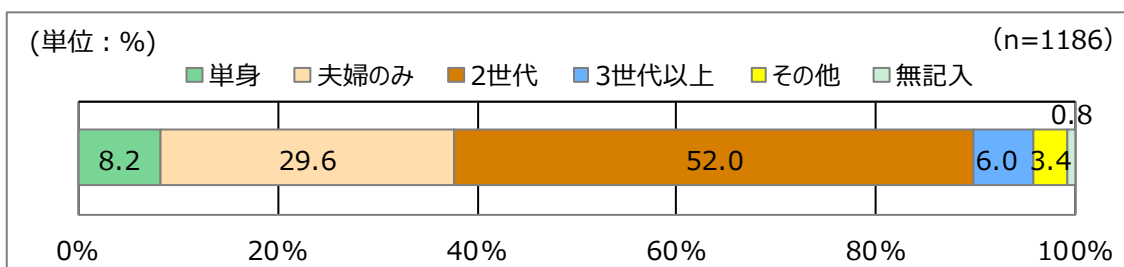
(3) Q3 年齢

・70歳以上が 26.2%と最も多く、次いで 40歳代が 22.6%と多い。
 ・10歳代が 1.7%と最も少なく、次いで 20歳代が 4.5%と少ない。



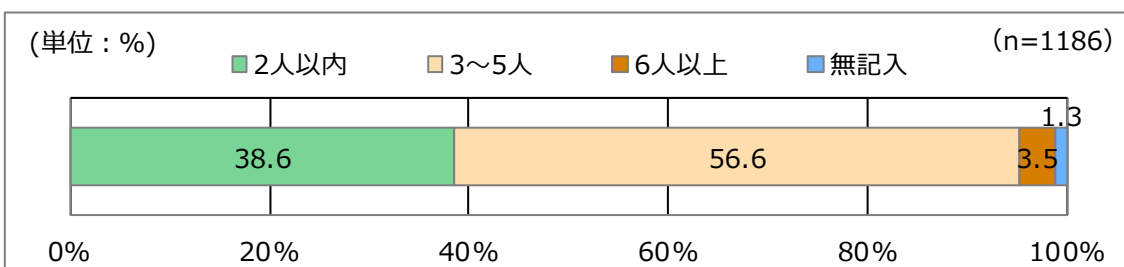
(4) Q4 家族構成

- ・ 2 世代が 52.0%と最も多く、次いで、夫婦のみが 29.6%と多い。
- ・ 3 世代以上の世帯が 6.0%と最も少ない。



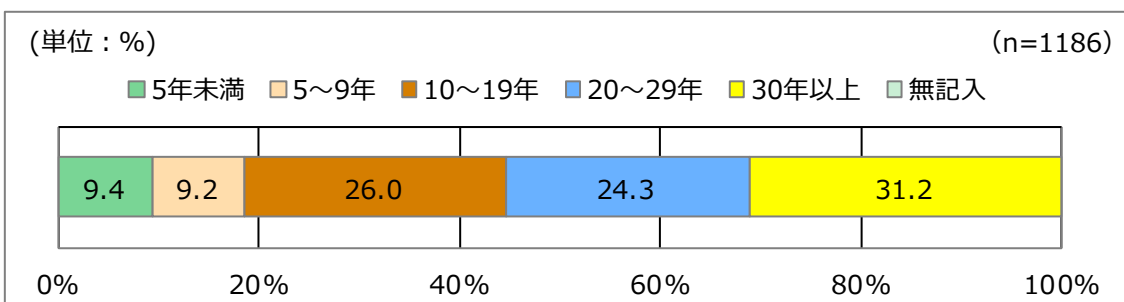
(5) Q5 居住者人数

- ・ 3～5 人が 56.6%と最も多い。
- ・ 6 人以上は 3.5%と最も少ない。



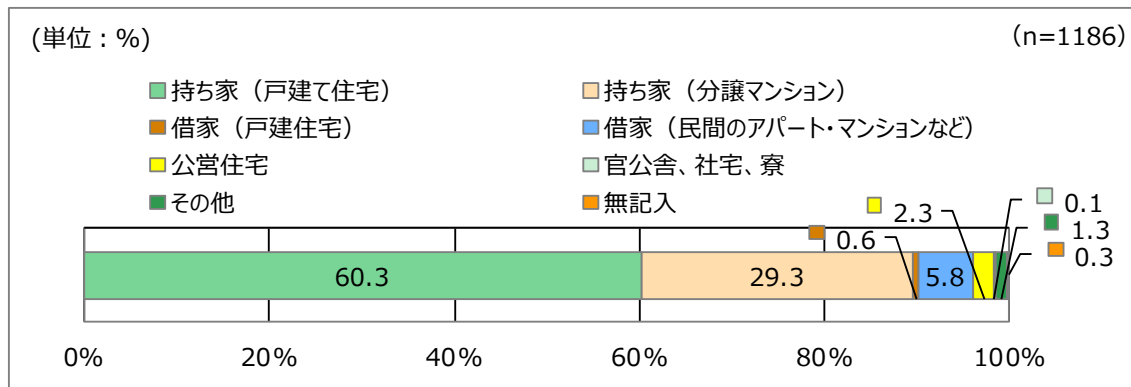
(6) Q6 居住年数

- ・ 30 年以上が 31.2%と最も多く、次いで 10～19 年が 26.0%と多い。
- ・ 5～9 年未満が 9.2%と最も少なく、次いで 5 年未満が 9.4%と少ない。



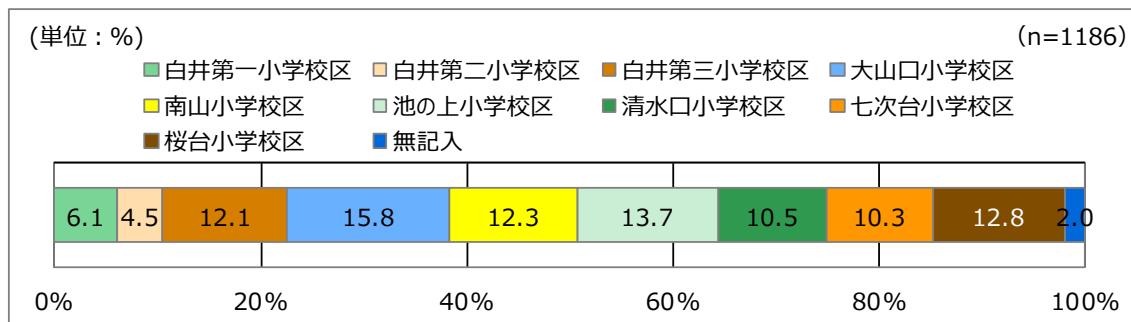
(7) Q7 住宅状況

- ・持ち家（戸建て住宅）が 60.3%と最も多く、次いで持ち家（分譲マンション）が 29.3%と多い。
- ・官公庁、社宅、寮が 0.1%と最も少なく、次いで借家（戸建て住宅）が 60.3%と少ない。



(8) Q8 居住地区

- ・大山口小学校が 15.8%と最も多い。
- ・白井第二小学校が 4.5%と最も少なく、次いで白井第一小学校が 6.1%と少ない。
- ・残りの小学校区は 10%～14%程度で同程度の割合である。



2. 環境の保全に関わる行動の取組状況

(1) Q9

あなたのご家庭で行っている環境の保全に関わる行動の取組状況について、該当する番号に○をつけて下さい。(各項目につき○はひとつ)

<生活環境>

- ①排水口ネットの使用や洗剤の適正利用など、生活排水の汚れを減らすよう心がけている
- ②節水に努めている
- ③音響機器や楽器の音が近隣への生活騒音にならないように気を付けている
- ④ごみや吸い殻の投げ捨てをしないように心がけている
- ⑤ごみの自家焼却や野焼きをしないように心がけている
- ⑥ペットが人への危害や近隣への迷惑をかけないように心がけている
- ⑦浄化槽は適正に維持管理を行っている
- ⑧所有地は草刈りなど適正に維持管理を行っている

<地球温暖化対策>

- ⑨家電製品は環境性能を重視して購入している
- ⑩電気器具は電源をこまめに消している
- ⑪エアコンの設定温度は強すぎないように設定している
- ⑫つる植物による緑のカーテンを育てている
- ⑬自動車を運転する際はアイドリングストップを心がけている
- ⑭公共交通機関や自転車、徒歩で移動するように心がけている
- ⑮地元産の農産物を選んで購入している
- ⑯気候の変化に伴う熱中症や洪水、感染症発生などリスクに備えている

<自然環境>

- ⑰公園や水辺で自然と親しんでいる
- ⑱地域の動植物（ペットを除く）を大切にしている
- ⑲市民農園や観光農園などで農業に親しむ、農業に従事している

<ごみの減量・資源化>

- ⑳ごみは減量・分別し、リユースやリサイクルに努めている
- ㉑生ごみは水切りしてから捨てている
- ㉒買い物袋を持参し、過剰包装や使い捨て製品の購入は控えている
- ㉓マイボトルを持参し、外出時にペットボトル飲料などをできるだけ購入しないよう心がけている
- ㉔原材料や製造工程が環境に配慮された製品を購入している
- ㉕食品は必要以上に購入せず、食べ残しをしないなど食品ロスの削減に努めている

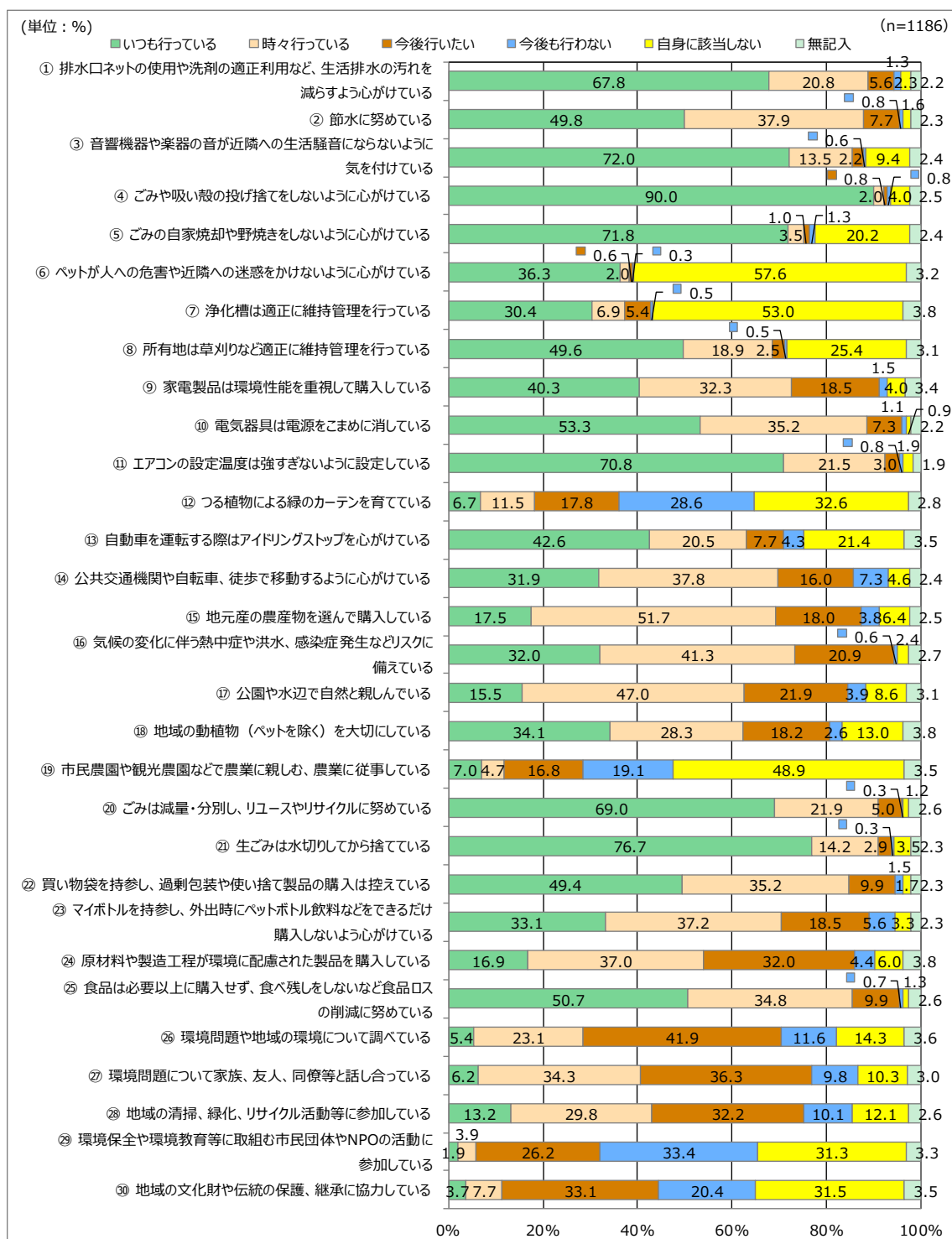
<環境学習・協働による環境保全活動>

- ㉖環境問題や地域の環境について調べている
- ㉗環境問題について家族、友人、同僚等と話し合っている
- ㉘地域の清掃、緑化、リサイクル活動等に参加している
- ㉙環境保全や環境教育等に取り組む市民団体やNPOの活動に参加している
- ㉚地域の文化財や伝統の保護、継承に協力している

- ①いつも行っている
- ②時々行っている
- ③今後行いたい
- ④今後も行わない
- ⑤自身に該当しない

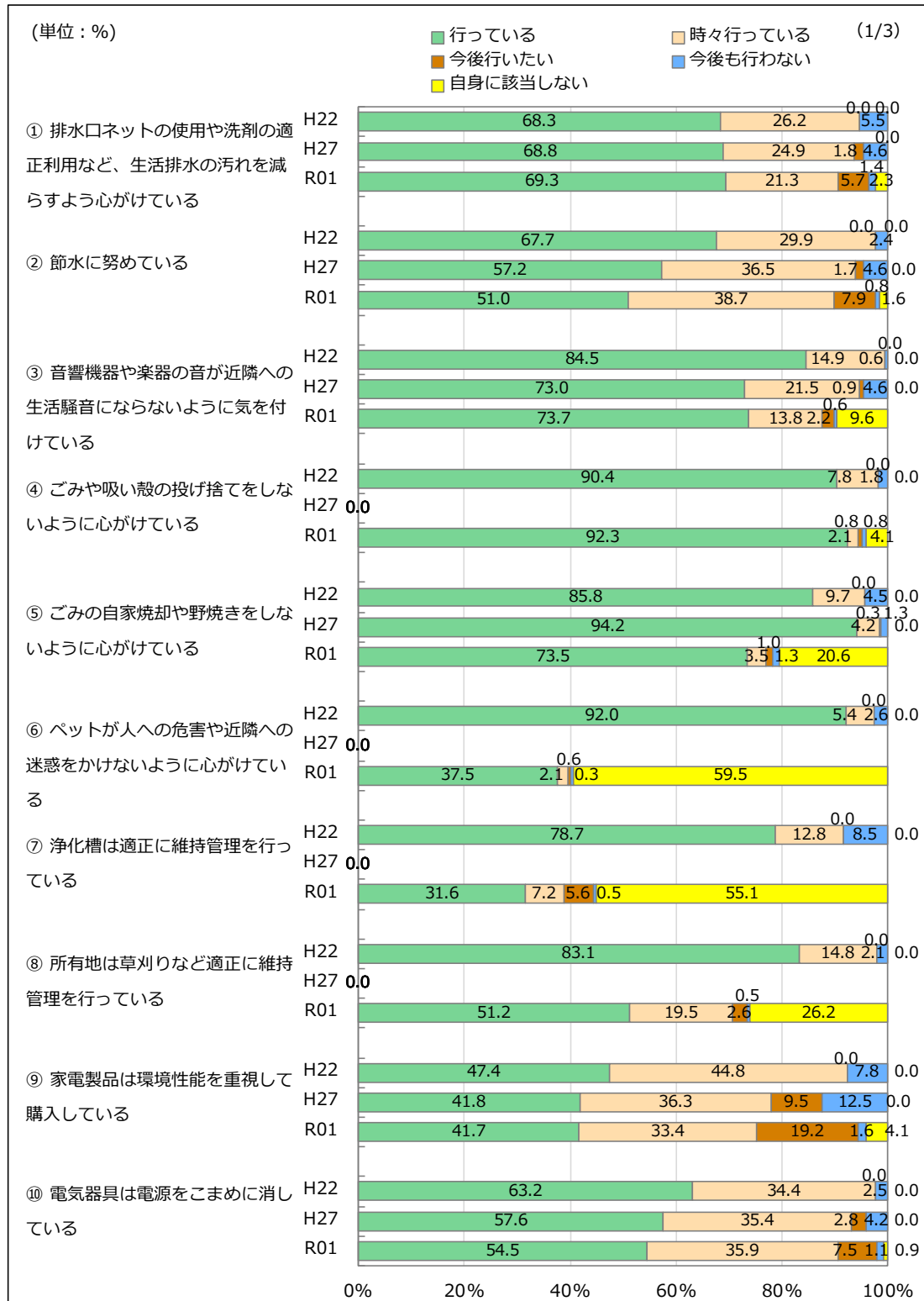
1) 全体

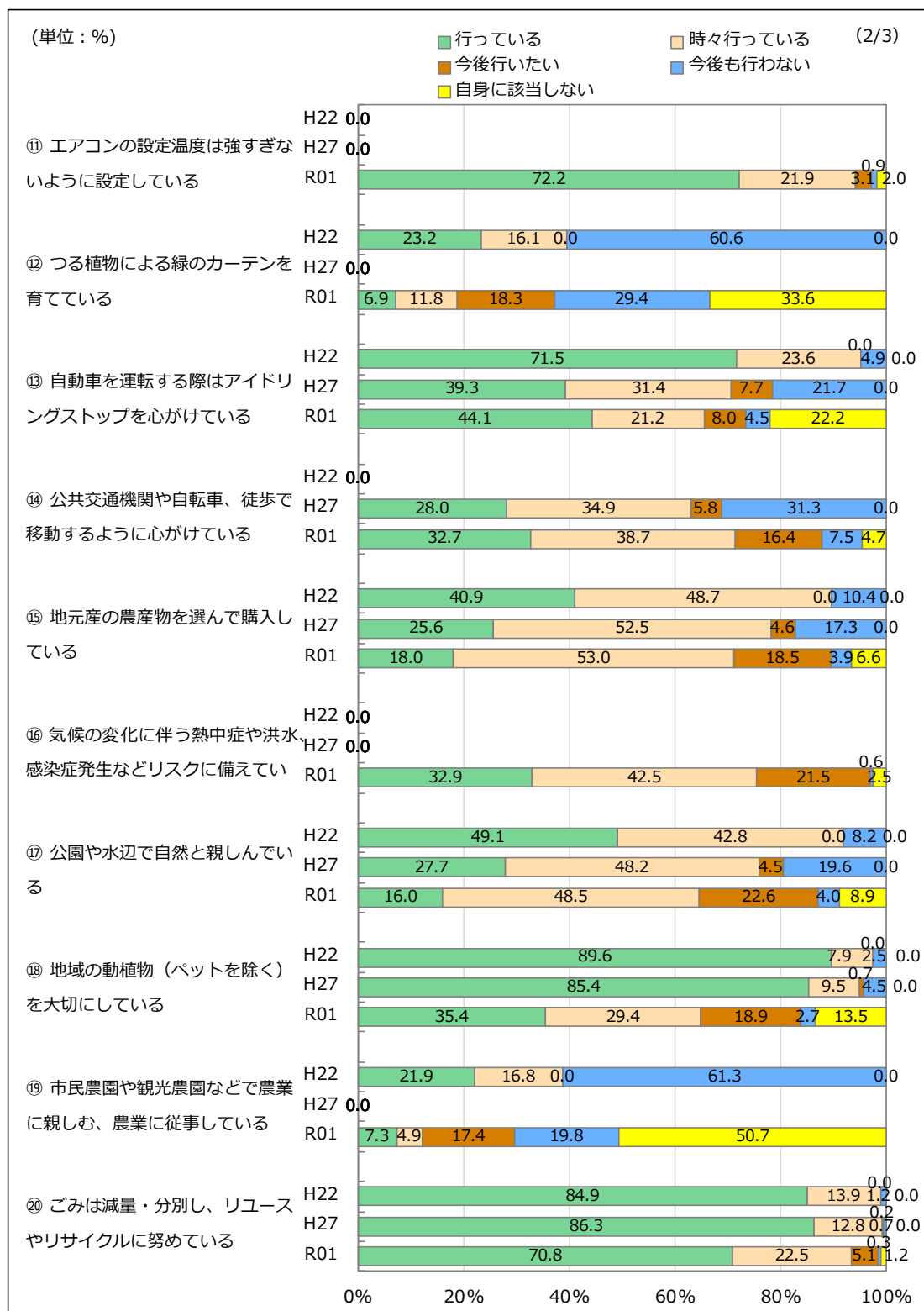
- ・「⑪エアコンの設定温度は強すぎないように設定している」の実施率（いつも行っていると時々行っているの合計の値）が92.3%と最も高く、次いで「④ごみや吸い殻の投げ捨てをしないように心がけている」の実施率が92.0%と高い。
- ・「㉔環境保全や環境教育等に取り組む市民団体やNPO活動の団体に参加している」が5.8%と最も低く、次いで「㉓地域の文化財や伝統の保護、継承に協力している」が11.4%と低い。

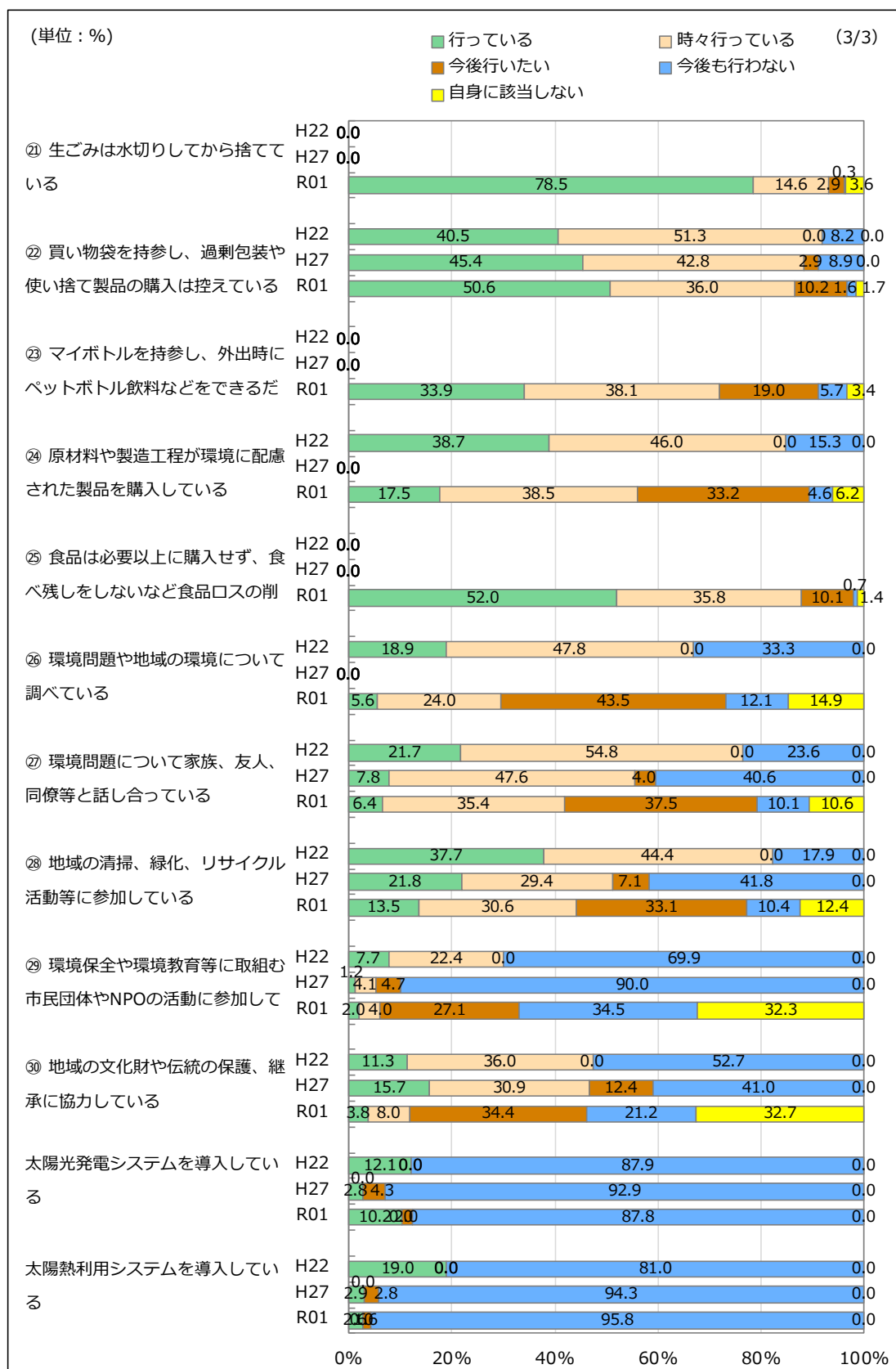


2) 経年変化

- ・H27の結果と比較すると、「⑭公共交通機関や自転車、徒歩で移動するように心がけている」の実施率が8.5%と最も増加している。
- ・H22の結果と比較すると、「⑩地域の文化財や伝統の保護、継承に協力している」の実施率が34.8%と最も減少している。また、H27の結果と比較すると、「⑩地域の文化財や伝統の保護、継承に協力している」の実施率が35.5%と最も減少している。





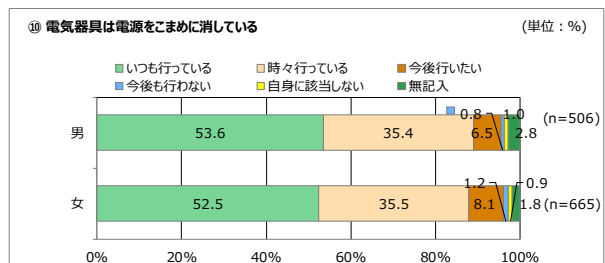
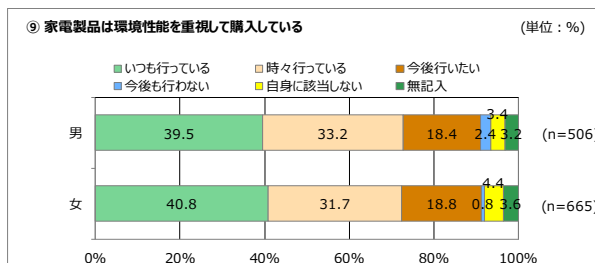
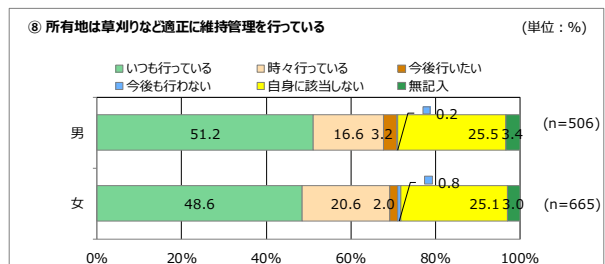
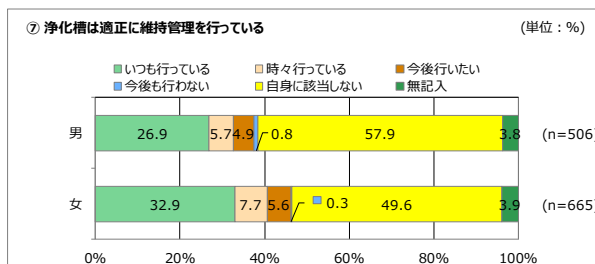
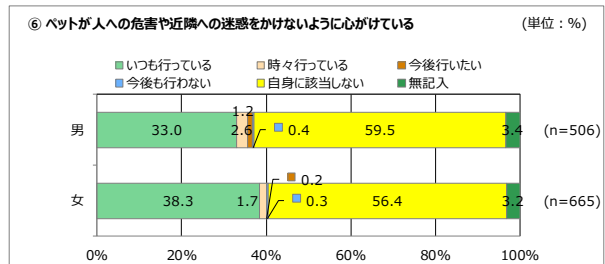
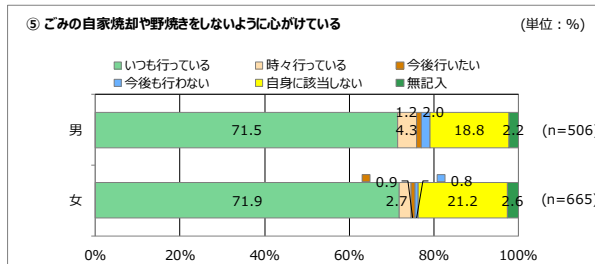
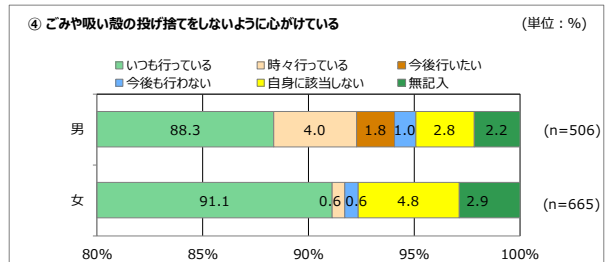
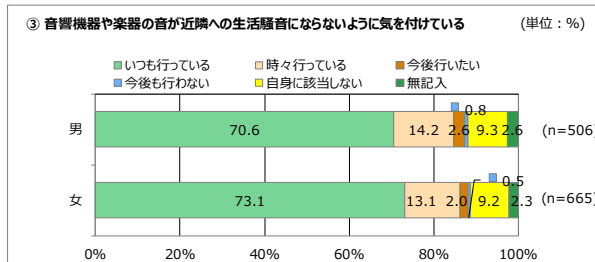
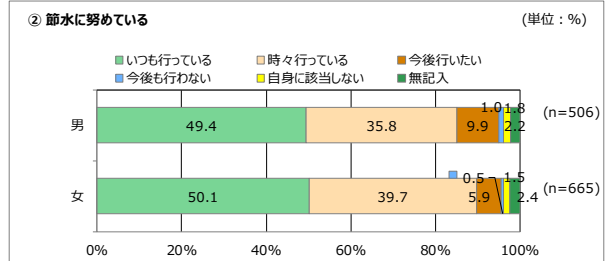
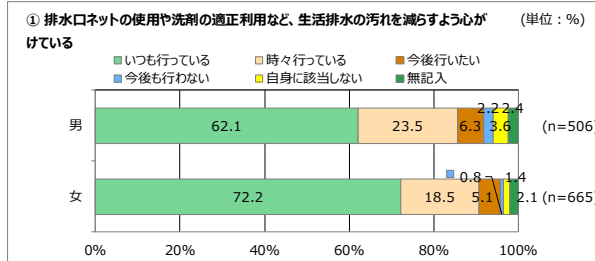


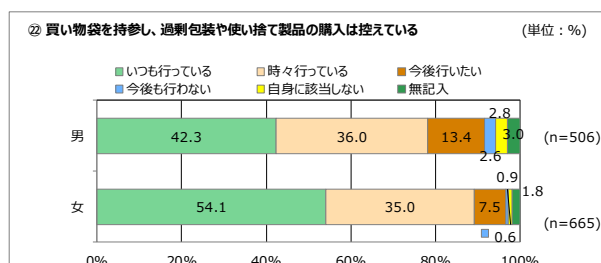
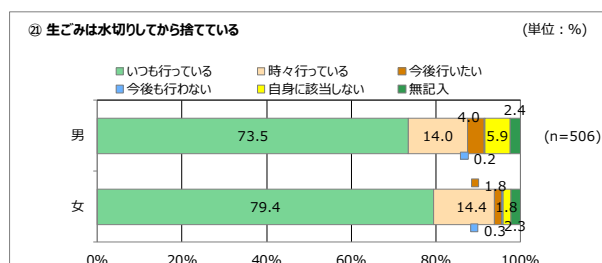
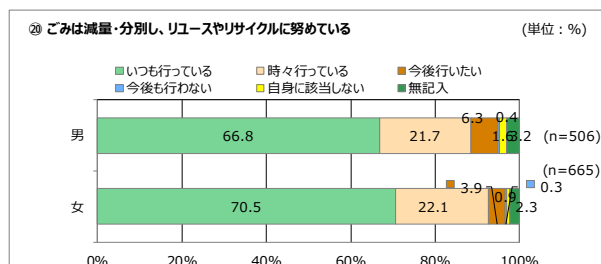
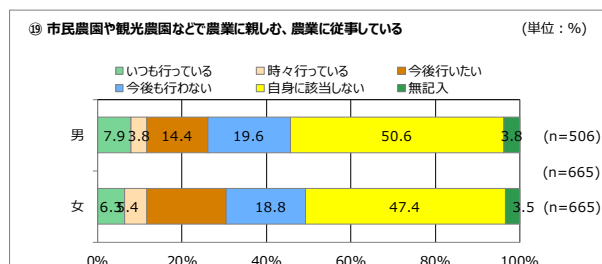
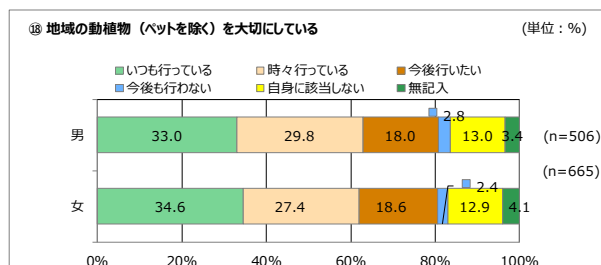
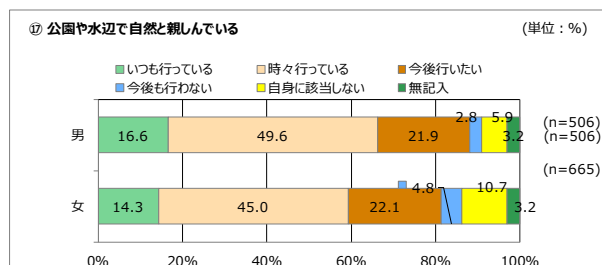
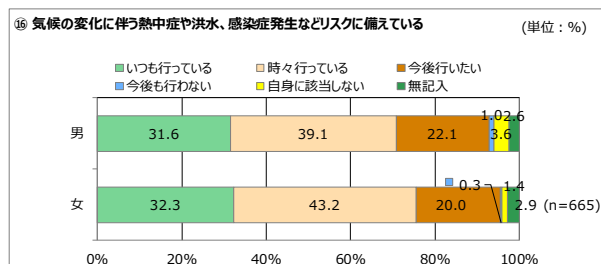
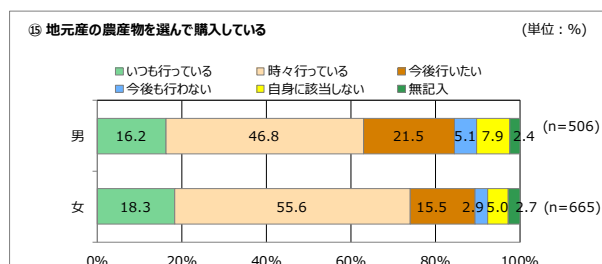
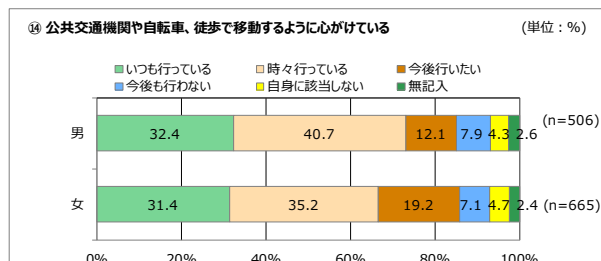
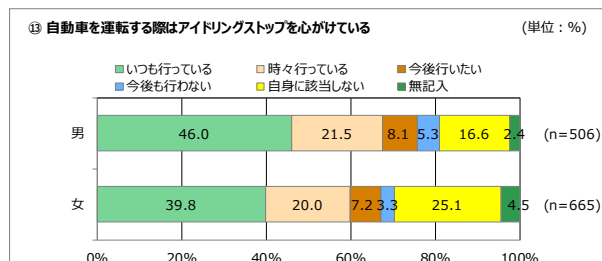
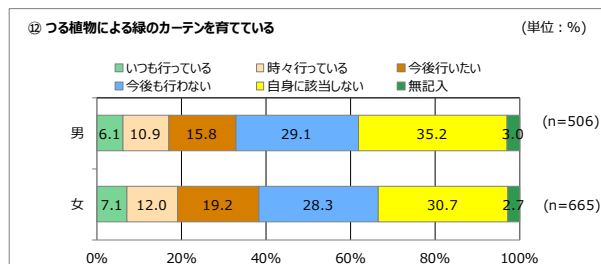
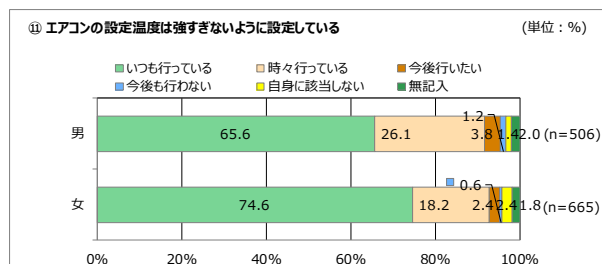
※実施率が0の項目は過去のアンケートで未実施

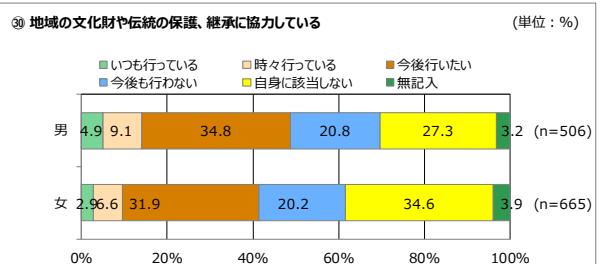
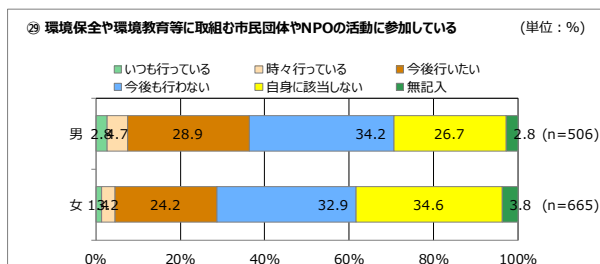
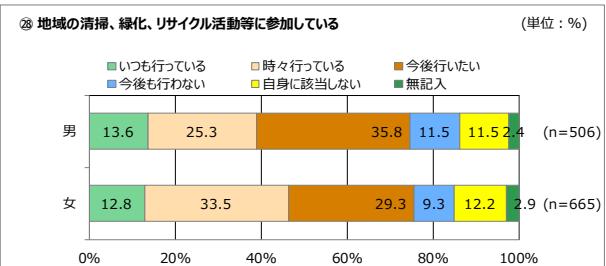
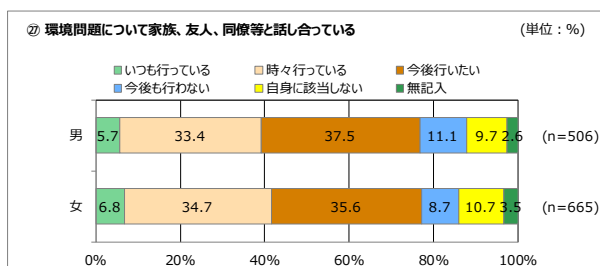
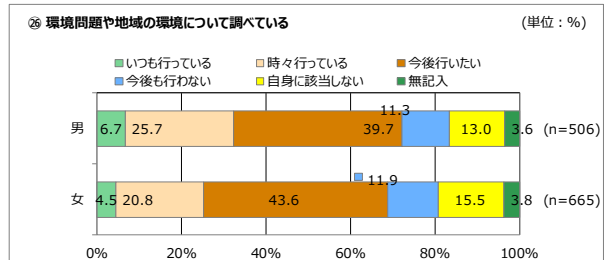
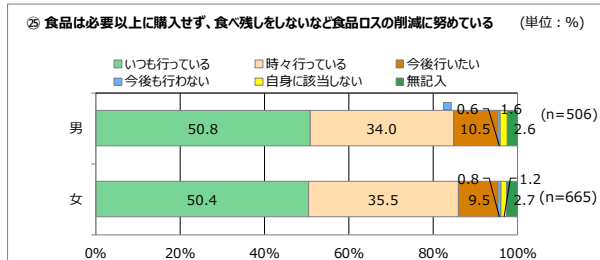
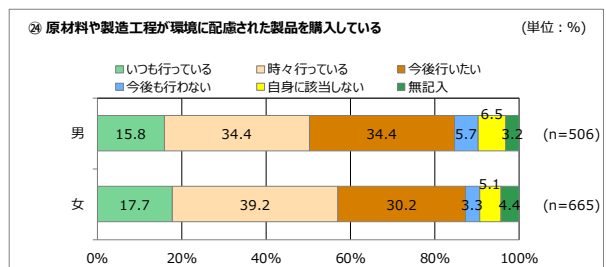
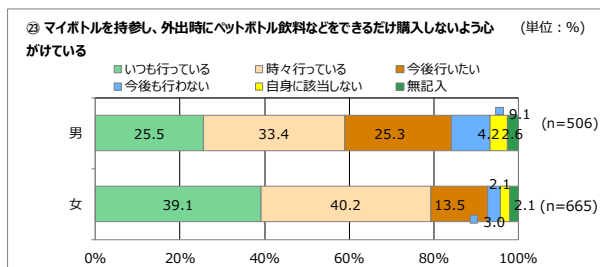
※R01では、「自身に該当しない」を選択肢に追加しているため、過去のアンケートとの単純な比較はできない

3) クロス集計（性別）

- ・「⑮地元産の農産物を選んで購入している」、「⑳買い物袋を持参し、過剰包装や使い捨て製品の購入は控えている」、「㉑マイボトルを持参し、外出時にペットボトル飲料などをできるだけ購入しないよう心がけている」は女性が男性より高い傾向にある。

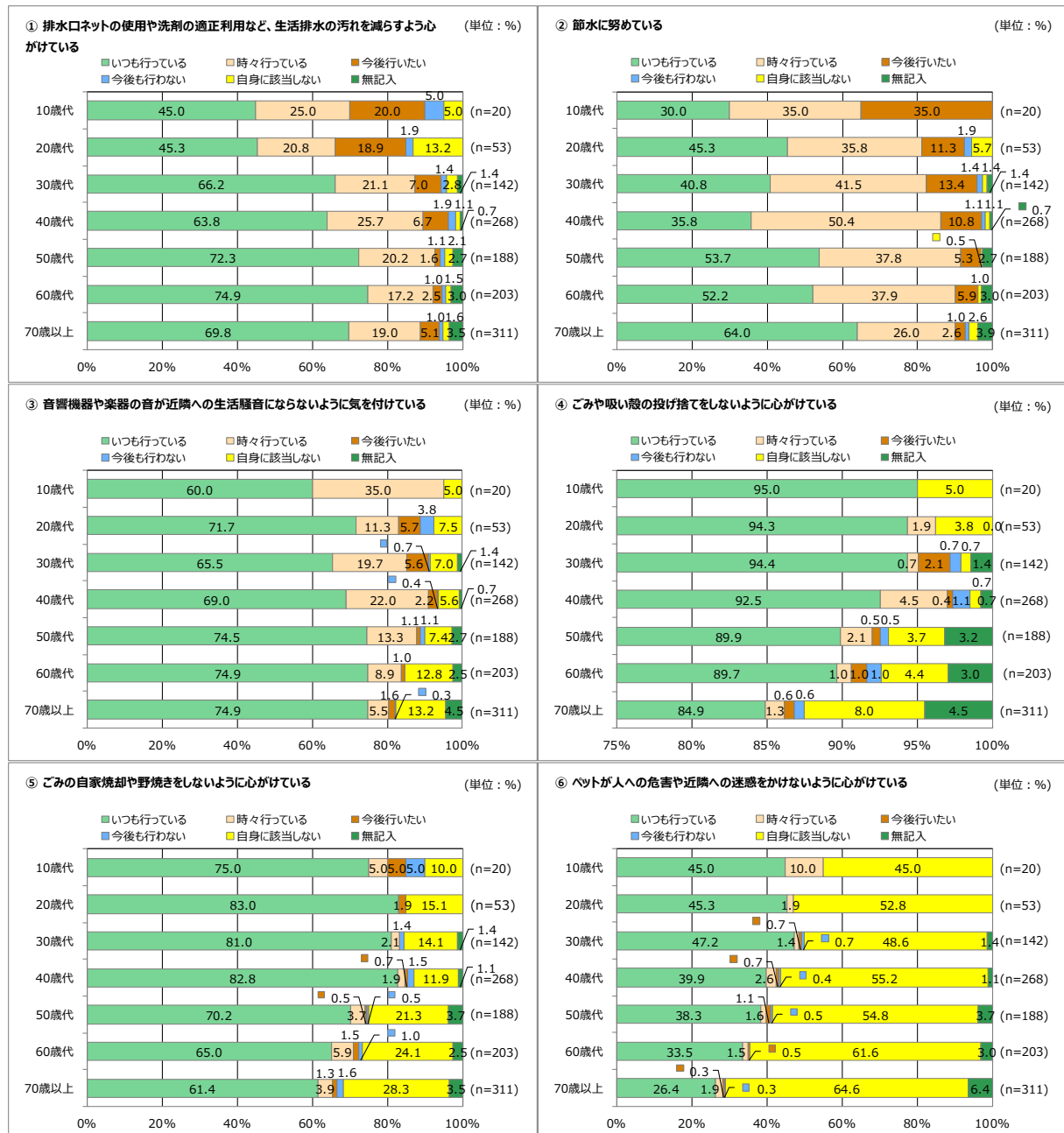


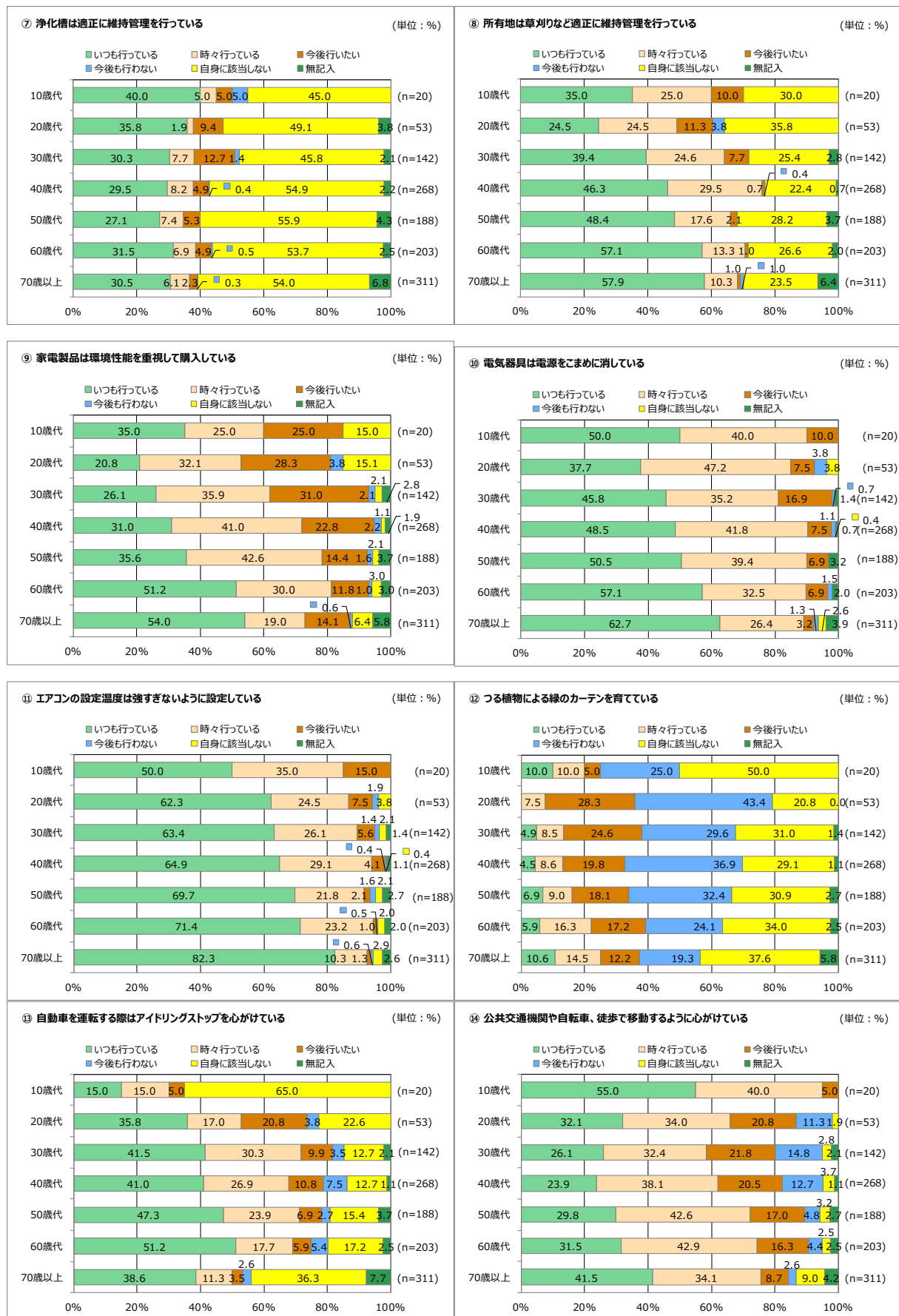


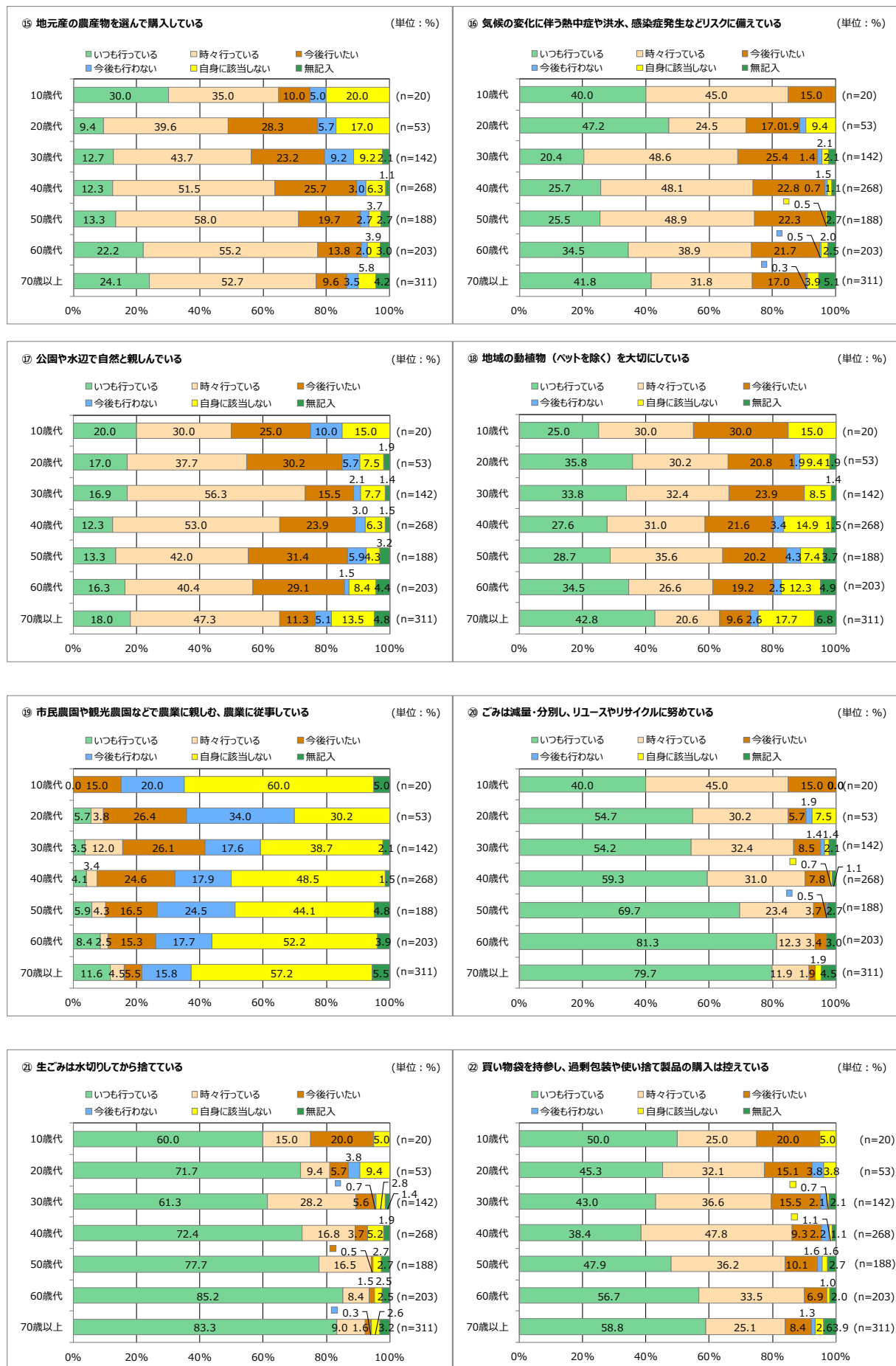


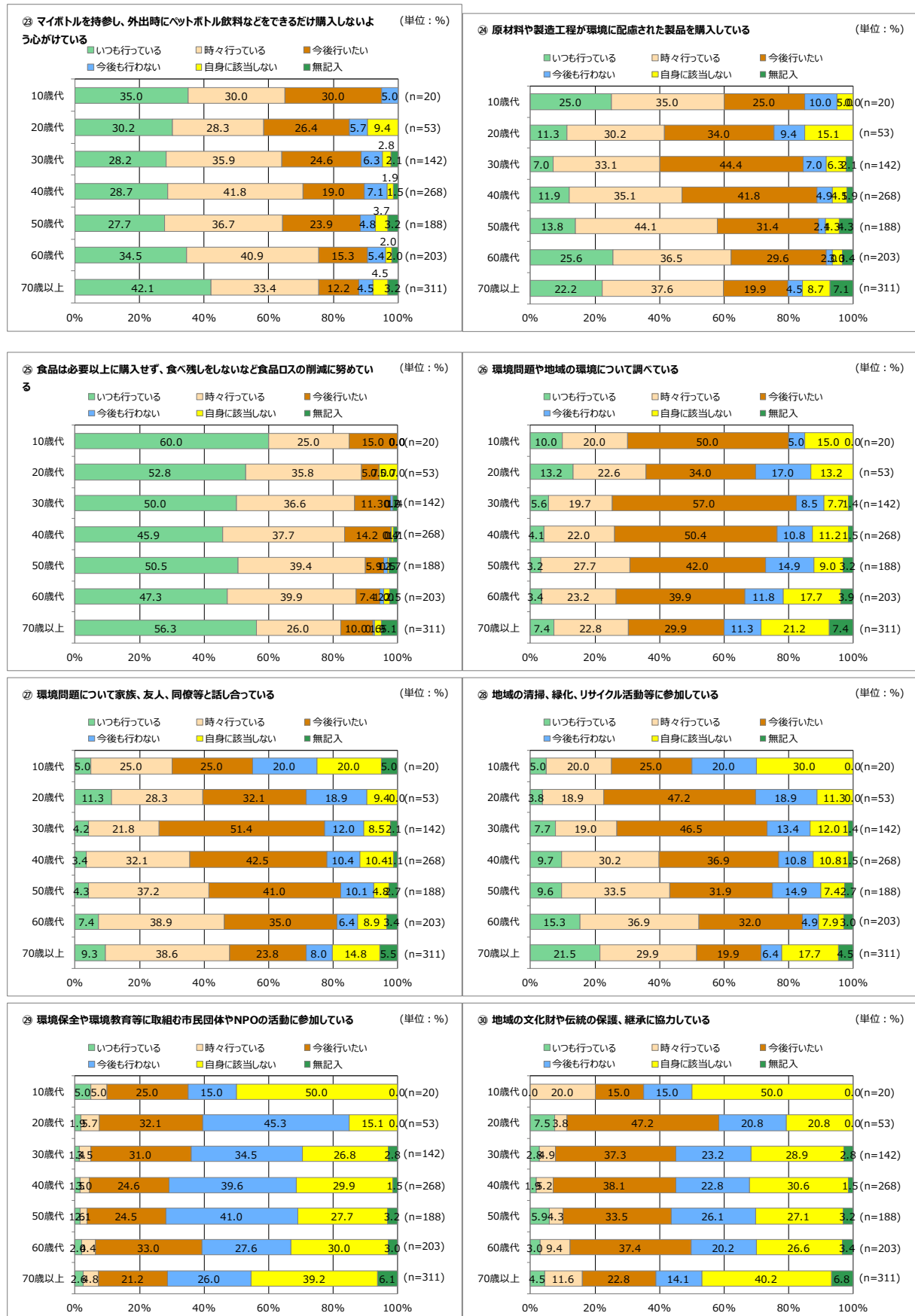
4) クロス集計（年齢）

- ・「②節水に努めている」、「⑨家電製品は環境性能を重視して購入している」、「⑮地元産の農産物を選んで購入している」、「⑳ごみは減量・分別し、リユースやリサイクルに努めている」、「㉔地域の清掃、緑化、リサイクル活動等に参加している」は年齢が高くなると実施率が上がる傾向である。



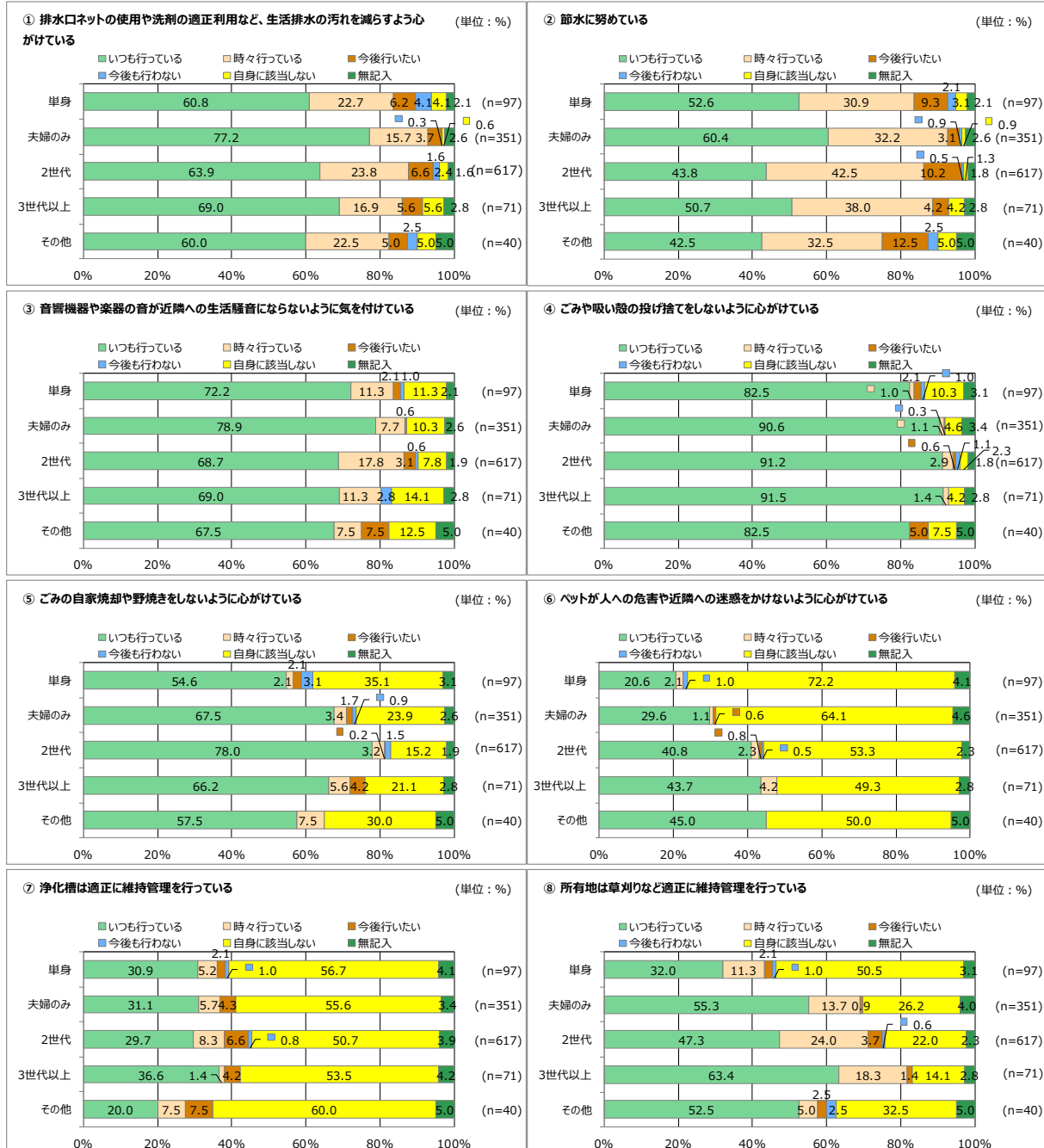


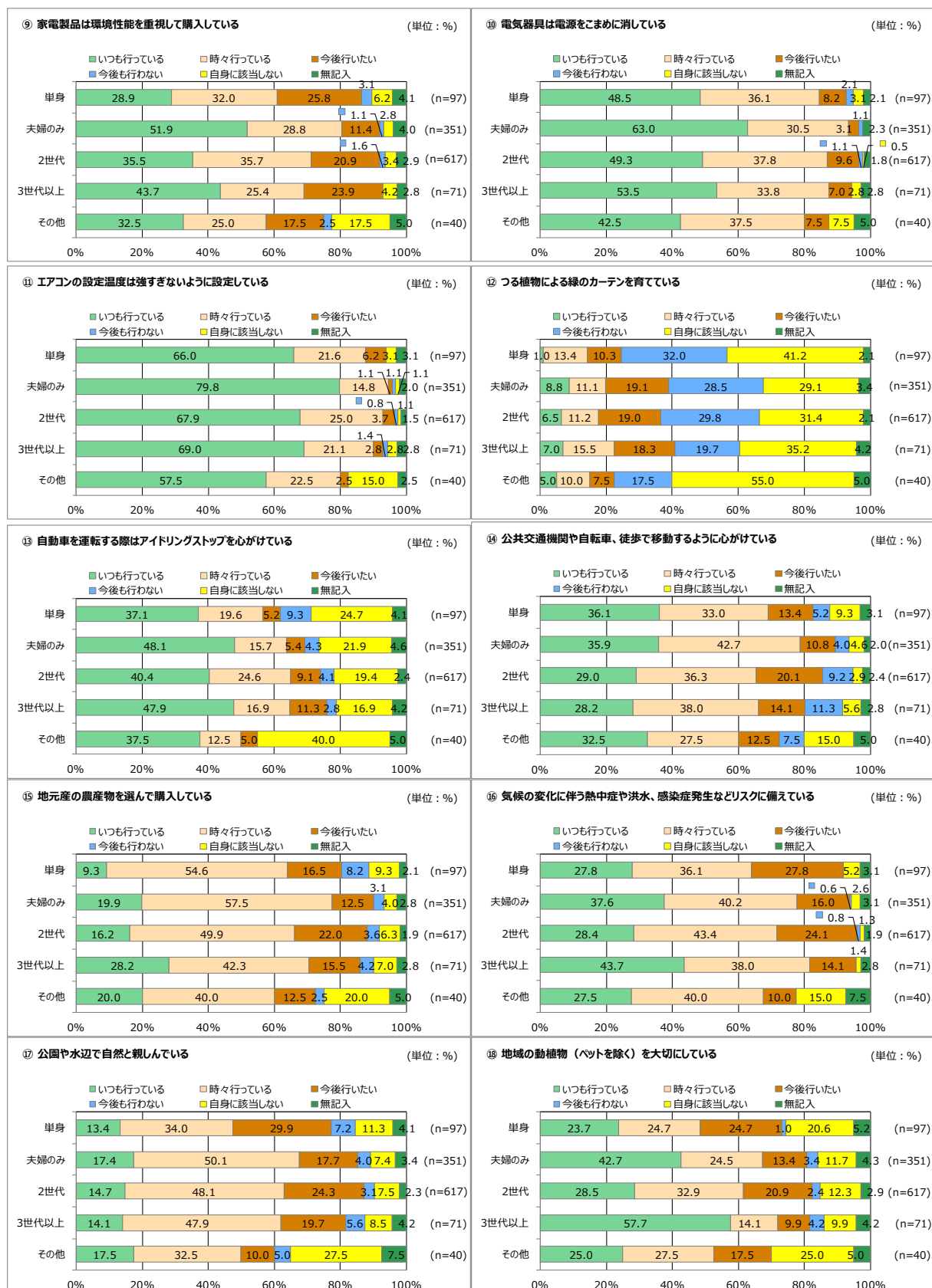


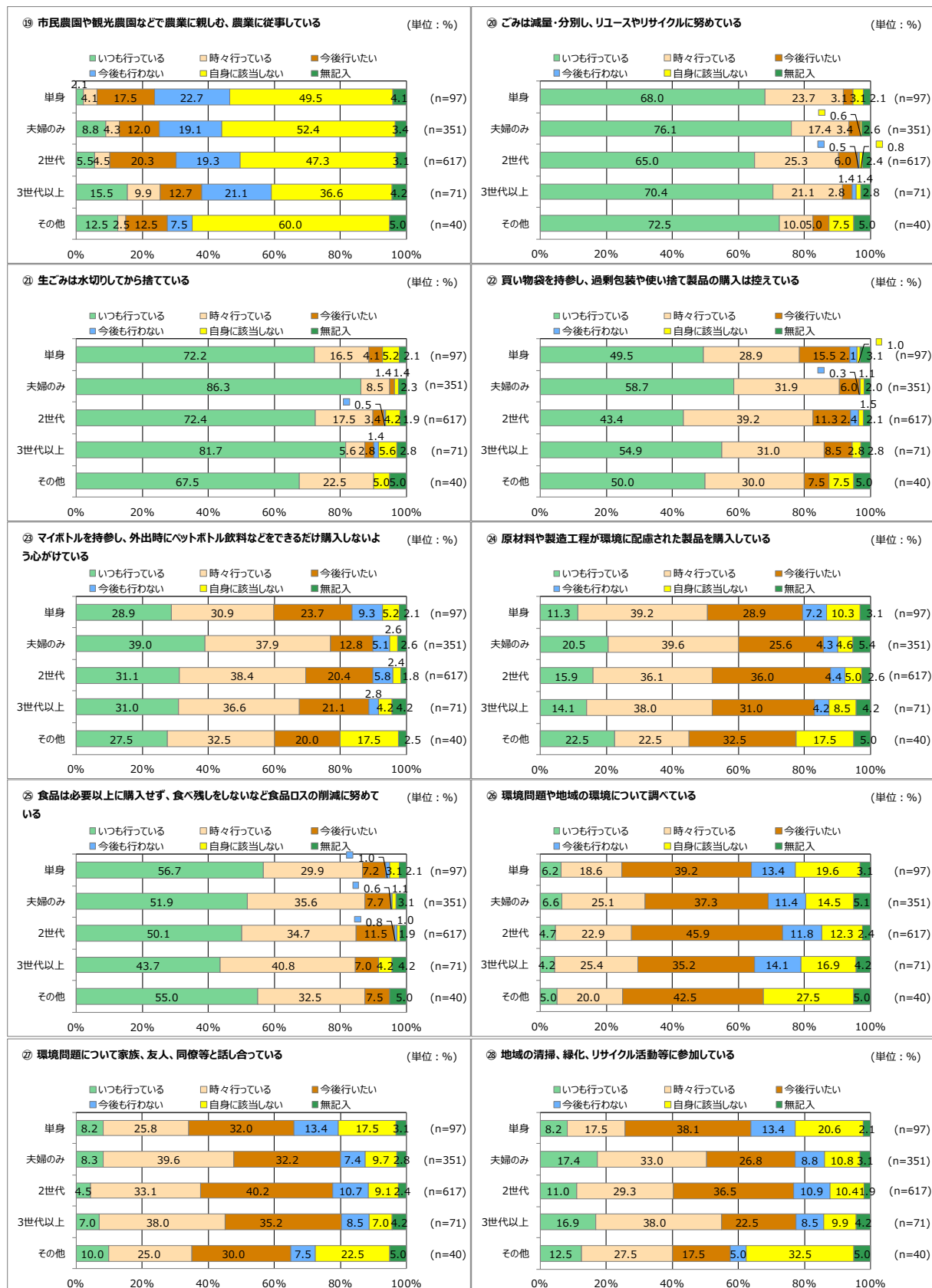


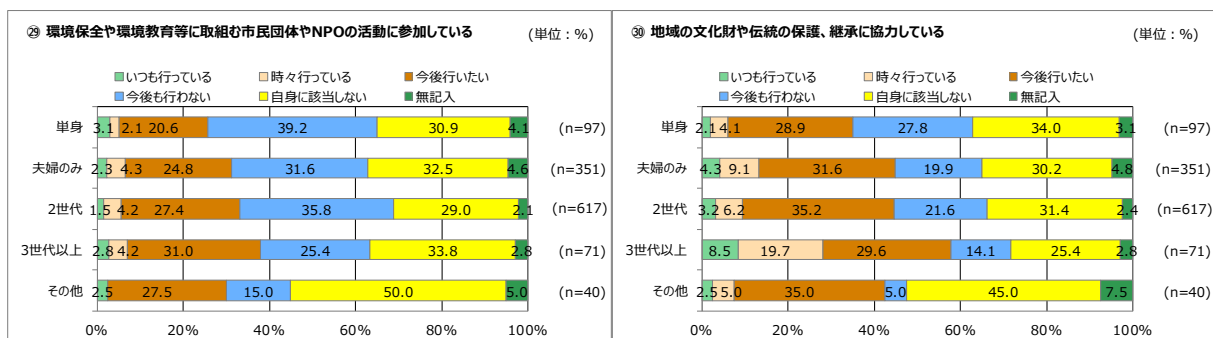
5) クロス集計（家族構成）

- ・「①⑨市民農園や観光農園などで農業に親しむ、農業に従事している」、「⑩地域の文化財や伝統の保護、継承に協力している」は3世代以上の世帯の実施率が高い傾向にある。
- ・「⑦公園や水辺で自然と親しんでいる」、「⑧地域の動植物を大切にしている」、「②⑧地域の清掃、緑化、リサイクル活動に参加している」は単身世帯で実施率が低い傾向にある。



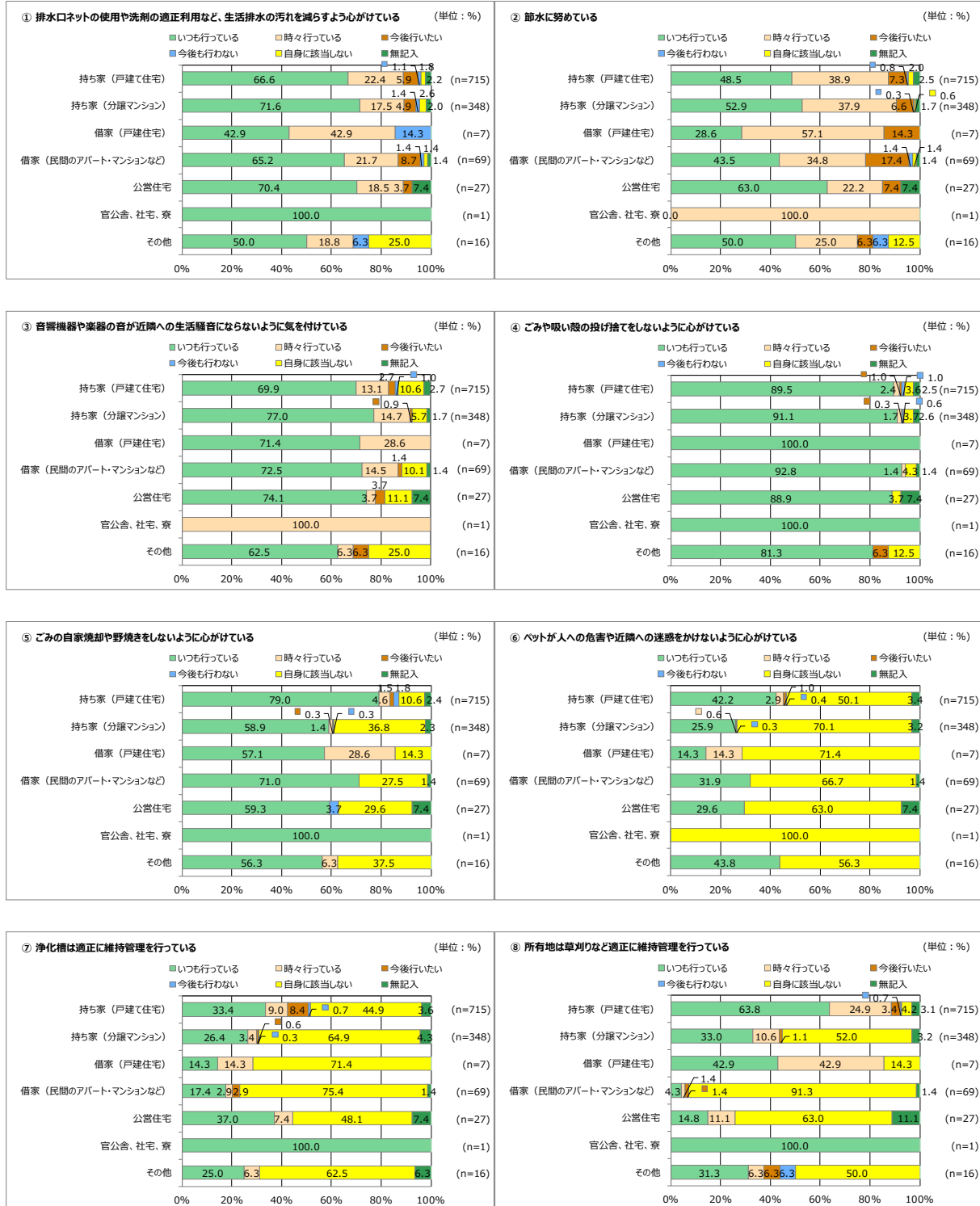


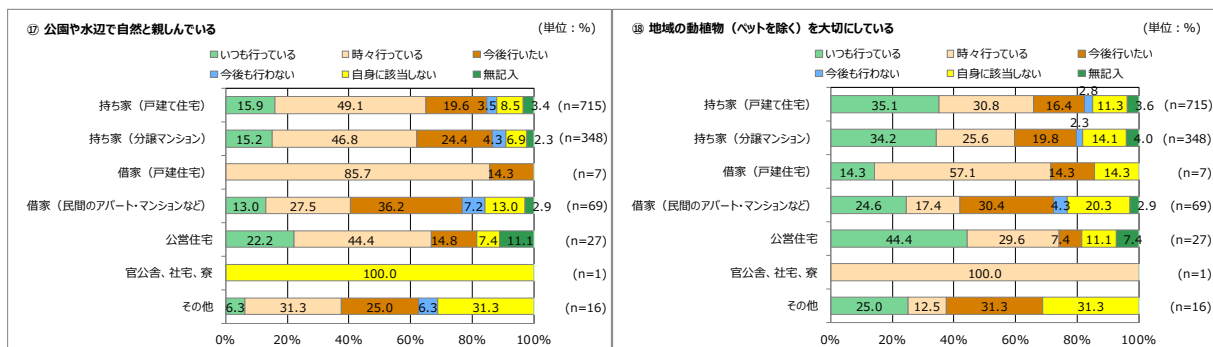
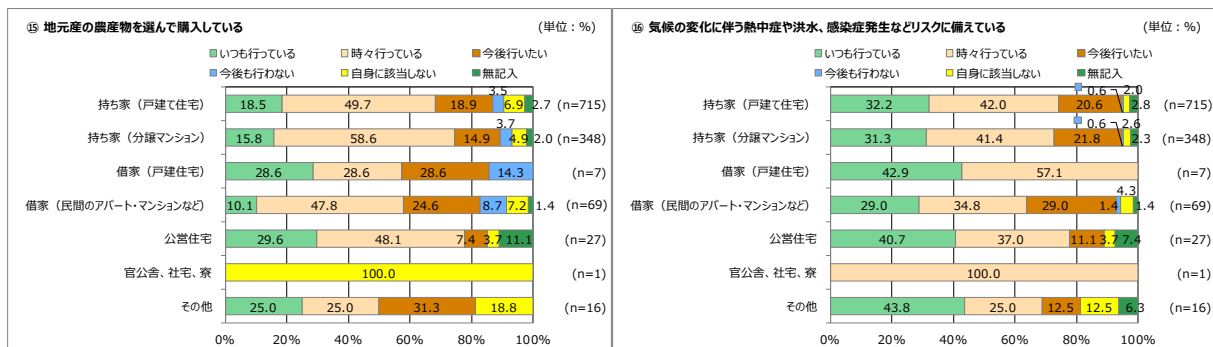
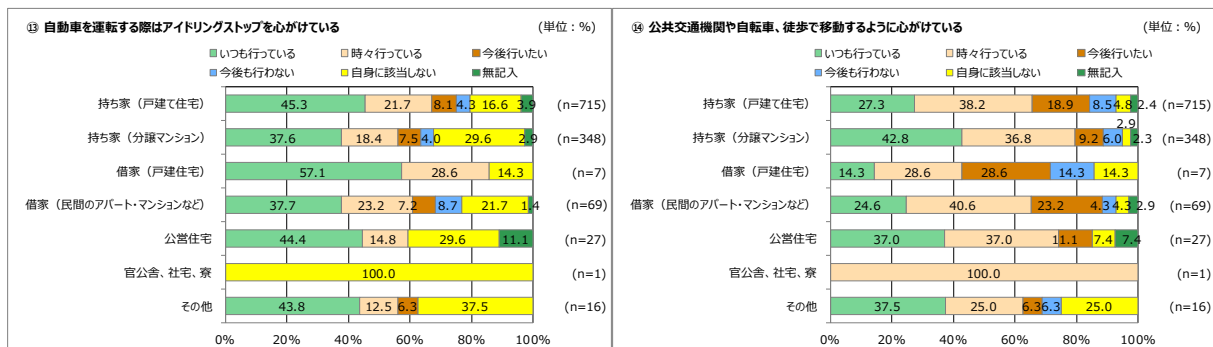
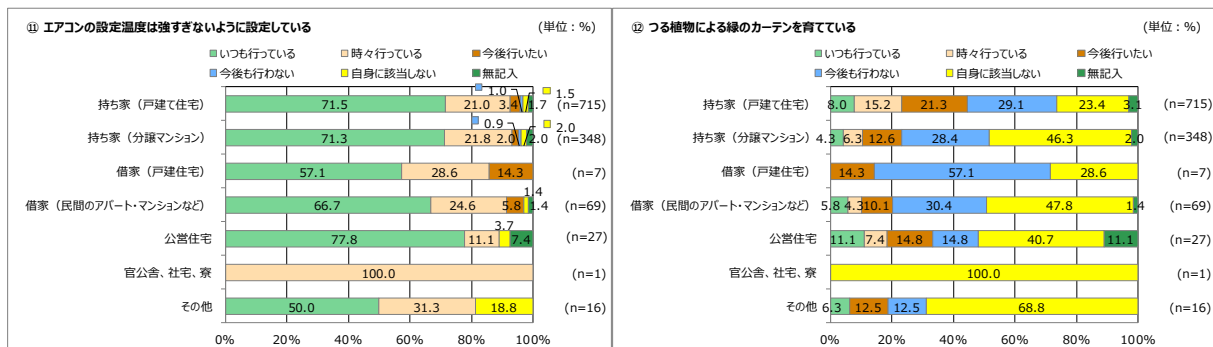
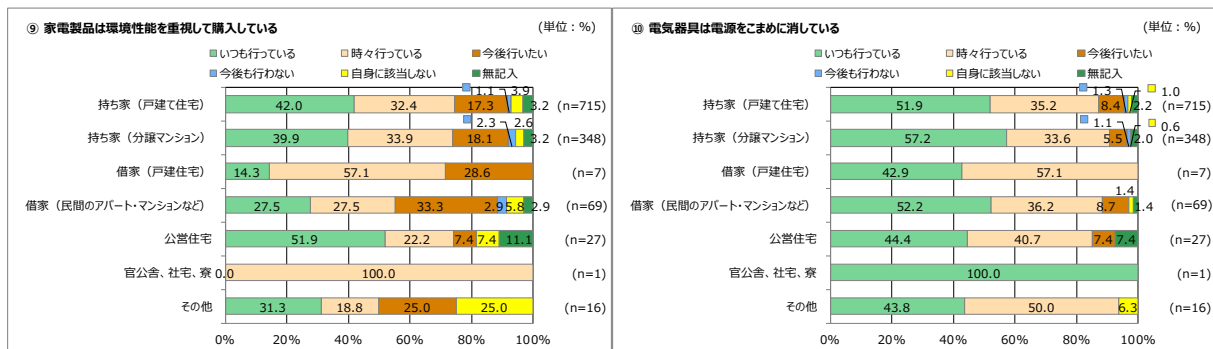


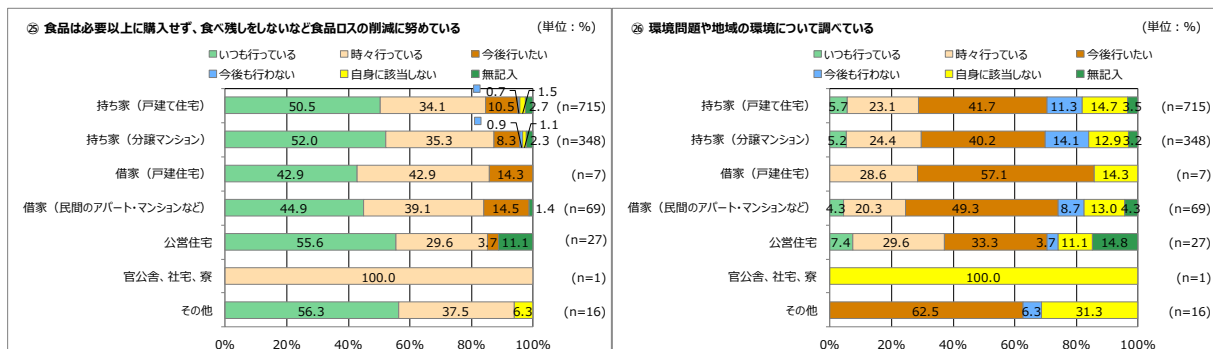
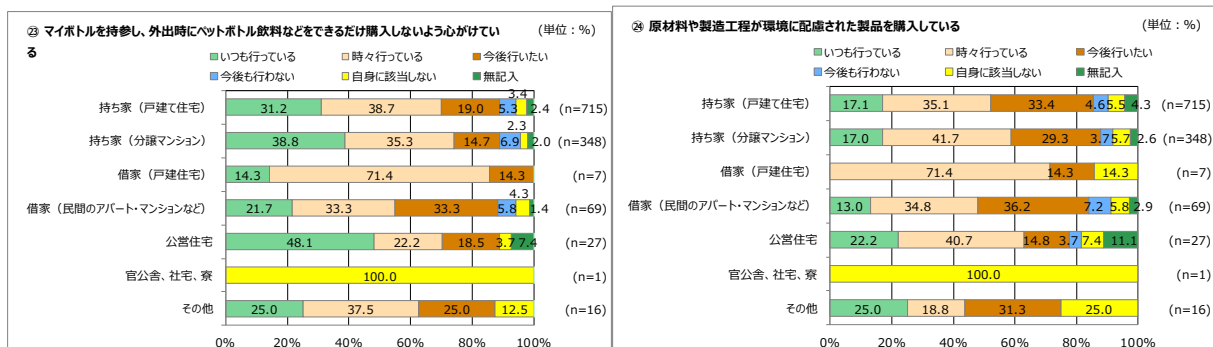
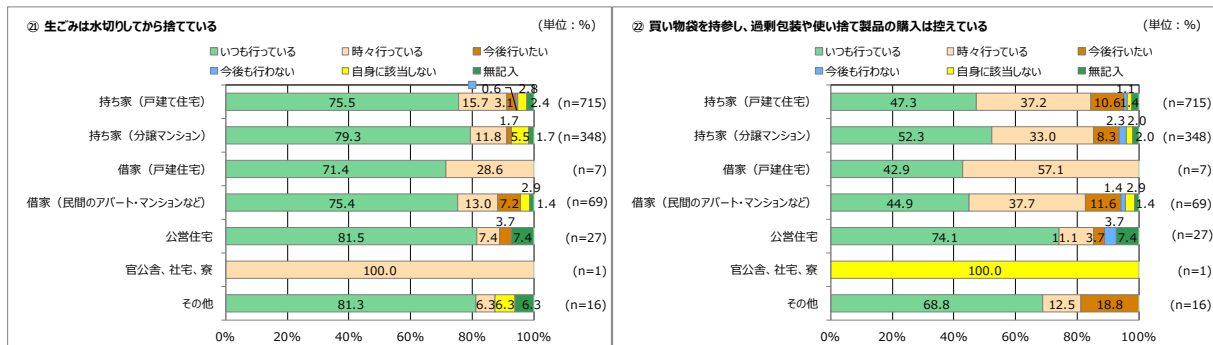
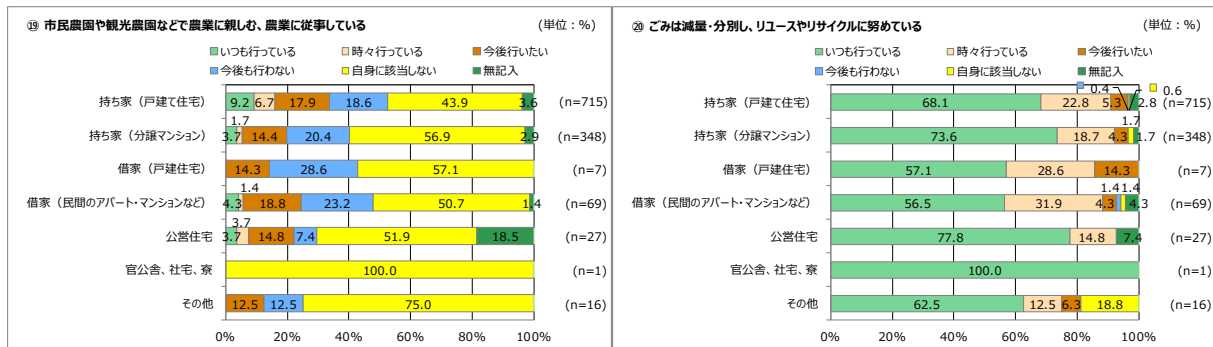


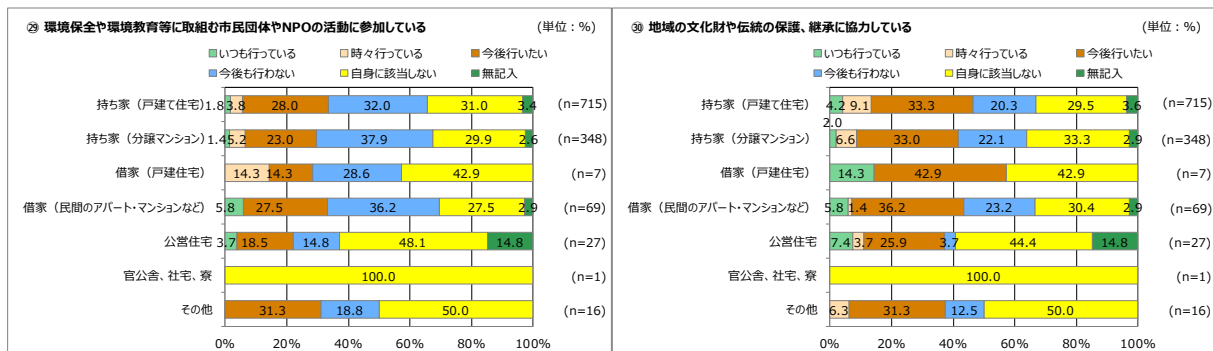
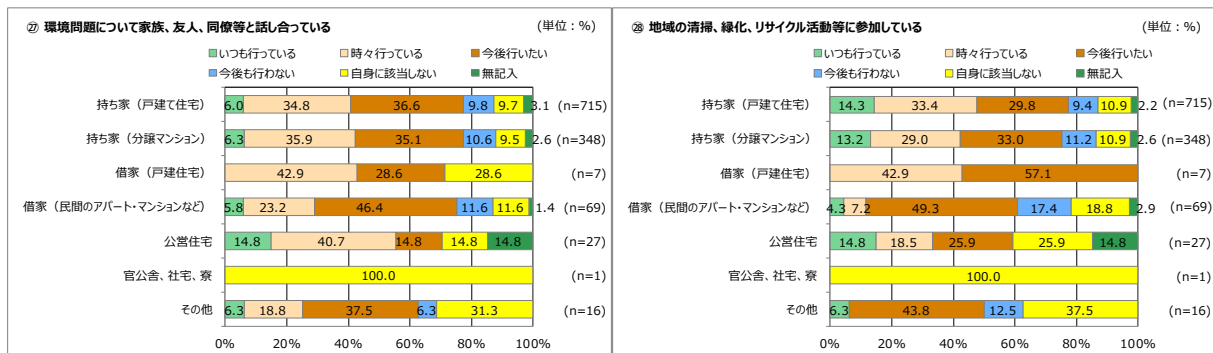
6) クロス集計（住宅状況）

- ・借家（民間のアパート・マンション）は「⑨家電製品の環境性能を重視して購入している」、「⑰公園や水辺で自然と親しんでいる」、「⑱地域の動植物を大切にしている」、「㉔地域の清掃、緑化、リサイクル活動等に参加している」の実施率が低い傾向にある。









3. 省エネルギー・再生可能エネルギー設備などの利用状況について

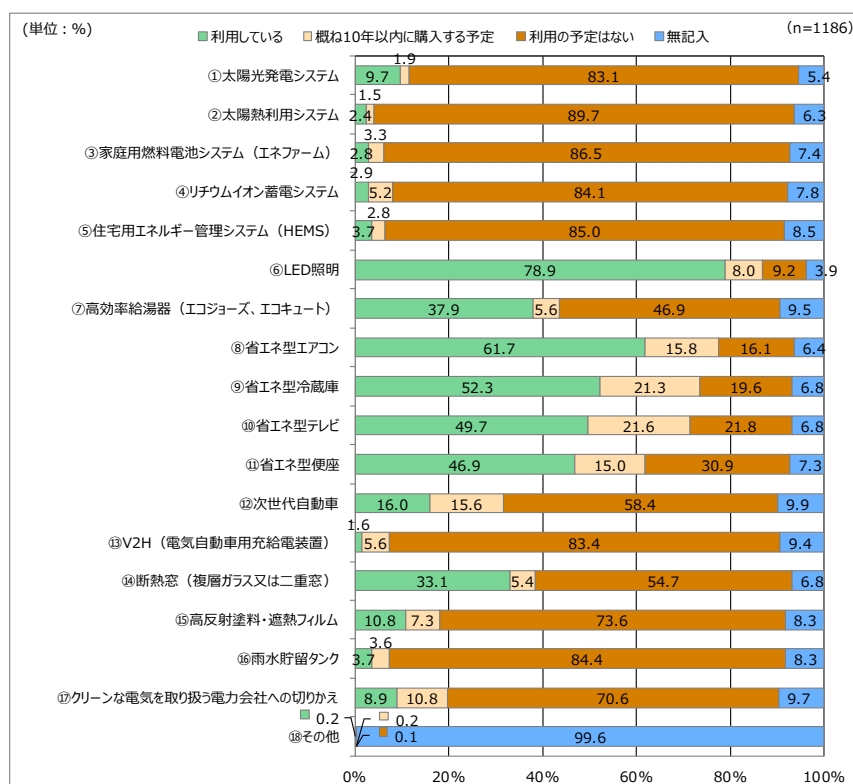
(2) Q10

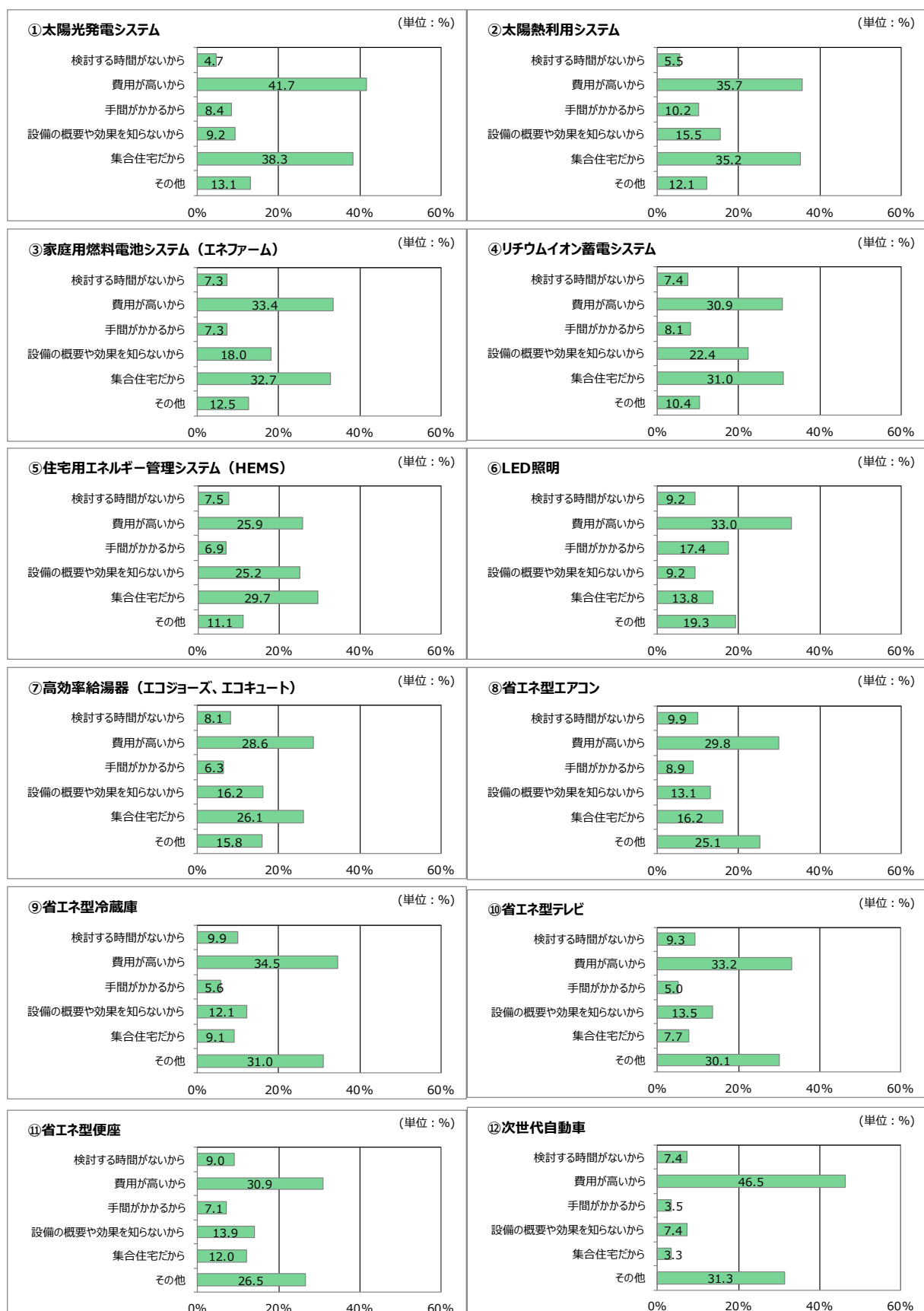
あなたのご家庭では省エネルギーや再生可能エネルギー機器などを利用していますか。もしくは今後利用する予定はありますか。該当する番号または記号に○をつけて下さい。
(利用状況の○はひとつ、“利用の予定はない” 場合の理由の○はいくつでも)

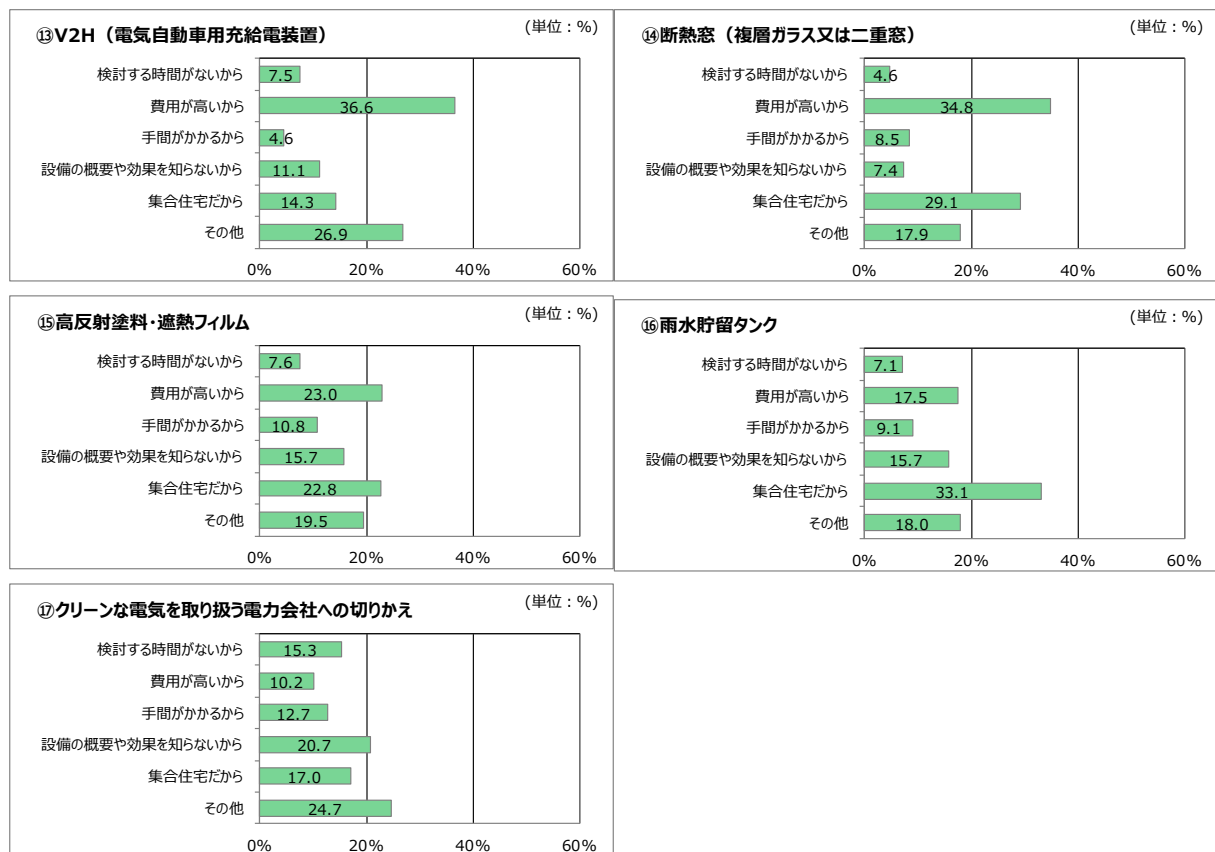
回答欄 1 利用状況(○はひとつ)	回答欄 2 “利用の予定はない”場合の理由 (○はいくつでも)
1. 利用している 2. 概ね 10 年以内に購入する予定 (台数記入欄がある項目は購入予定台数も回答) 3. 利用の予定はない	A. 検討する時間がないから B. 費用が高いから C. 手間がかかるから D. 設備の概要や効果を知らないから E. 集合住宅だから F. その他

1) 全体

- ・「⑥LED 照明」の導入率が最も高く、78.9%の家庭で導入されている。「⑧省エネ型エアコン」、「⑨省エネ型冷蔵庫」、「⑩省エネ型テレビ」、「⑪省エネ型便座」は 40%を超える家庭で導入されており、今後 10 年以内に購入予定の家庭も 15%～20%程度いる。
- ・「⑬V2H（電気自動車用充給電装置）」の導入率が最も低く 1.6%となっている。
- ・機器を導入していない理由は、全体的な傾向として、「費用が高いから」、「集合住宅だから」という理由が多い傾向にある。
- ・電力会社の切り替えは、「設備の概要や効果を知らない」という理由が 20.7%と最も多くなっている。

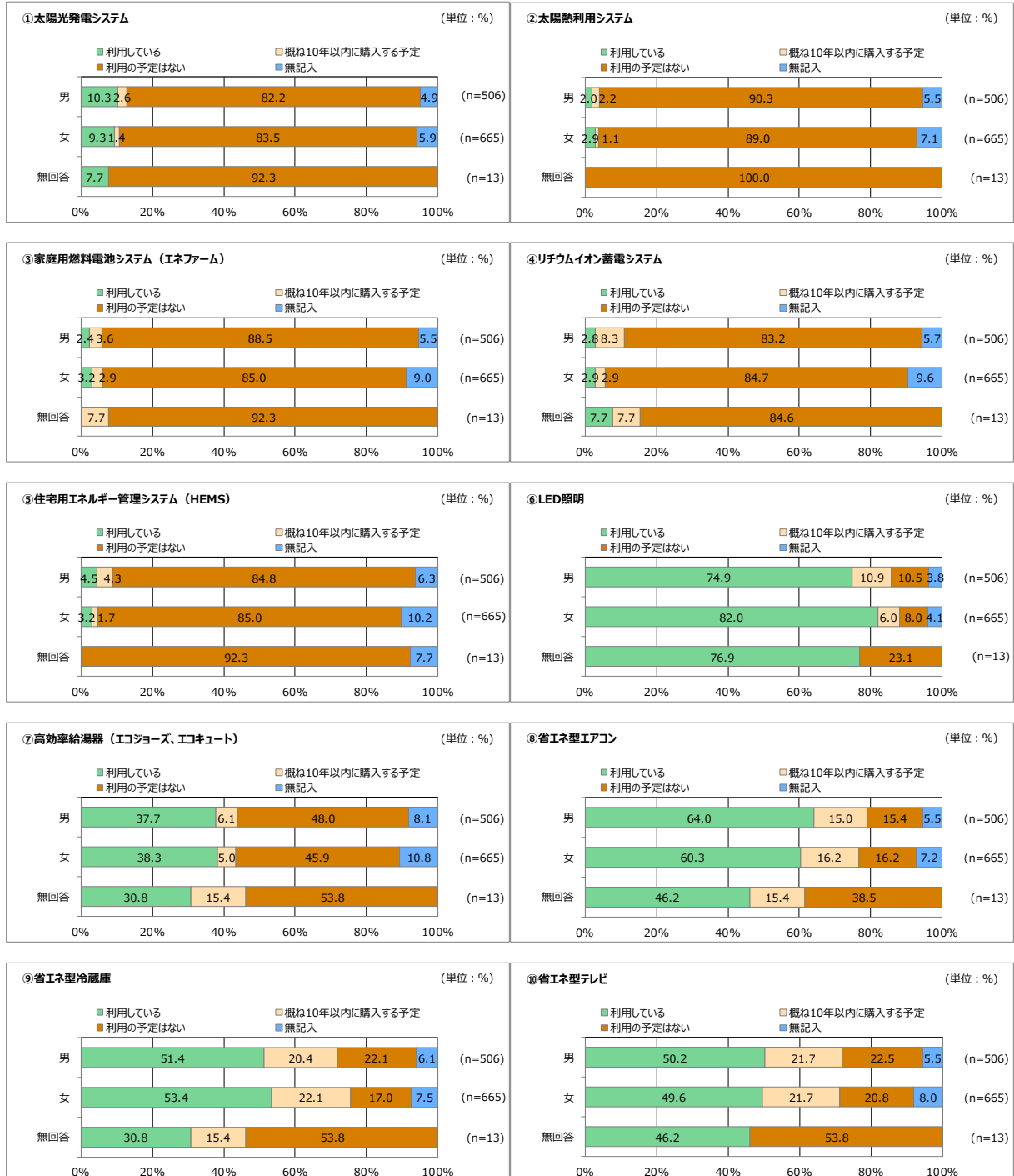


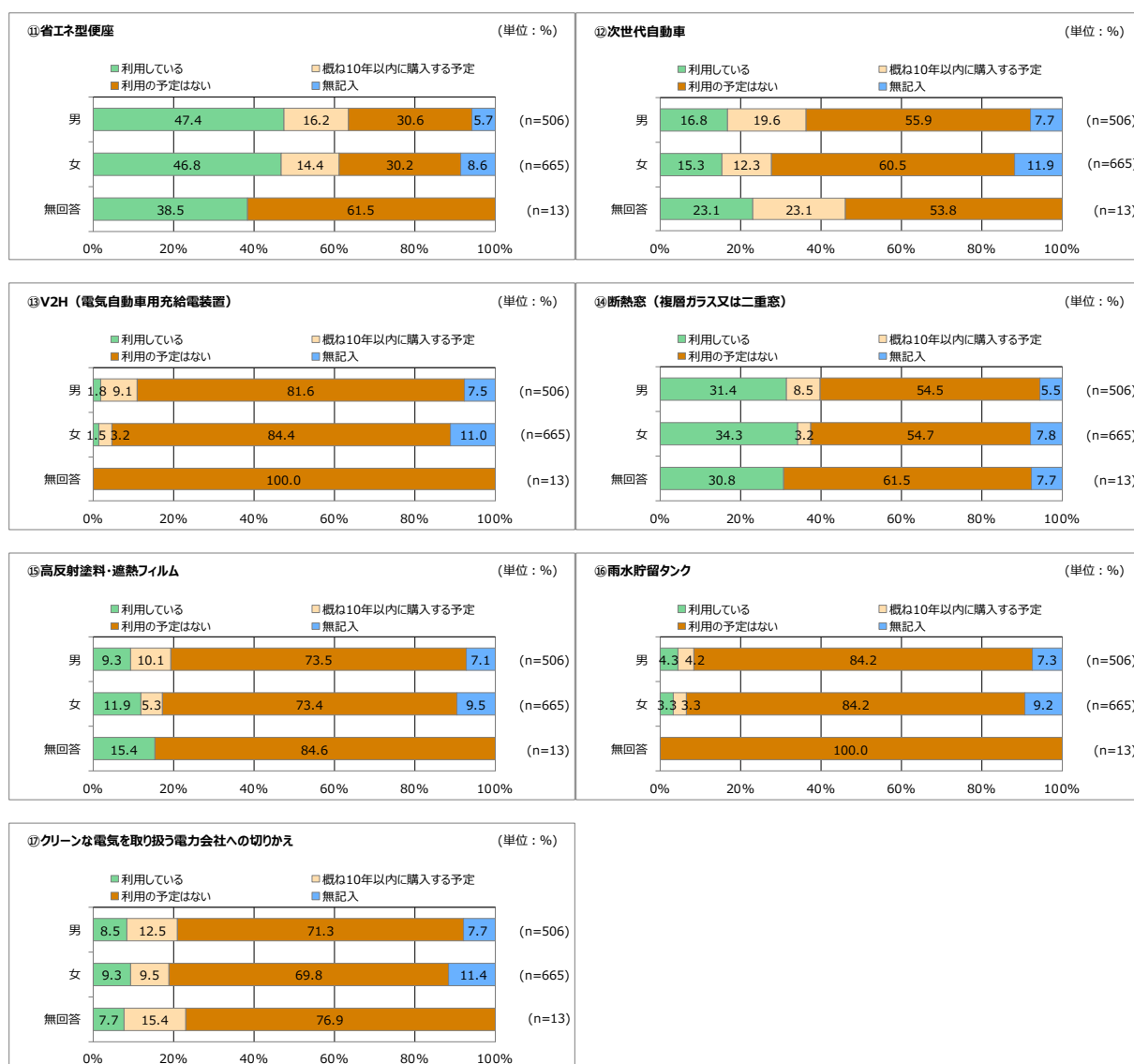




2) クロス集計（性別）

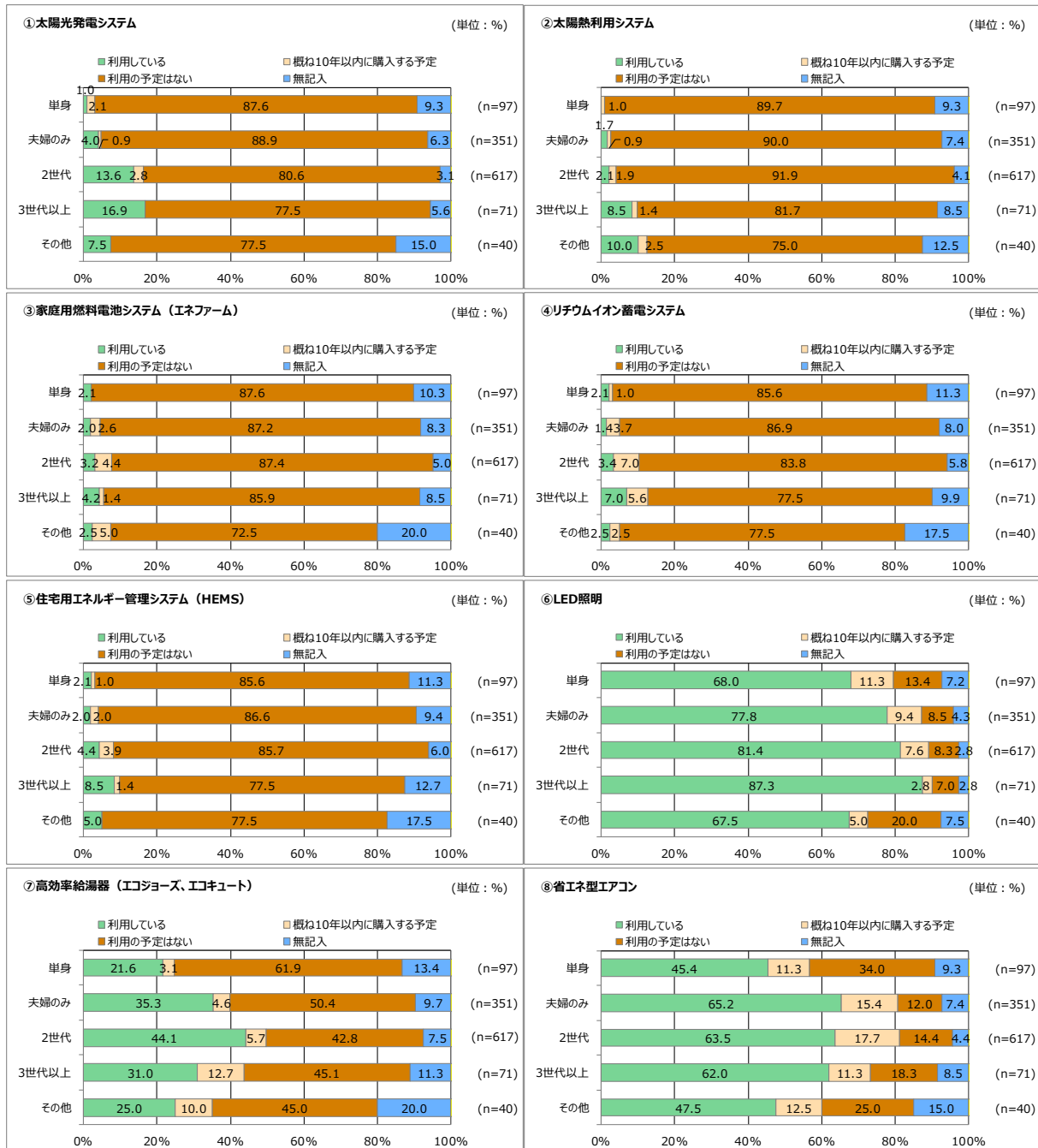
- ・「④リチウムイオン蓄電システム」、「⑫次世代自動車」、「⑬V2H（電気自動車用充給電装置）」、「⑭断熱窓（複層ガラス又は二重窓）」の今後の利用予定は男性の方が高い傾向にある。

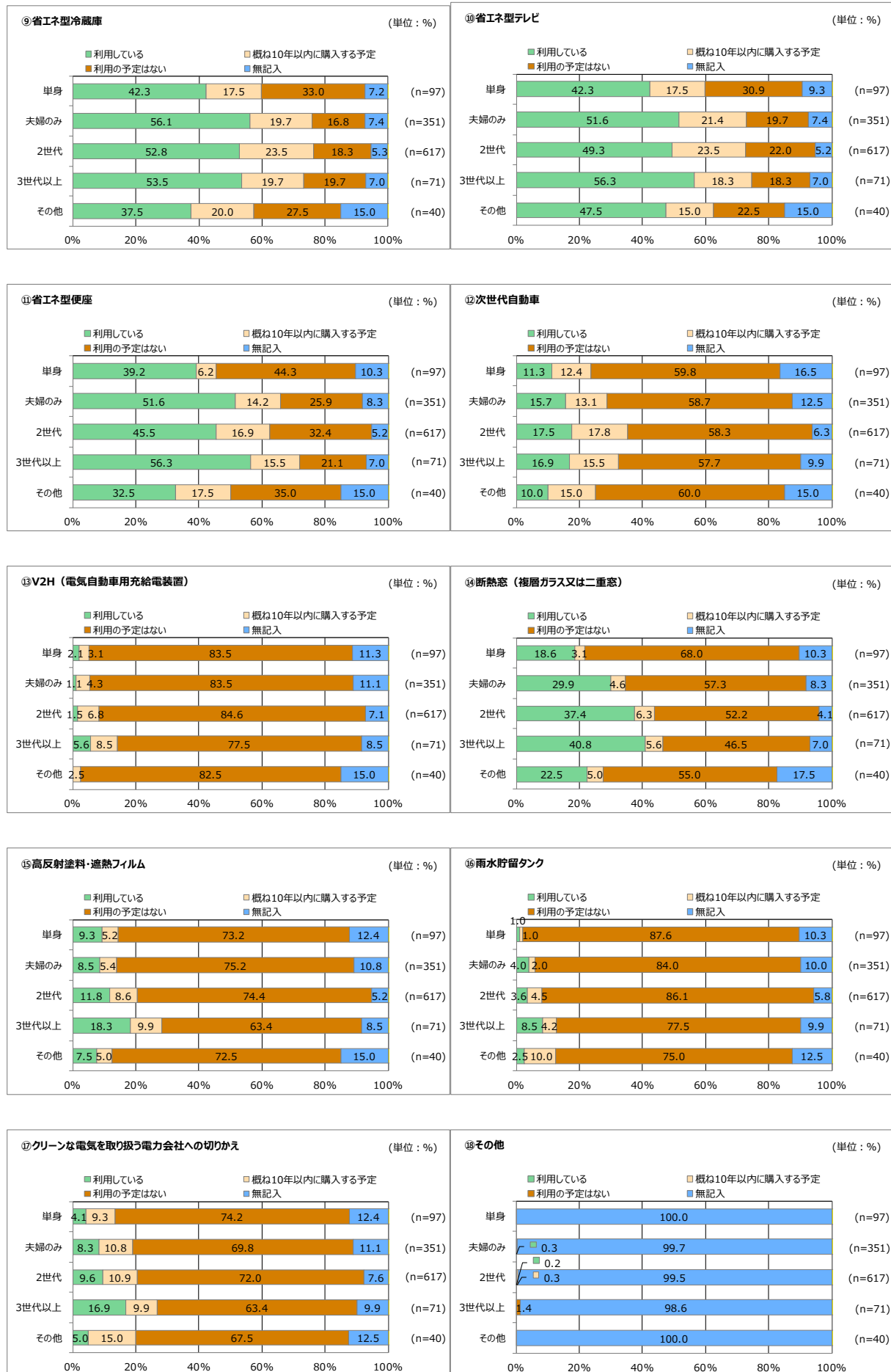




3) クロス集計（家族構成）

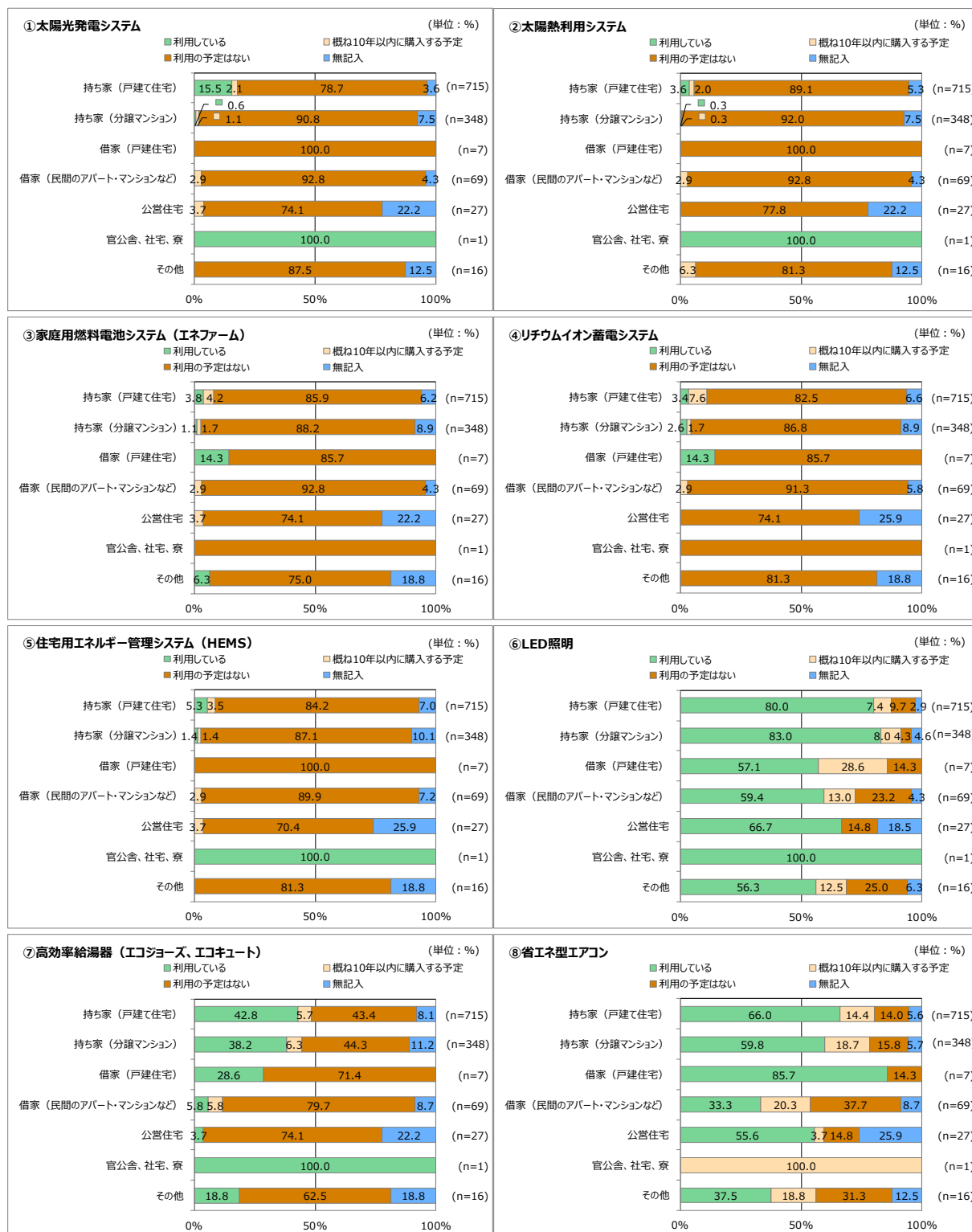
- ・「①太陽光発電システム」は2世代、3世代以上の世帯の導入率が高い傾向にある。
- ・「⑥LED照明」、「⑧省エネ型エアコン」、「⑨省エネ型冷蔵庫」、「⑪省エネ型便座」、「⑭断熱窓（複層ガラス又は二重窓）」は単身の導入率が低い傾向にある。





4) クロス集計（住宅状況）

- ・「①太陽光発電システム」は、持ち家（戸建住宅）では15.5%と一定程度の導入が進んでいる。
- ・「⑥LED照明」、「⑦高効率給湯器（エコジョーズ、エコキュート）」、「⑧省エネ型エアコン」は借家（民間のアパート・マンション）の導入率が低い傾向にある。





4. 環境への取組に対する満足度及び重要度

(1) Q11

① 空気のきれいさ（大気汚染や悪臭の少なさ） ② 河川や水路の水の清らかさ ③ 住まいの周辺の静けさ（騒音や振動の少なさ） ④ 住まいの周辺の清潔さ ⑤ 市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展 ⑥ 樹林地や緑地との親しみやすさ ⑦ 生きもの（野鳥、動植物、昆虫等）との親しみやすさ ⑧ 河川・湧水等の水辺との親しみやすさ ⑨ 農業や園芸との親しみやすさ ⑩ 田園風景の美しさ ⑪ 街並みの美しさ ⑫ 交通事故や洪水災害に対して安心できるまち ⑬ 歴史的・文化的雰囲気 ⑭ 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ ⑮ 公園や遊歩道の多さ ⑯ 市民・事業者における省エネ行動の定着 ⑰ 建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及 ⑱ 市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ ⑲ 市民・事業者による地域の環境保全活動への参加
満足度
1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(2) Q12

前問 Q11 の項目 1～19 のうち、あなたが特に重要と考える項目を上位 3 つ選び、下欄に番号を記入して下さい。	
重要度	
1 位	
2 位	
3 位	

1) 全体

・満足度が高い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)

- 1 住まいの周辺の清潔さ (35.20 点)
- 2 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ) (35.14 点)
- 3 樹林地や緑地との親しみやすさ (34.75 点)
- 4 住まいの周辺の静けさ (騒音や振動の少なさ) (34.63 点)
- 5 市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展 (34.39 点)

・満足度が低い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)

- 1 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ (23.51 点)
- 2 市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ (26.39 点)
- 3 建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及 (26.75 点)
- 4 市民・事業者による地域の環境保全活動への参加 (26.96 点)
- 5 市民・事業者における省エネ行動の定着 (27.07 点)

・重要度が高い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)

- 1 交通事故や洪水災害に対して安心できるまち (8.94 点)
- 2 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ (8.52 点)
- 3 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭の少なさ) (7.80 点)
- 4 住まいの周辺の静けさ (騒音や振動の少なさ) (6.23 点)
- 5 住まいの周辺の清潔さ (5.77 点)

・重要度が低い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)

- 1 河川・湧水等の水辺との親しみやすさ (0.43 点)
- 2 歴史的・文化的雰囲気 (0.45 点)
- 3 農業や園芸との親しみやすさ (0.51 点)
- 4 市民・事業者による地域の環境保全活動への参加 (0.62 点)
- 5 田園風景の美しさ (0.77 点)

・公害(「空気のきれいさ」、「住まい周辺の静けさ」)に関する項目や「樹林地や緑地との親しみやすさ」の満足度は高い。公害に関する項目は重要度も高くなっている。

・「自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」やエネルギーに関する項目(「建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及」、「市民・事業者における省エネ行動の定着」、「市民・事業者による地域の環境保全活動への参加」への満足度が低い。

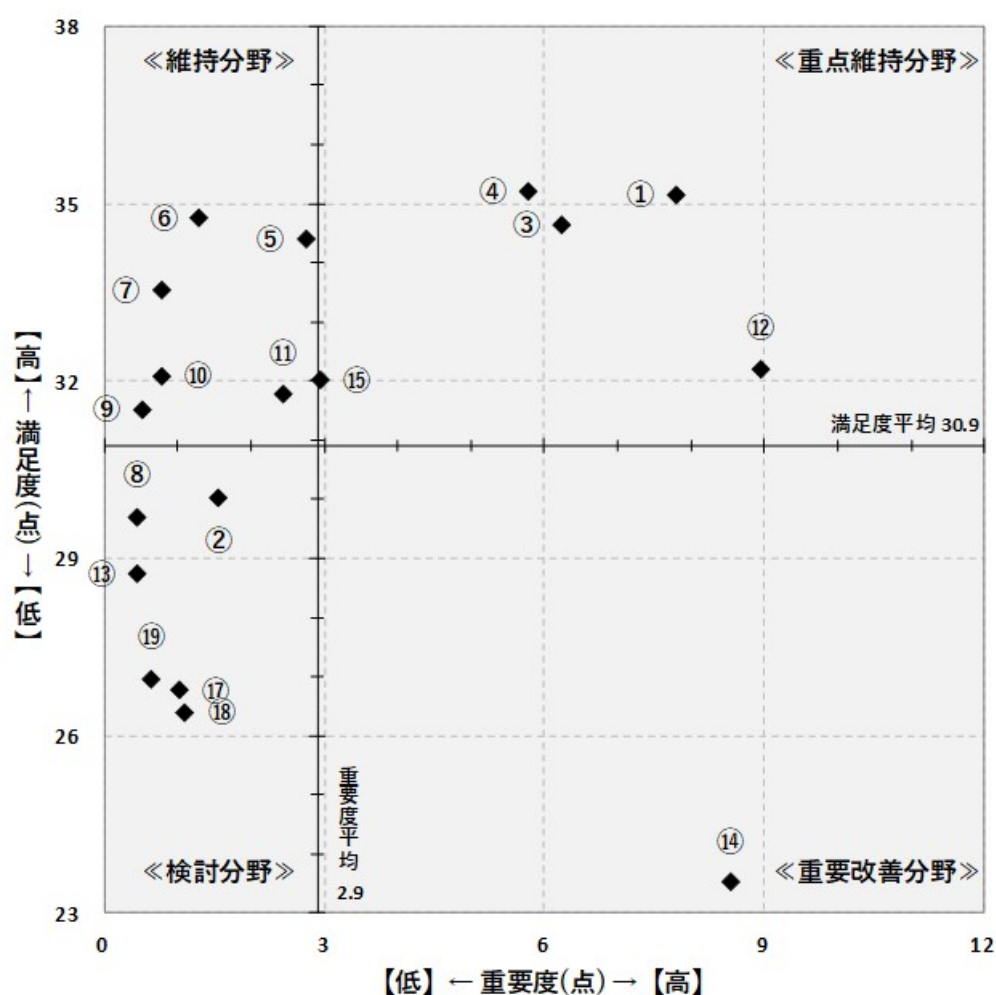
「水辺の親しみやすさ」、農業に関する項目(「農業や園芸との親しみやすさ」、「田園風景の美しさ」)、「歴史的・文化的雰囲気」の重要度が低い。

・「空気のきれいさ」、「住まいの周辺の静けさ」と「住まいの周辺の清潔さ」、「交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」、「公園や遊歩道の多さ」が重点維持分野となっている。

・「自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」は重要改善分野である。

※ 満足度・重要度の点数化方法は 41 ページの「散布図の見方」を参照

■ 満足度、重要度の散布（全体）



〈散布図〉

◆ 満足度と重要度の点数化（回答者の平均値）

No.	項目	満足度	重要度
①	空気のきれいさ（大気汚染や悪臭の少なさ）	35.14	7.80
②	河川や水路の水の清らかさ	30.00	1.55
③	住まいの周辺の静けさ（騒音や振動の少なさ）	34.63	6.23
④	住まいの周辺の清潔さ	35.20	5.77
⑤	市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展	34.39	2.73
⑥	樹林地や緑地との親しみやすさ	34.75	1.28
⑦	生きもの（野鳥、動植物、昆虫等）との親しみやすさ	33.52	0.78
⑧	河川・湧水等の水辺との親しみやすさ	29.70	0.43
⑨	農業や園芸との親しみやすさ	31.51	0.51
⑩	田園風景の美しさ	32.07	0.77
⑪	街並みの美しさ	31.77	2.42
⑫	交通事故や洪水災害に対して安心できるまち	32.18	8.94
⑬	歴史的・文化的雰囲気	28.73	0.45
⑭	自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ	23.51	8.52
⑮	公園や遊歩道の多さ	31.20	2.93
⑯	市民・事業者における省エネ行動の定着	27.07	0.84
⑰	建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及	26.75	1.01
⑱	市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ	26.39	1.08
⑲	市民・事業者による地域の環境保全活動への参加	26.96	0.62
平均		30.86	2.88

◎散布図の見方

白井市の環境に対する満足度及び重要度の評価をもとに、今後の方向性を整理・検討するため、各項目について、満足度及び重要度の相対的な位置付けを座標上で明らかにする「CS グラフ」を作成している。

このグラフでは、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、それぞれの回答によって重み付けを行った「加重平均点」をプロットしている。座標の原点は全項目の加重平均点の平均値としている。

満足度の加重平均点は、「満足：50 点、やや満足：40 点、普通：30 点、やや不満：20 点、不満：10 点」として項目ごとの回答数を掛け合わせ、その合計点を項目ごとの回答数で割って算出している。

重要度の加重平均点は、「1 位：30 点、2 位：20 点、3 位：10 点」として項目ごとの回答数をかけあわせ、その合計点を全回答数で割って算出している。

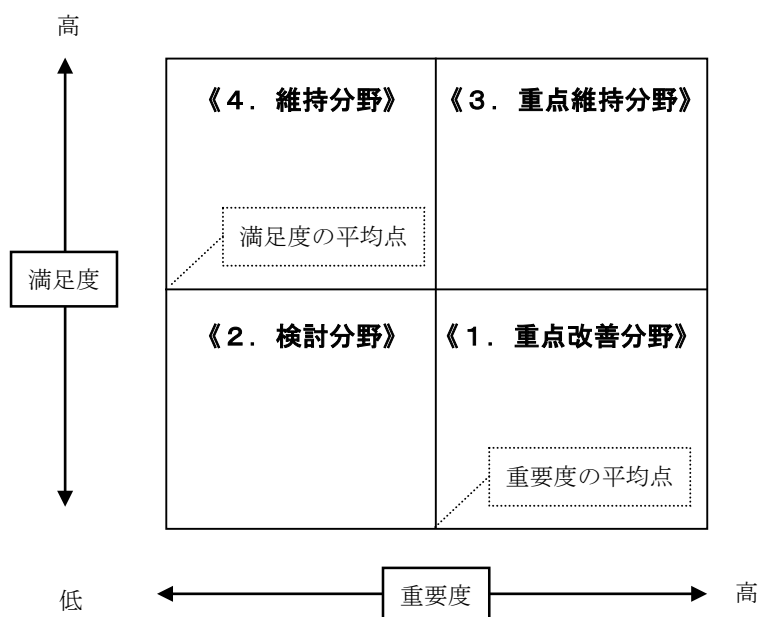
原点を中心に各項目を 4 つの象限に分類している。

《1. 重点改善分野》・・・重要度は高いが満足度が低く、今後、重点的に改善していくべき分野。

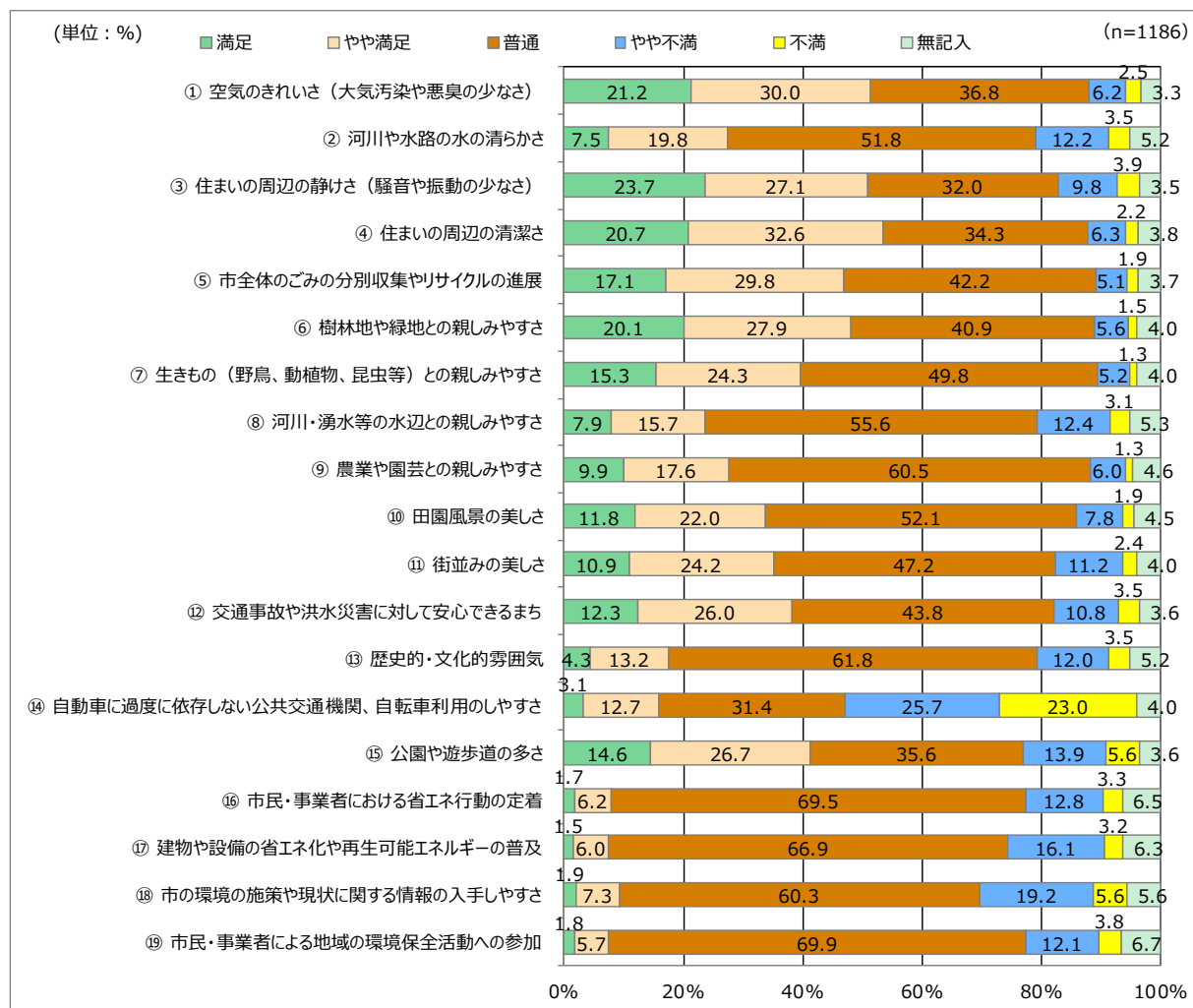
《2. 検討分野》・・・満足度も重要度も低く、今後、施策のあり方を検討していくべき分野。

《3. 重点維持分野》・・・満足度も重要度も高く、今後も現状の高い水準を重点的に維持していくべき分野。

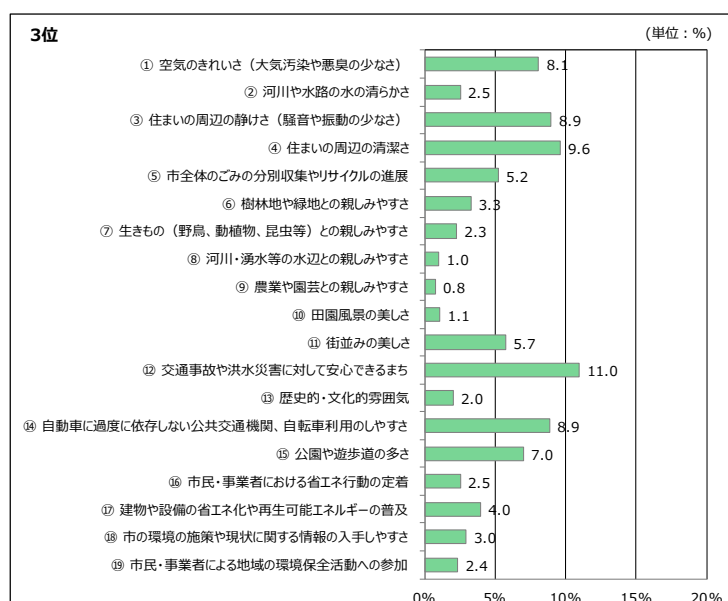
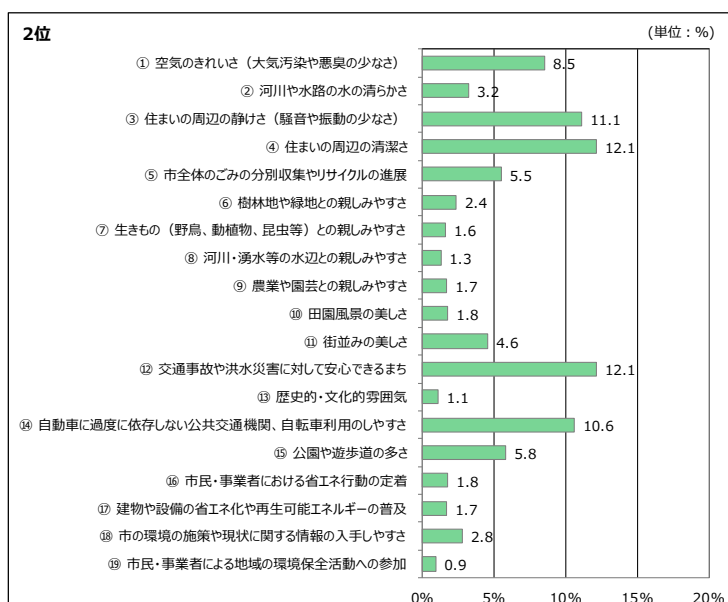
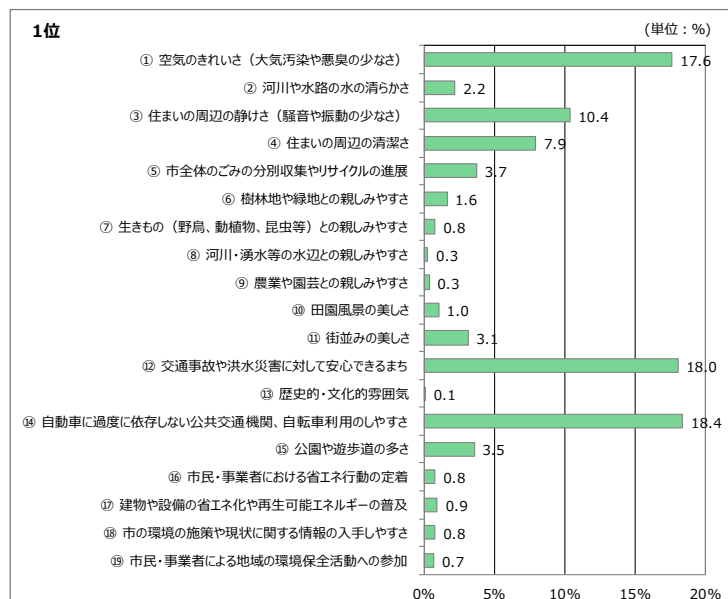
《4. 維持分野》・・・満足度は高いが重要度は低く、現状の満足度を維持していくべき分野。



①-1 満足度



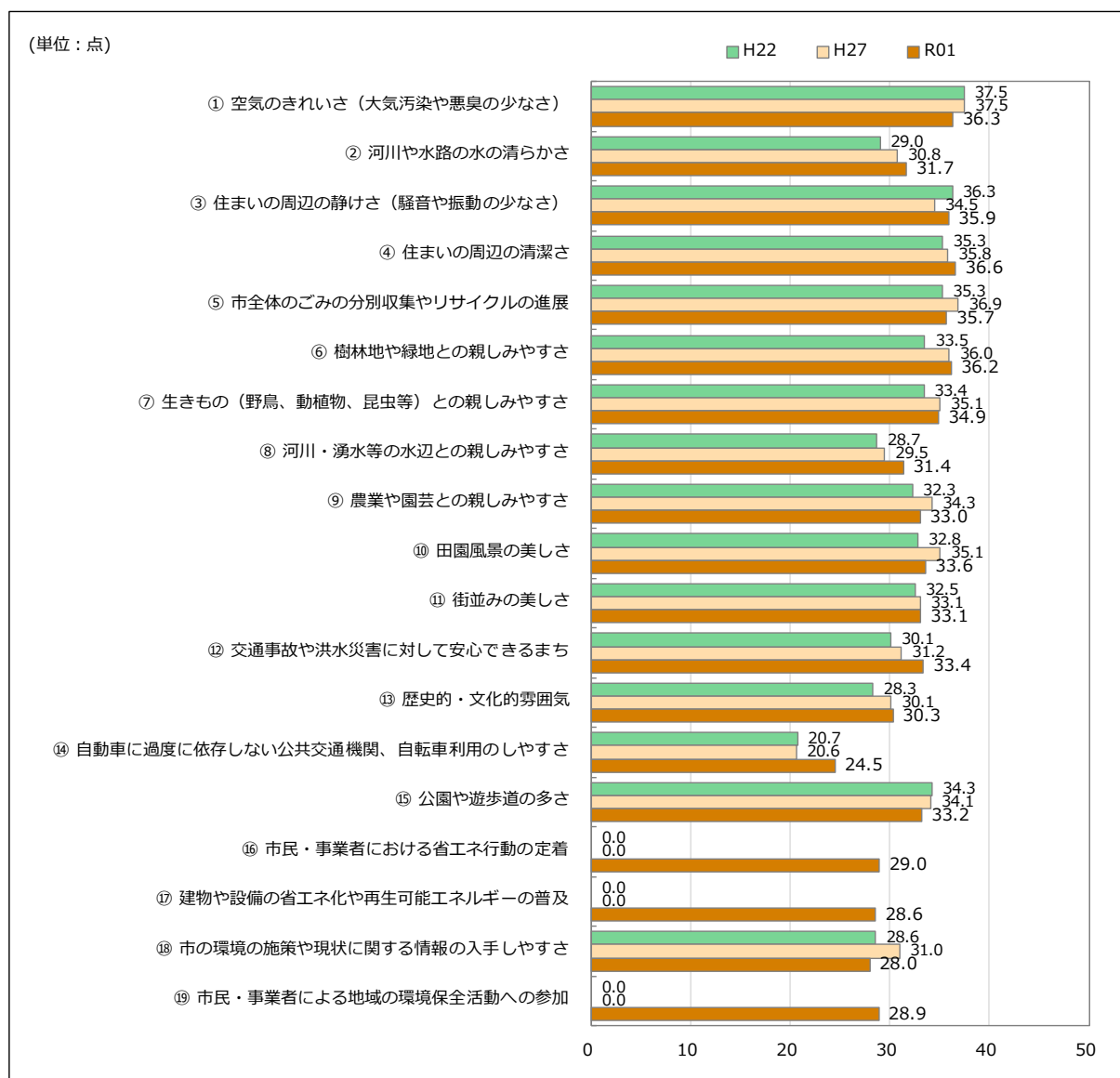
①-2 重要度



2) 経年変化

①-1 満足度

- ・H22の結果と比較すると、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」の満足度が3.8点と最も増加している。また、H27の結果と比較すると、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」の満足度が3.9点と最も増加している。
- ・H22の結果と比較すると、「①空気のきれいさ」の満足度が1.1点と最も減少している。また、H27の結果と比較すると、「⑱市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ」の満足度が3.0点と最も減少している。

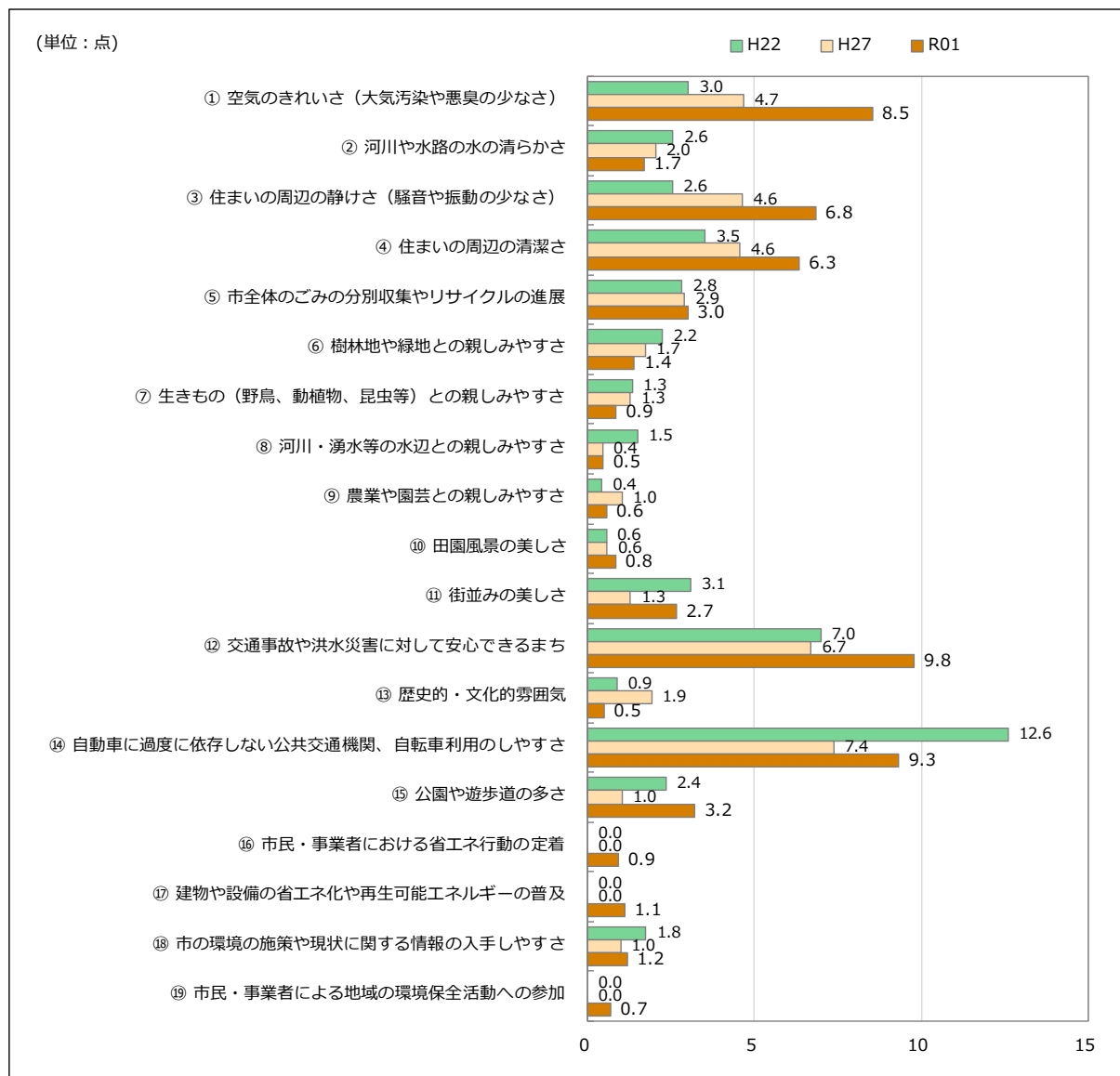


※点数は、「満足」50点、「やや満足」40点、「普通」30点、「やや不満」20点、「不満」10点としてそれぞれの回答者数を掛け合わせ、その合計点を項目ごとの全回答者数で割った「加重平均点」によって算出

※点数が0の項目は過去のアンケートで未実施

①-2 重要度

- ・ H22 の結果と比較すると、「①空気のきれいさ」の重要度が 5.5 点と最も増加している。また、H27 の結果と比較すると、「①空気のきれいさ」の重要度が 3.9 点と最も増加している。
- ・ H22 の結果と比較すると、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」の重要度が 3.3 点と最も減少している。また、H27 の結果と比較すると、「⑬歴史的・文化的雰囲気」の重要度が 1.4 点と最も減少している。



※点数は、「1位」30点、「2位」20点、「3位」10点としてそれぞれの回答者数を掛け合わせ、その合計点を全回答者数で割り「加重平均点」を算出している

※点数が0の項目は過去のアンケートで未実施

3) クロス集計（年齢）

①-1 重要度

- ・1位の結果を見ると、「⑫交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」の重要度が40代で高い傾向にある。
- ・1位の結果を見ると、「③住まい周辺の静けさ」の重要度は20代で高い傾向にある。

※グラフは次ページに掲載

1位

(n=1171)



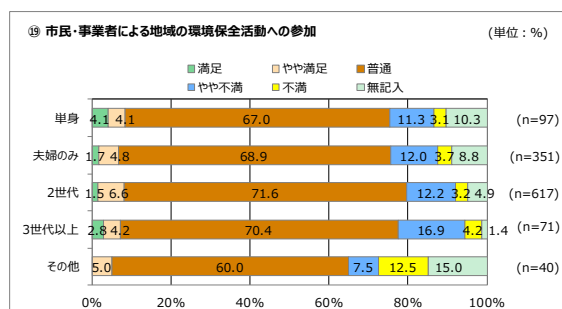
4) クロス集計（家族構成）

①-1 満足度

- ・「⑨農業や園芸との親しみやすさ」は3世代以上の世帯の満足度が高い傾向にある。
- ・「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」は単身世帯が最も高く、同居世代が増えるほど満足度が低くなる傾向にある。

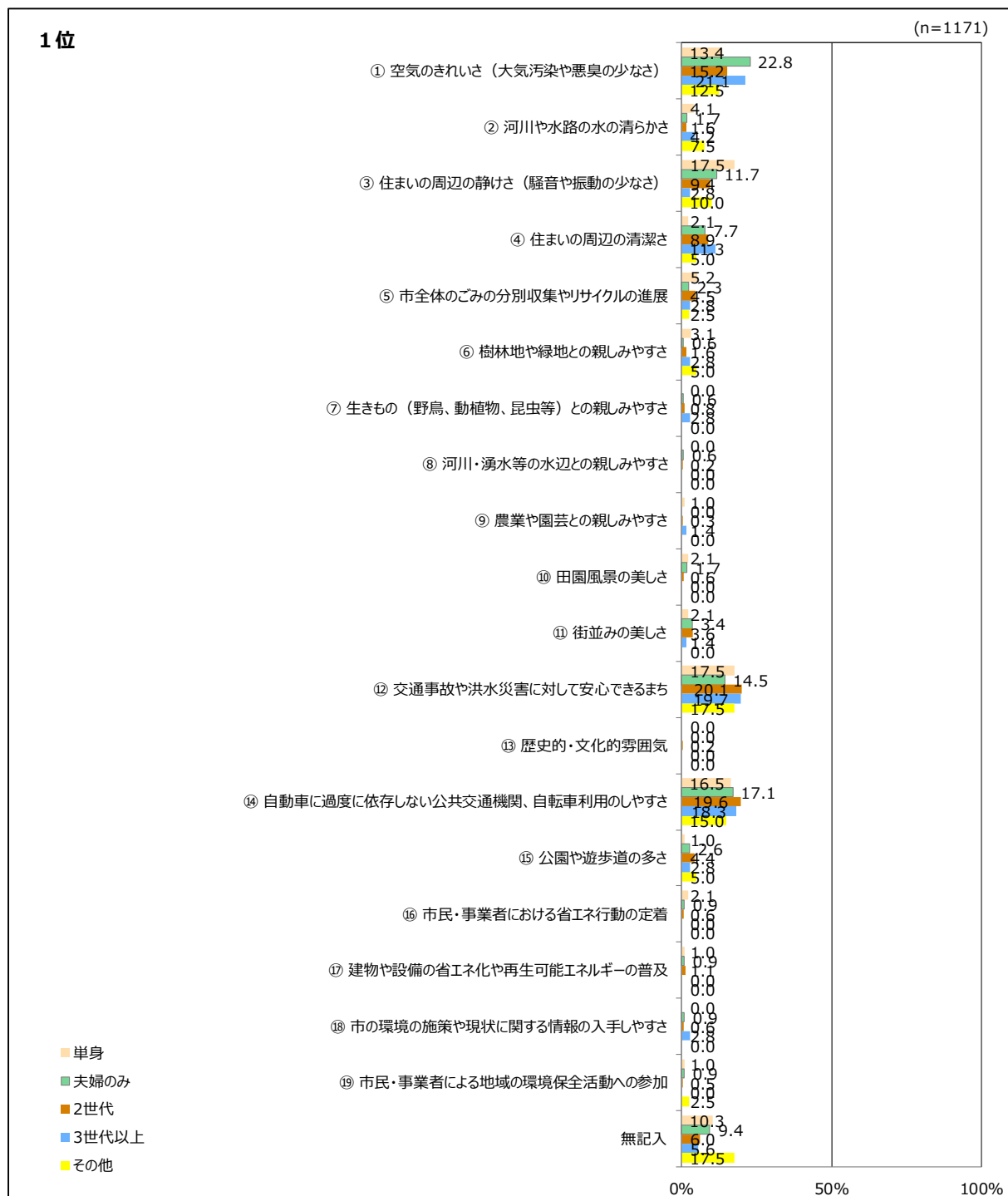






①-2 重要度

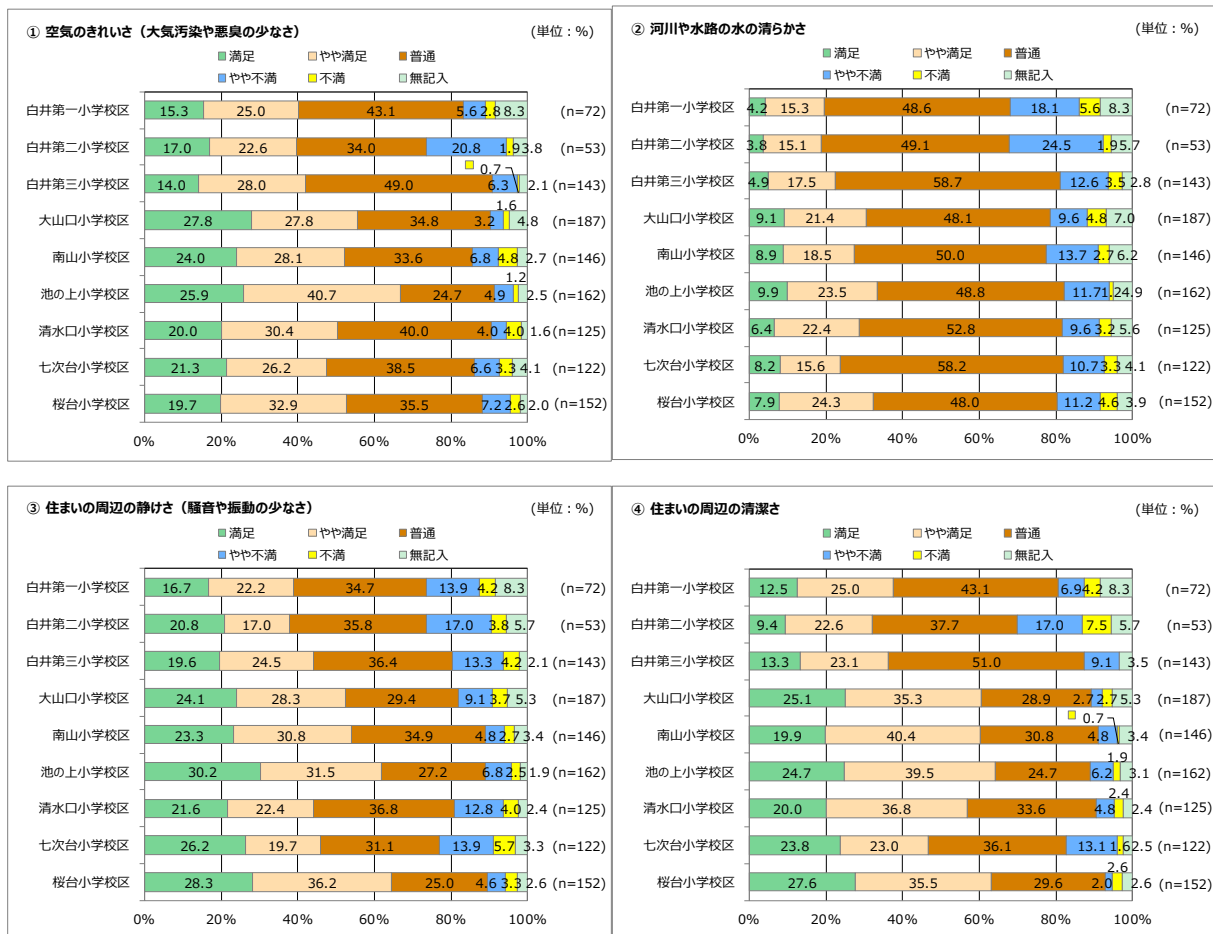
- ・1位の結果を見ると、夫婦のみ、3世代以上の世帯の「①空気のきれいさ」の重要度が高い傾向にある。
- ・1位の結果を見ると、単身世帯の「③住まい周辺の静けさ」の重要度が高い傾向にある。

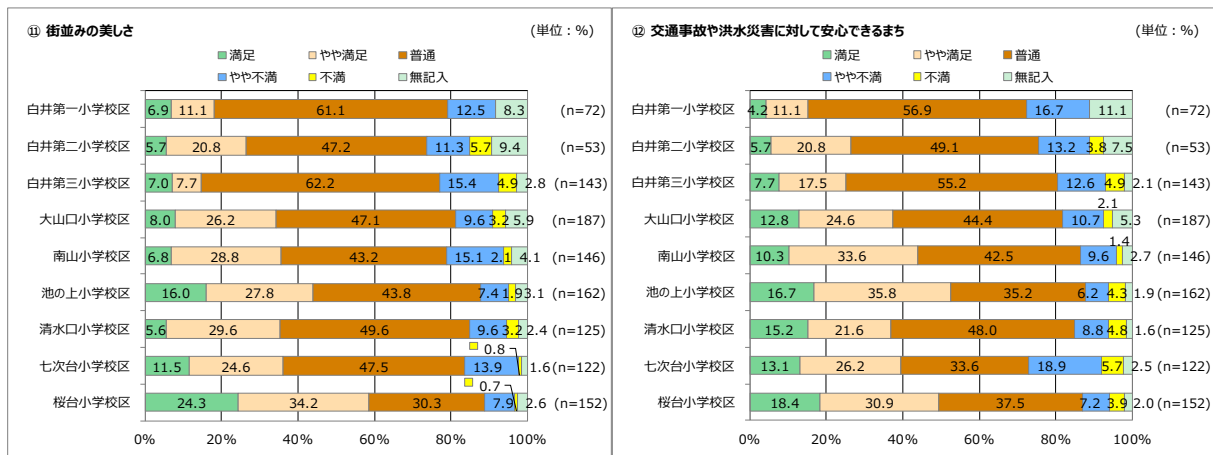
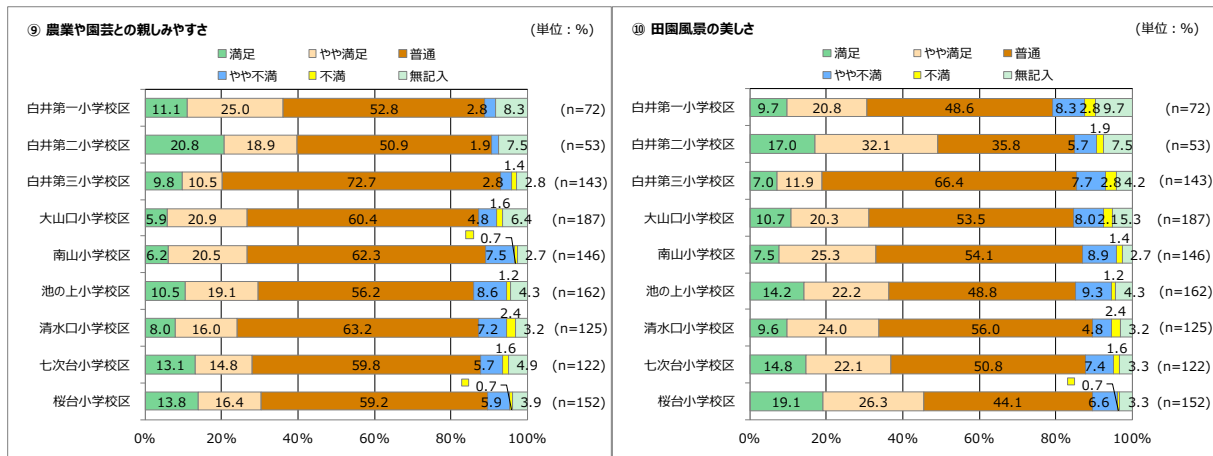
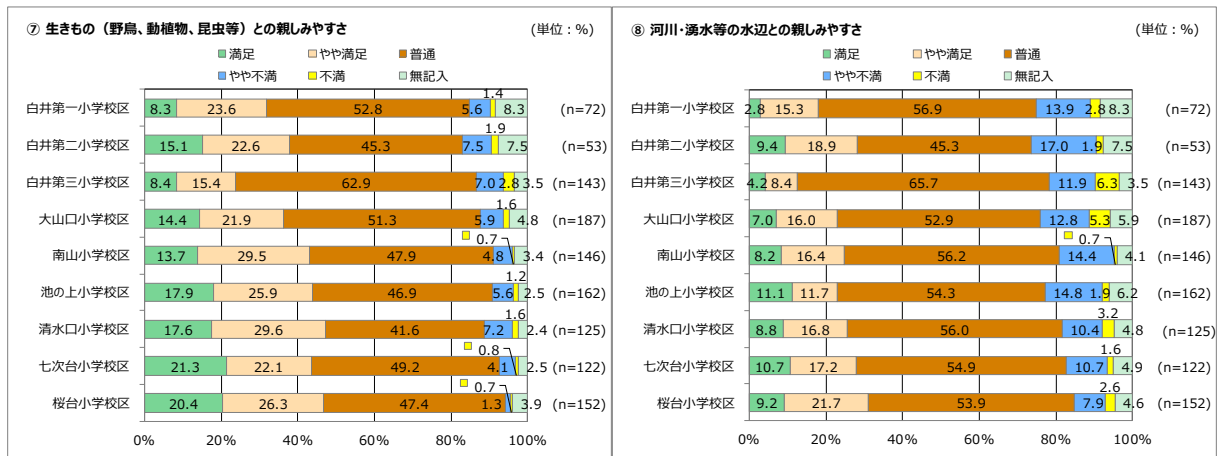
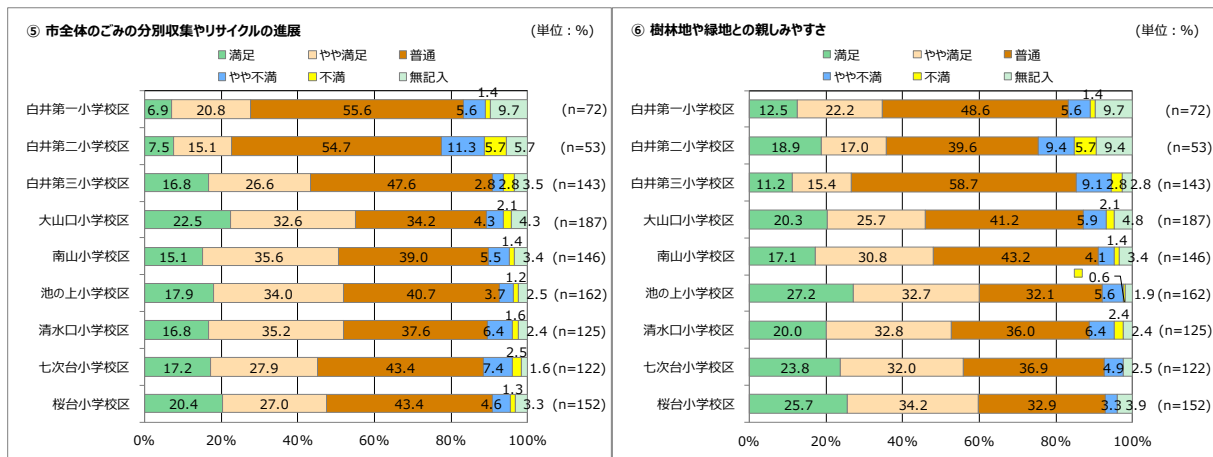


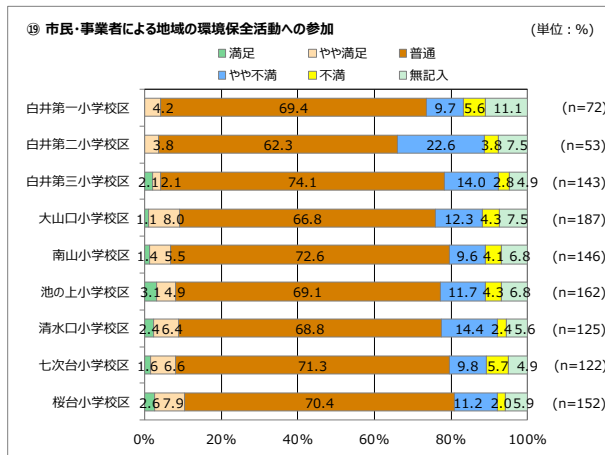
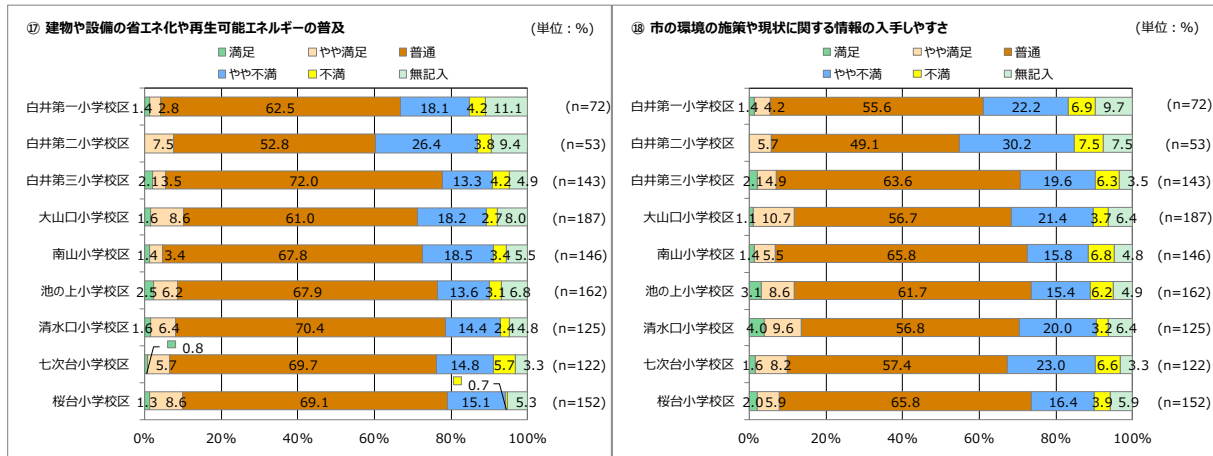
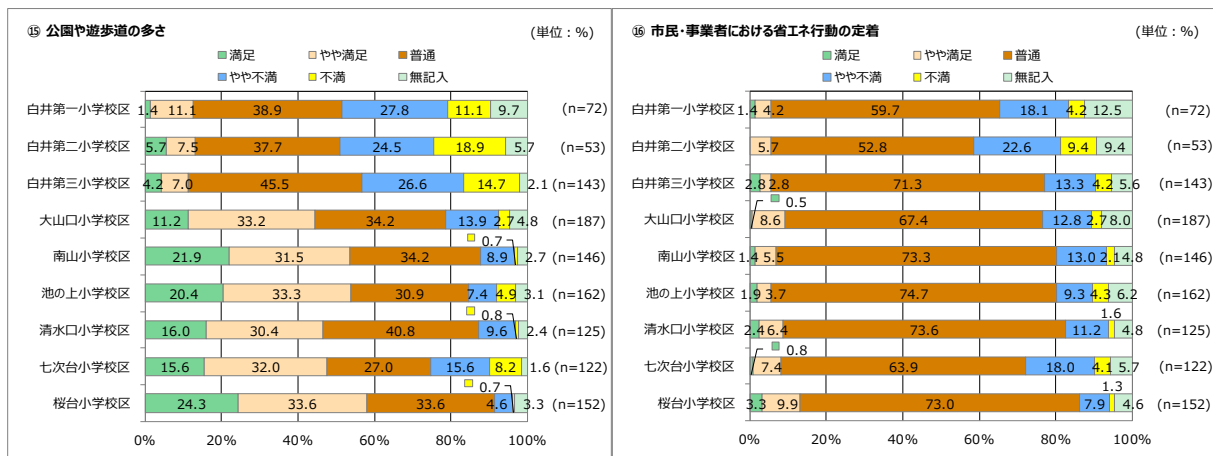
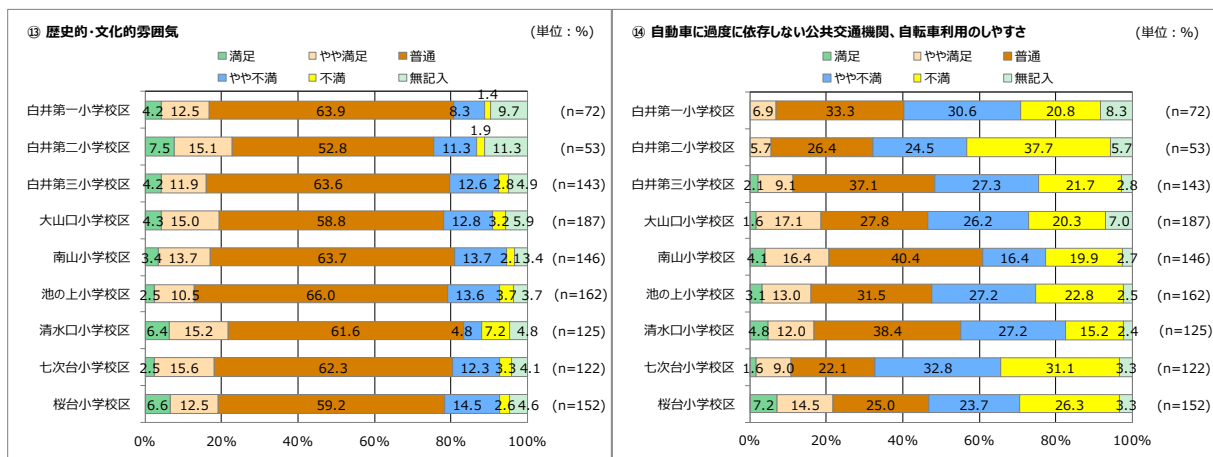
5) クロス集計（居住地区）

①-1 満足度

- ・白井第一小学校区、七次台小学校区の「⑫交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」を不満と答えた人の割合が多い傾向にある。一方、池の上小学校区、桜台小学校区は満足と答えた人の割合が多い傾向にある。
- ・白井第一小学校区、白井第二小学校区、白井第三小学校区の「⑮公園や遊歩道の多さ」を不満と答えた人の割合が多い傾向にある。
- ・白井第二小学校区の「①空気のきれいさ」、「④住まい周辺の清潔さ」を不満と答えた人の割合が多い傾向にある。
- ・池の上小学校区の「①空気のきれいさ」を満足と答えた人の割合が多い傾向にある。







①-2 重要度

- ・1位の結果を見ると、「⑭自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」は大山口小学校区で高い傾向にある。
- ・1位の結果を見ると、「⑤市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展」は白井第二小学校区、白井第三小学校区で高い傾向にある。

※グラフは次ページに掲載



5. 望ましい環境像

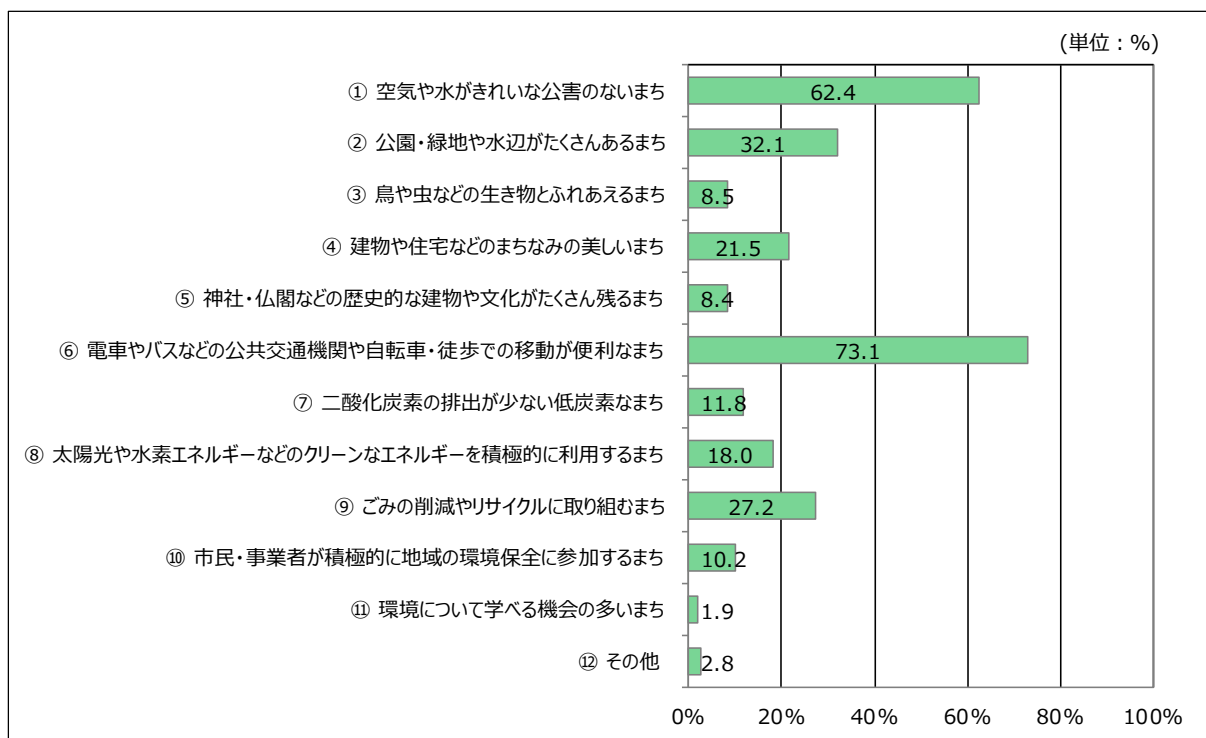
(1) Q13

概ね 10 年後に実現することが望ましい市の環境像はどれですか。
該当する番号に○をつけて下さい。(○は3つまで)

- ① 空気や水がきれいな公害のないまち
- ② 公園・緑地や水辺がたくさんあるまち
- ③ 鳥や虫などの生き物とふれあえるまち
- ④ 建物や住宅などのまちなみの美しいまち
- ⑤ 神社・仏閣などの歴史的な建物や文化がたくさん残るまち
- ⑥ 電車やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動が便利なまち
- ⑦ 二酸化炭素の排出が少ない低炭素なまち
- ⑧ 太陽光や水素エネルギーなどのクリーンなエネルギーを積極的に利用するまち
- ⑨ ごみの削減やリサイクルに取り組むまち
- ⑩ 市民・事業者が積極的に地域の環境保全に参加するまち
- ⑪ 環境について学べる機会の多いまち
- ⑫ その他 ()

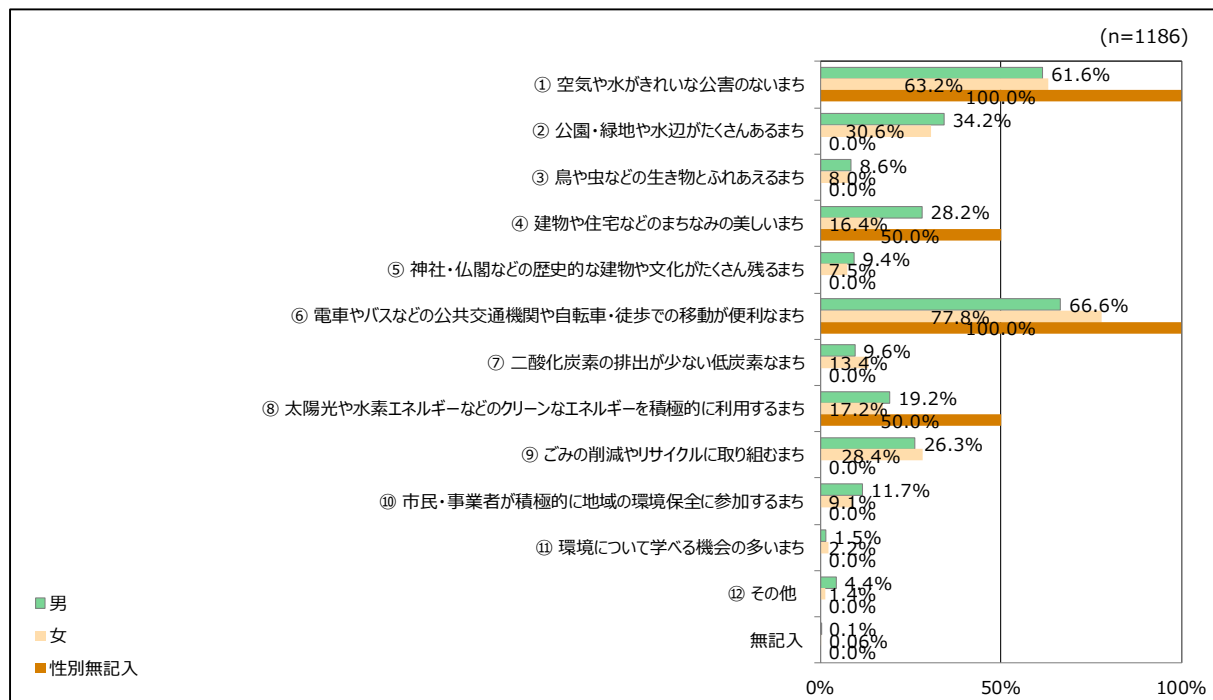
1) 全体

- ・「⑥電車やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動が便利なまち」が 73.1%と最も高く、「①空気や水がきれいな公害のないまち」が 62.4%と次いで高くなっている。
- ・「⑪環境について学べる機会の多いまち」は 1.9%と最も低い。



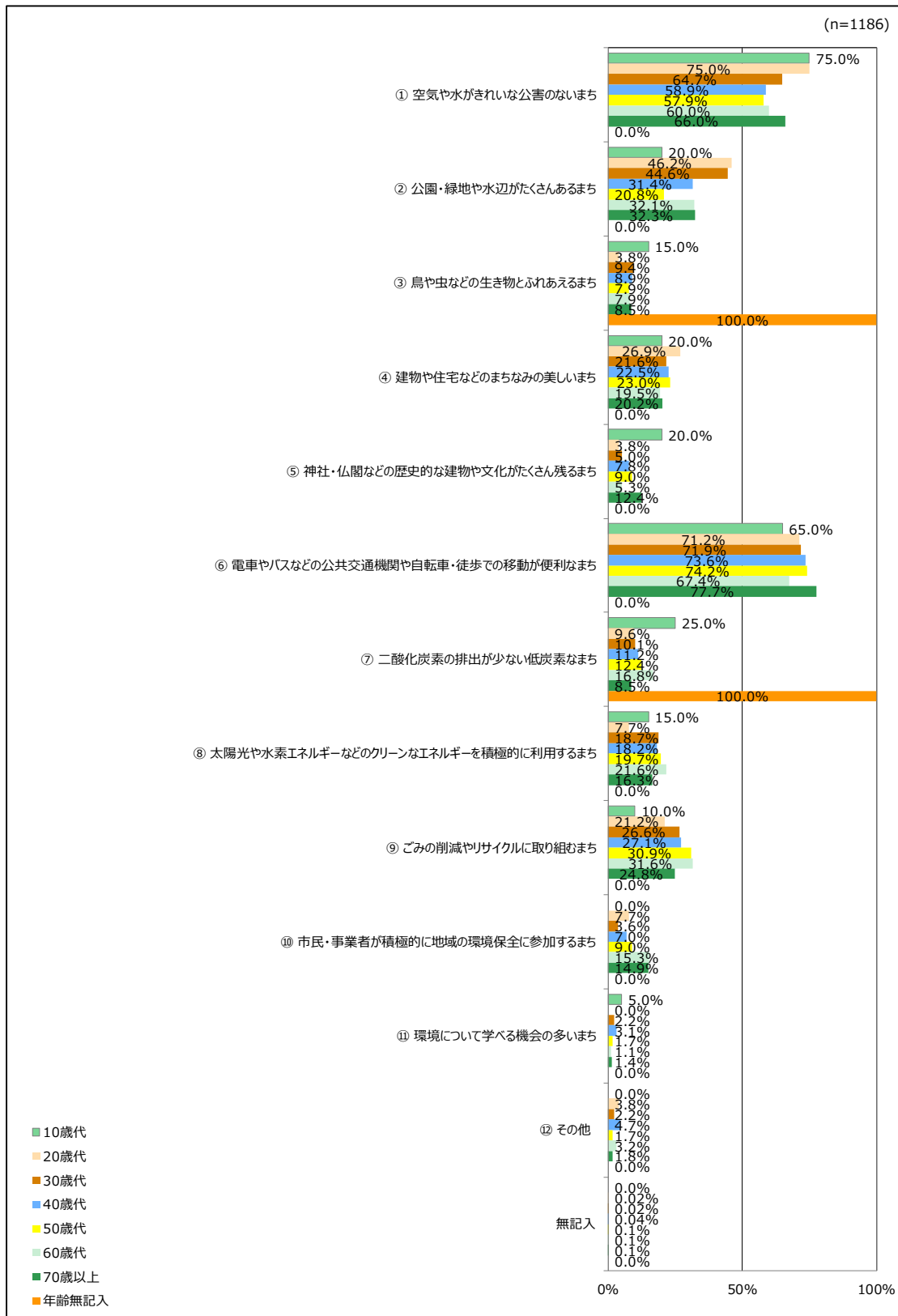
2) クロス集計（性別）

- ・「④建物や住宅などのまちなみの美しいまち」は男性の回答率が高い傾向にあり、「⑥電車やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動が便利なまち」は女性が高い傾向にある。



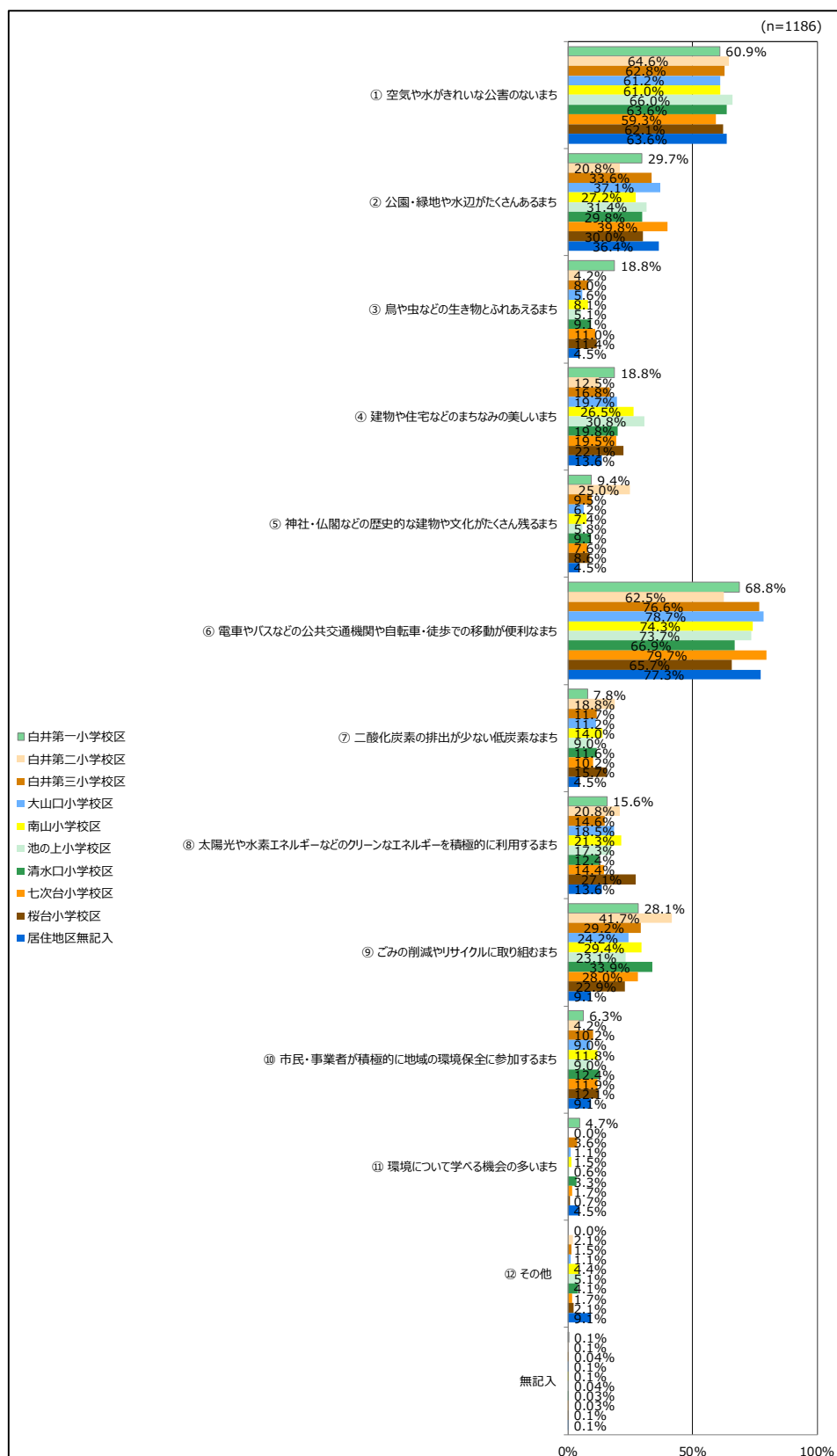
3) クロス集計（年齢）

- ・ 60 代以上は「⑩市民・事業者が積極的に地域の環境保全に参加するまち」の回答が多い傾向にある。
- ・ 20 代は「①空気や水がきれいな公害のないまち」の回答が多い傾向にある。
- ・ 20 代、30 代は「②公園・緑地や水辺がたくさんあるまち」の回答が多い傾向にある。



4) クロス集計（居住地区）

- ・白井第二小学校区で「⑤神社・仏閣などの歴史的な建物や文化がたくさん残るまち」、「⑨ごみの削減やリサイクルに取り組むまち」の回答が多い傾向にある。
- ・白井第一小学校区で「③鳥や虫などの生きものとふれあえるまち」の回答が多い傾向にある。



6. 大切だと思うまたは将来に残したい場所について

(1) Q14

市内の環境に関してあなたが大切だと思うまたは将来に残したい場所がありますか。
具体的な名称（場所）とその理由を下欄に記入して下さい。（3つまで）（自由記述）

具体的な名称（場所）	理由
------------	----

1) 全体

- ・大切と思う場所の回答で最も多かったのは「七次川調整池」の76件であった。理由は「オオハクチョウの観察ができるから」などオオハクチョウに関するものが多い。次いで、今井の桜の34件が多い。
- ・公園など市民が活用する機会の多い場所を残したいという回答が多い傾向にある。

大切だと思うまたは将来に残したい場所 （回答数上位5ヶ所）	回答数	主な理由
七次川調整池	76	・オオハクチョウの観察ができる ・水鳥を見ることができる
今井の桜	34	・桜並木がきれい ・田園風景と調和している
白井総合公園	30	・子どもから大人まで多目的に楽しめる ・広場などのびのびできる場所がある
南山公園	21	・散歩やジョギングコースになっている ・自然豊かで、四季を通じて鳥や昆虫が観察できる
十余一公園	18	・緑豊かで静かに過ごせる ・池があり、水辺の生きものを見ることができる

7. 環境に関する情報の認知度

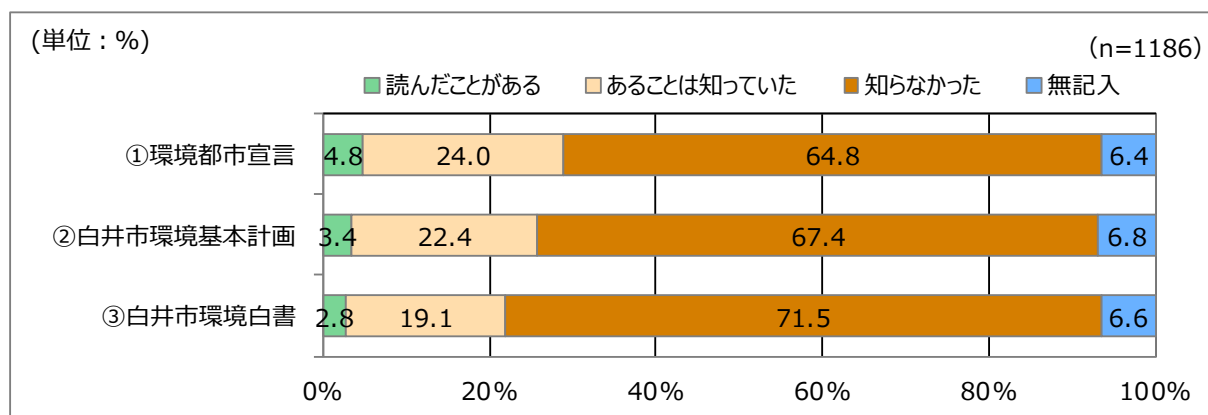
(1) Q15

あなたは「環境都市宣言」「白井市環境基本計画」「白井市環境白書」についてご存じですか。
次ページの該当する番号に○をつけて下さい。（各項目につき○はひとつ）

- ① 読んだことがある
- ② あることは知っていた
- ③ 知らなかった

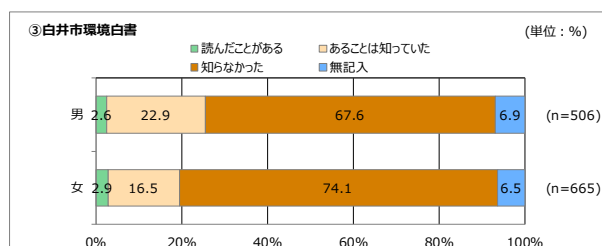
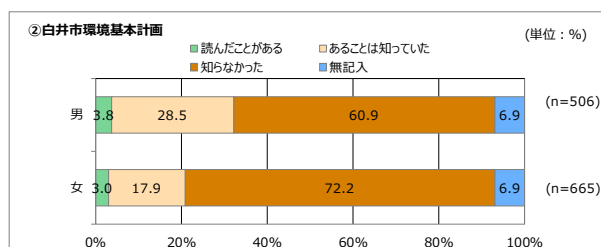
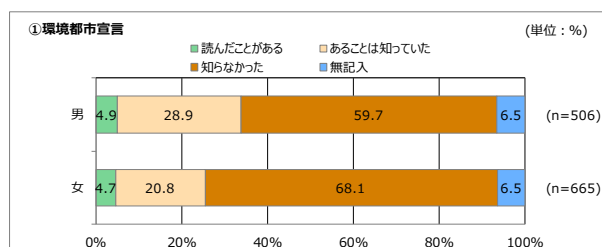
1) 全体

- ・各項目とも、「読んだことがある」の回答は数%であり、「知らなかった」の回答が65%～72%となっている。



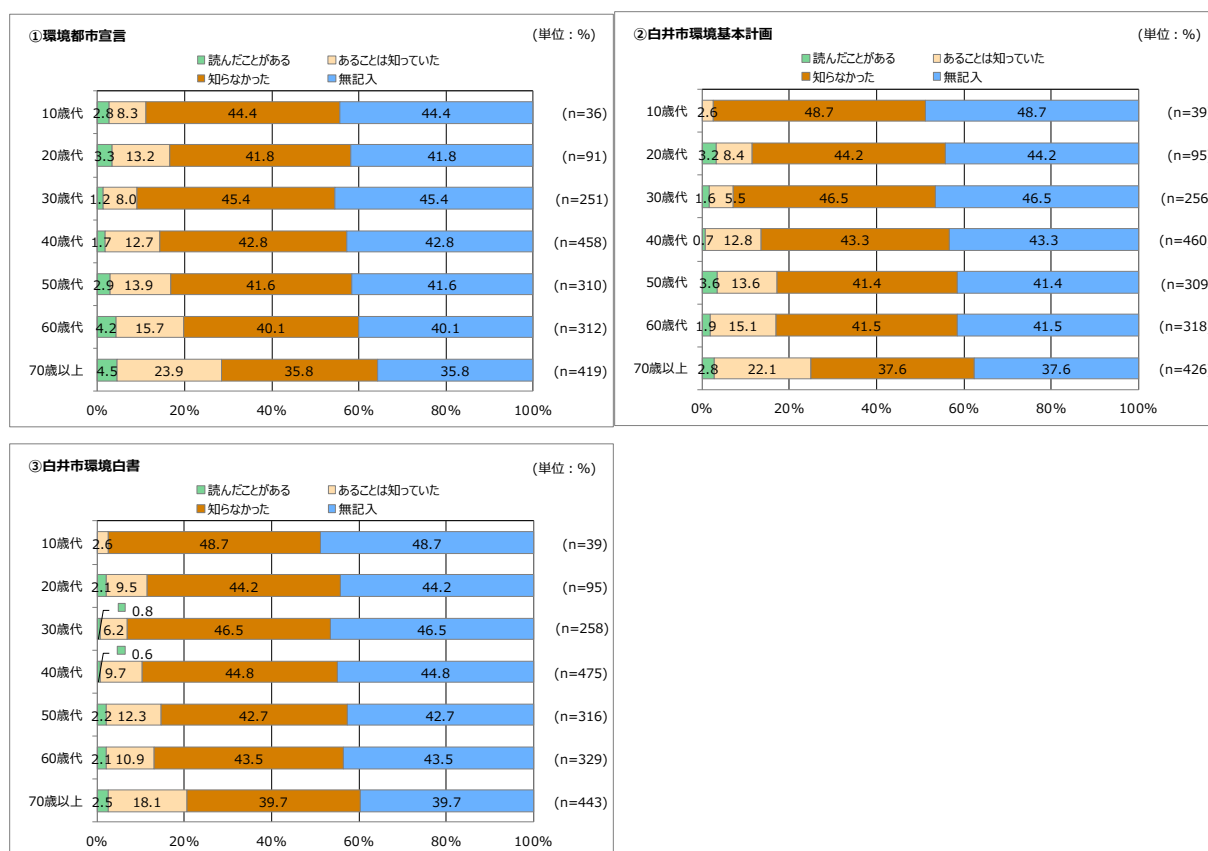
2) クロス集計（性別）

- ・全ての項目で男性の方が認知度（読んだことがあるとあることは知っていたの合計値）が高い傾向にある。



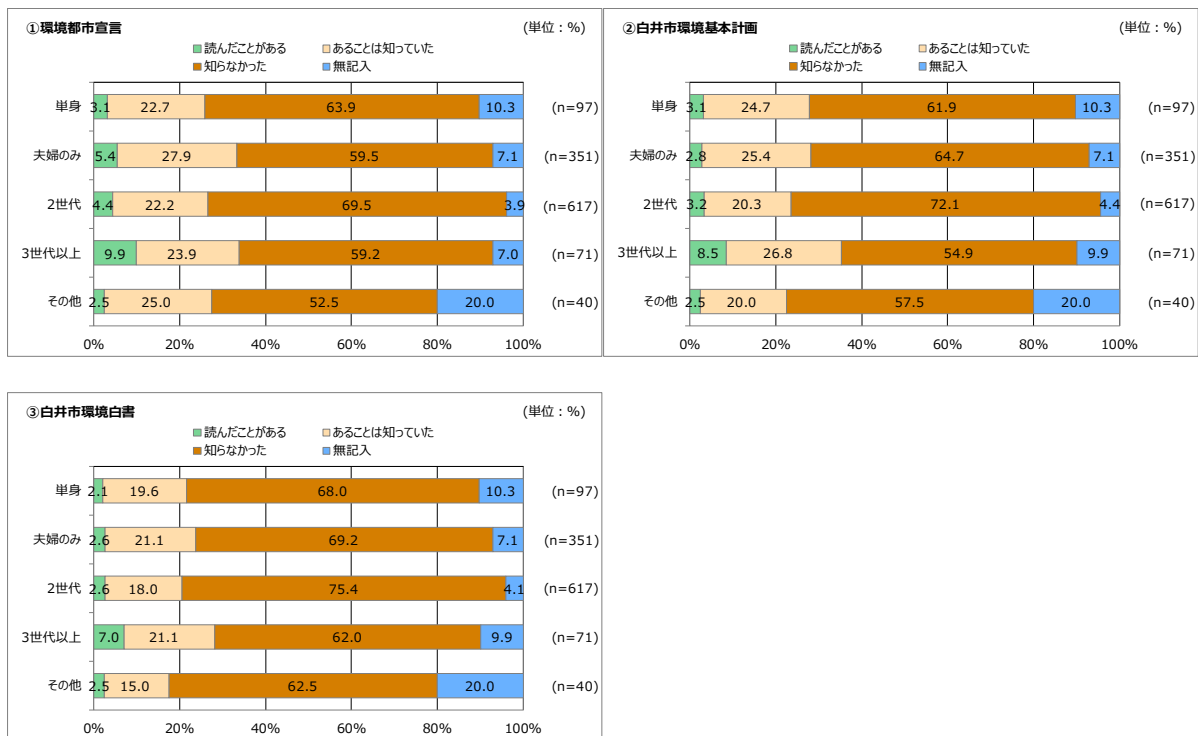
3) クロス集計（年齢）

- ・全ての項目で認知度は年齢が上がるほど高くなる傾向にある。
- ・全ての項目で70歳以上の認知度が最も高い傾向にある。



1) クロス集計（家族構成）

- ・全ての項目で認知度は3世代以上の世帯が高い傾向にあり、単身と2世代が低い傾向にある。



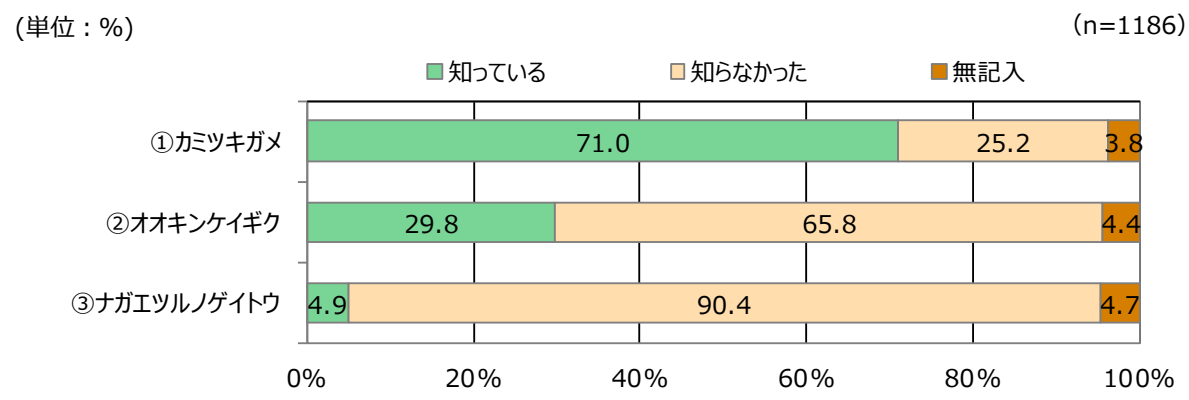
(2) Q16

あなたは市内で確認されている特定外来生物についてご存じですか。該当する番号に○をつけて下さい。(各項目につき○はひとつ)

- ①知っている
- ②知らない

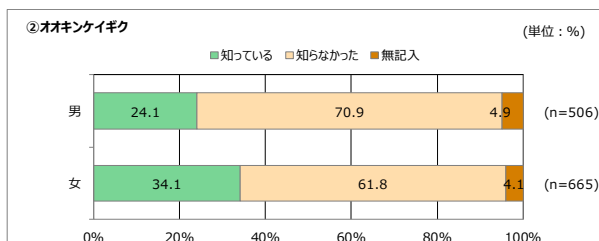
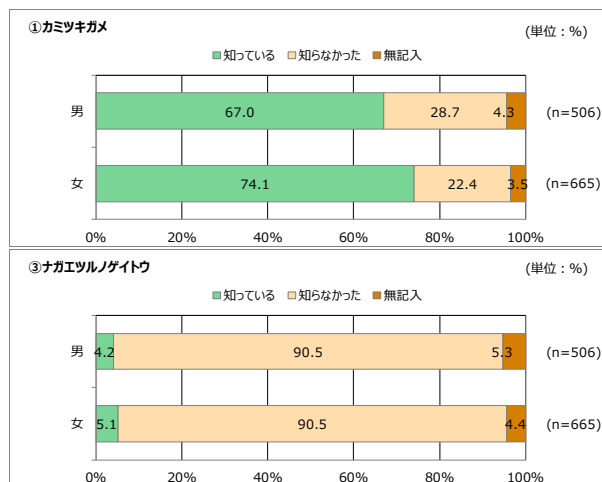
1) 全体

- ・「①カミツキガメ」の認知度は71.0%と高い。
- ・「③ナガエツルノゲイトウ」の認知度は4.9%と低く、「②オオキンケイギク」は29.8%である。



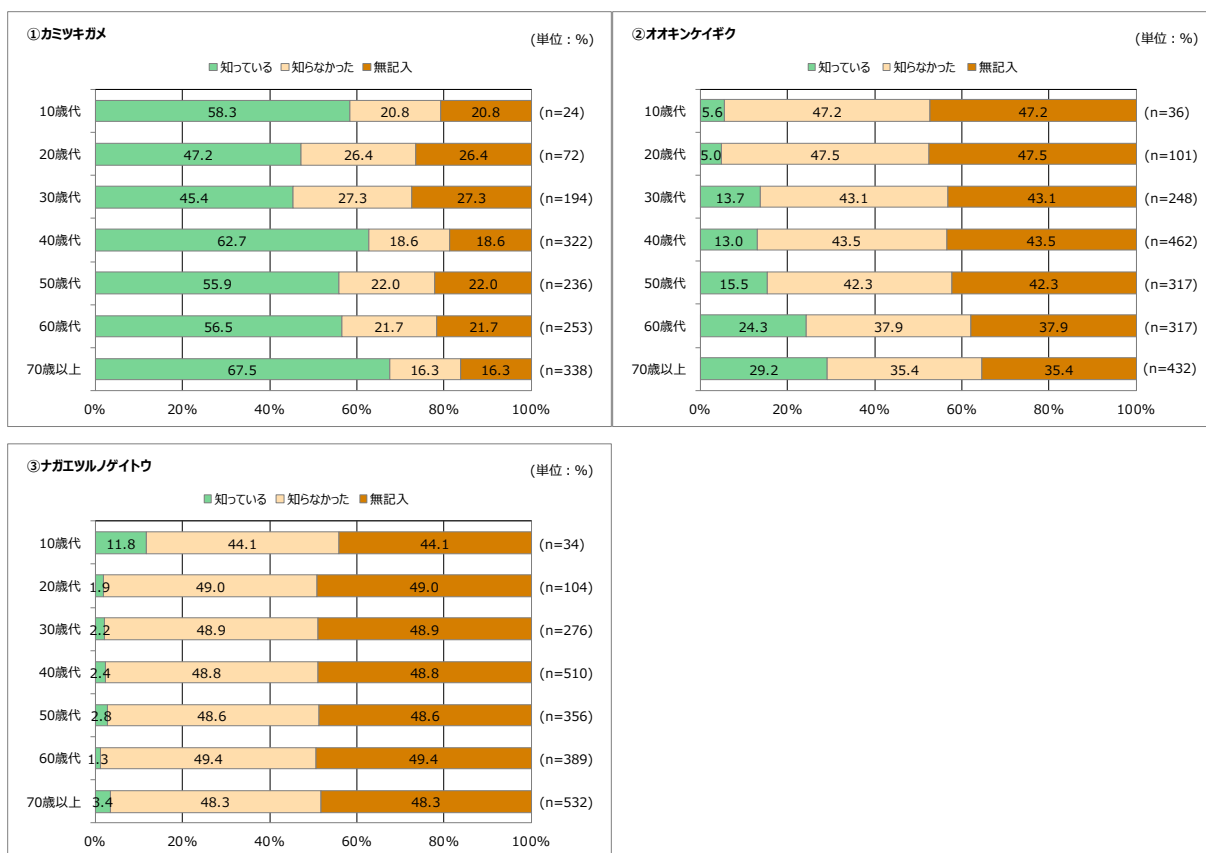
2) クロス集計 (性別)

- ・全ての項目で認知度は女性のほうが高い傾向にある。



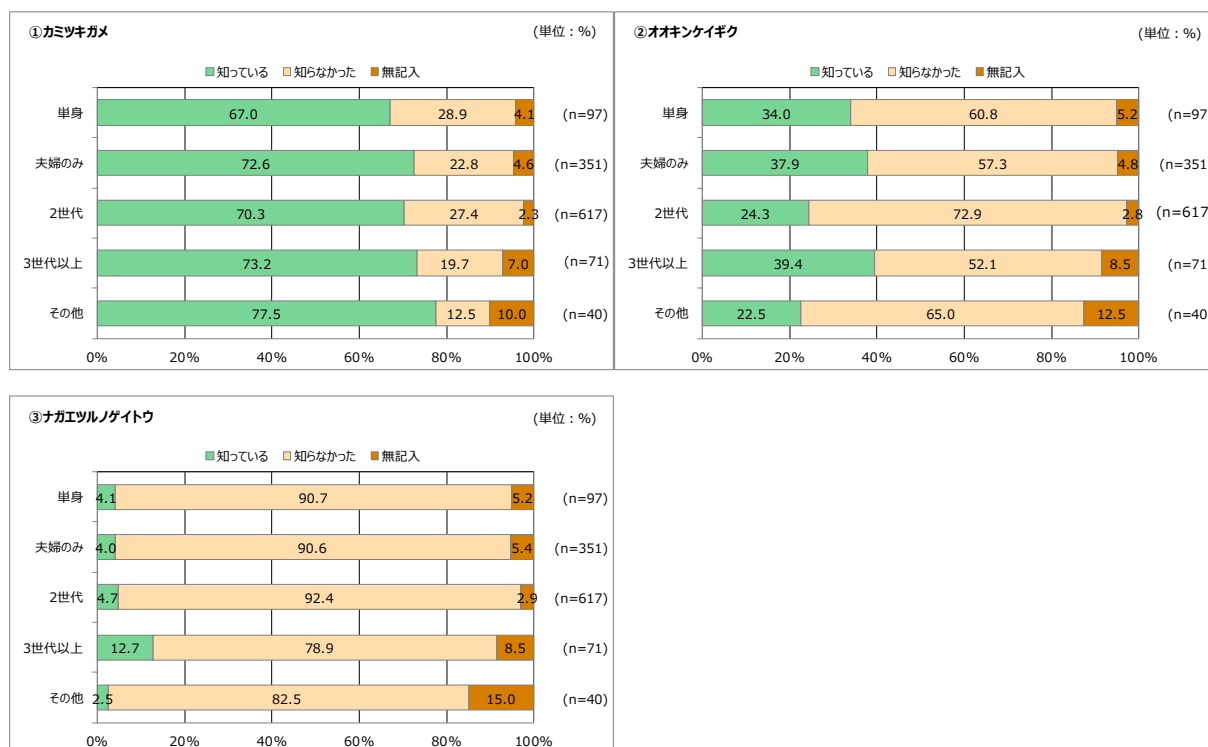
3) クロス集計（年齢）

- ・「①カミツキガメ」の認知度は20代、30代で低い傾向にある。
- ・「③オオキンケイギク」の認知度は年齢が上がるほど高くなる傾向にある。



4) クロス集計（家族構成）

- ・ 2 世代世帯の「②オオキンケイギク」の認知度は低い傾向にある。
- ・ 3 世代以上の世帯の「③ナガエツルノゲイトウ」の認知度は高い傾向にある。



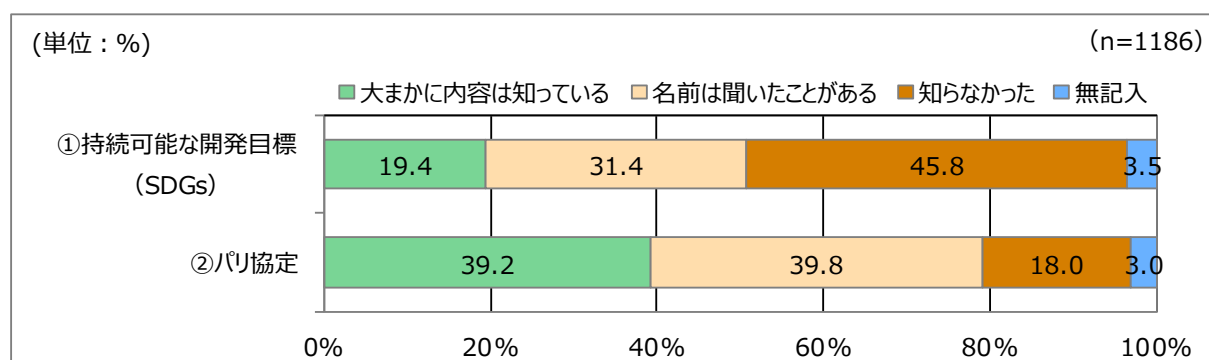
(3) Q17

あなたは国際的な環境に関する動向である「持続可能な開発目標（SDGs）」「パリ協定」についてご存じですか。次ページの該当する番号に○をつけて下さい。（各項目につき○はひとつ）

- ①大まかに内容は知っている
- ②名前は聞いたことがある
- ③知らない

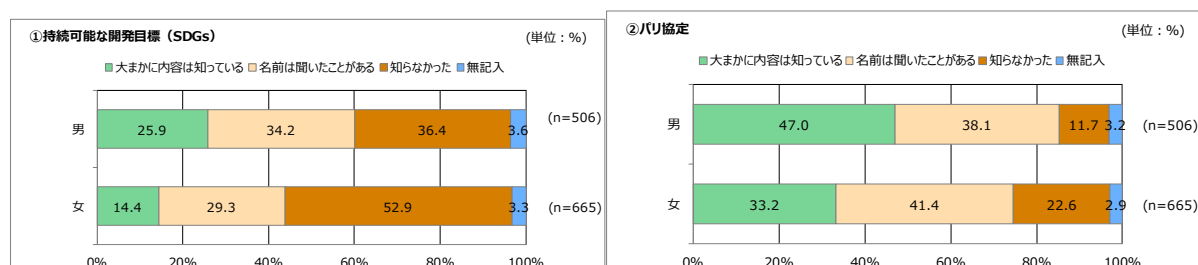
1) 全体

- ・認知度（大まかに内容は知っていると名前は聞いたことがあるの合計値）は「①持続可能な開発目標（SDGs）」が 50.8%、「②パリ協定」が 79.0%となっている。



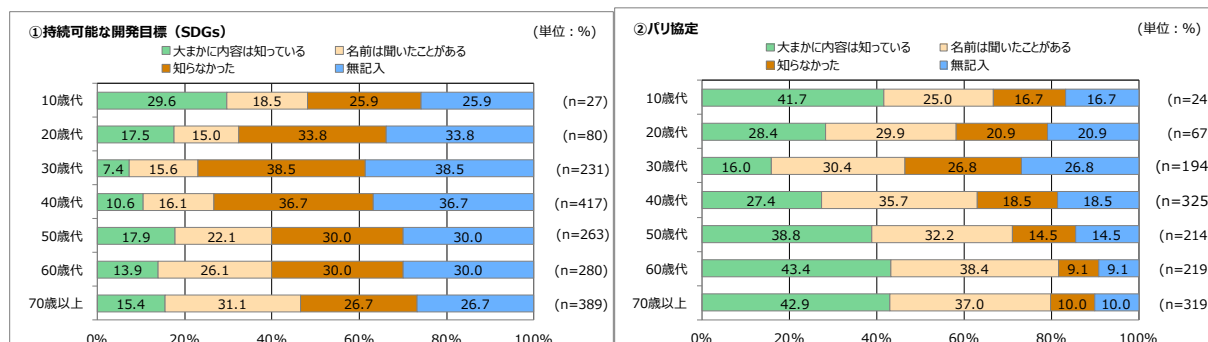
1) クロス集計（性別）

- ・「①持続可能な開発目標（SDGs）」、「②パリ協定」ともに男性の認知度が高い傾向にある。



2) クロス集計（年齢）

- ・「①持続可能な開発目標（SDGs）」は30代、40代の認知度が低い傾向にある。
- ・「②パリ協定」は30代の認知度が低い傾向にある。



8. 市に望む環境施策

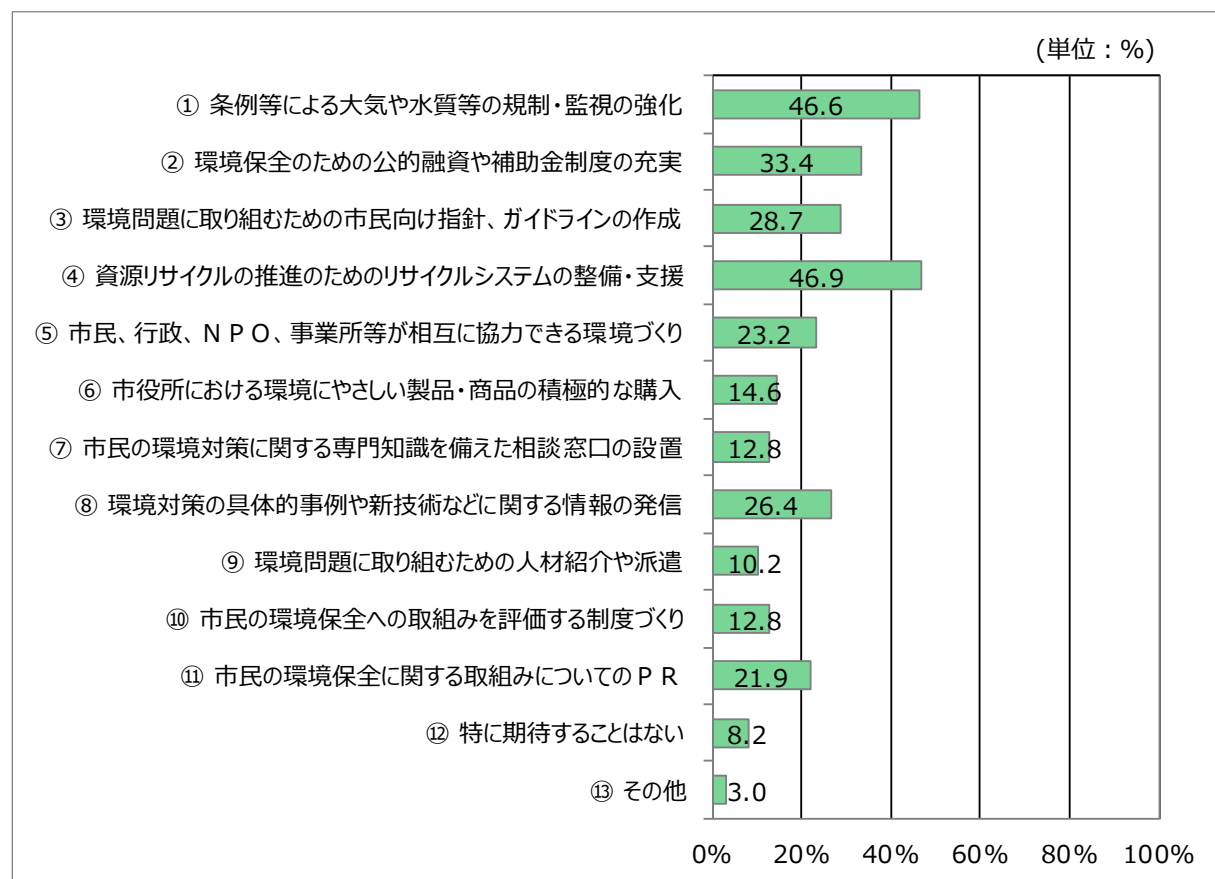
(1) Q18

あなたが環境配慮に関して市に望む環境施策は何ですか。
該当する番号に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

- ① 条例等による大気や水質等の規制・監視の強化
- ② 環境保全のための公的融資や補助金制度の充実
- ③ 環境問題に取り組むための市民向け指針、ガイドラインの作成
- ④ 資源リサイクルの推進のためのリサイクルシステムの整備・支援
- ⑤ 市民、行政、NPO、事業所等が相互に協力できる環境づくり
- ⑥ 市役所における環境にやさしい製品・商品の積極的な購入
- ⑦ 市民の環境対策に関する専門知識を備えた相談窓口の設置
- ⑧ 環境対策の具体的事例や新技術などに関する情報の発信
- ⑨ 環境問題に取り組むための人材紹介や派遣
- ⑩ 市民の環境保全への取組みを評価する制度づくり
- ⑪ 市民の環境保全に関する取組みについてのPR
- ⑫ 特に期待することはない
- ⑬ その他 ()

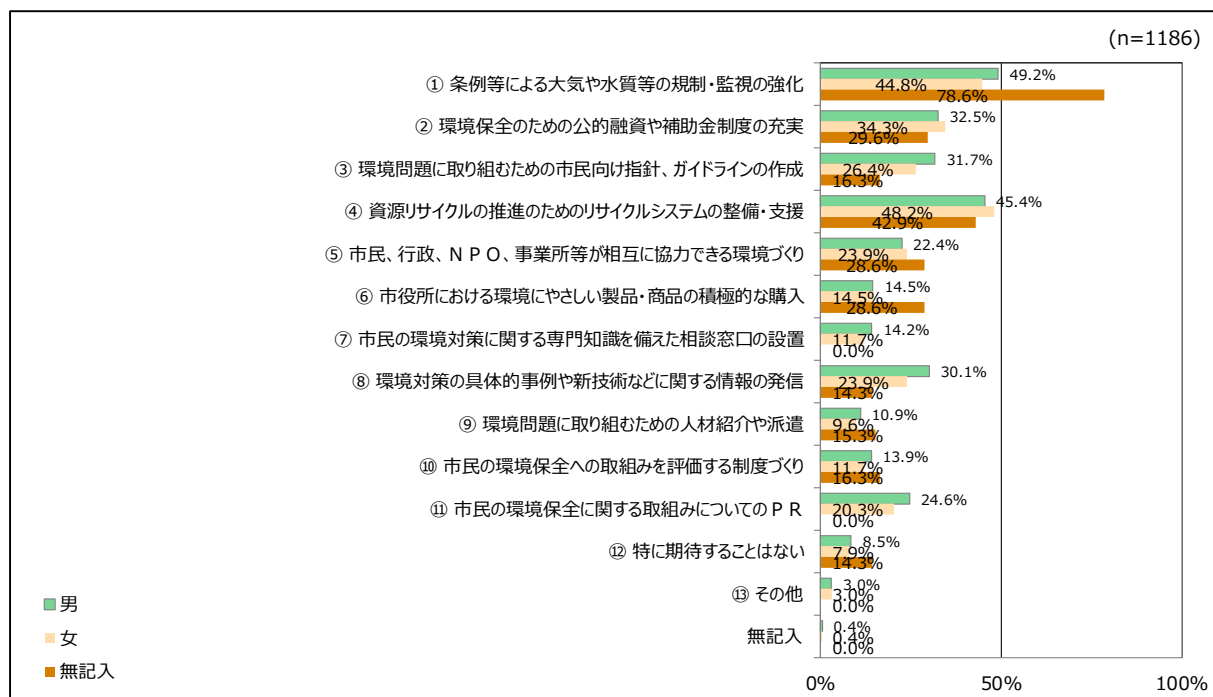
1) 全体

- ・「④資源リサイクルの推進のためのリサイクルシステムの整備・支援」が46.9%と最も高く、次いで「①条例等による大気や水質等の規制・監視の強化」が46.6%と高い。
- ・「⑨環境問題に取り組むための人材紹介や派遣」が10.2%と最も低い。



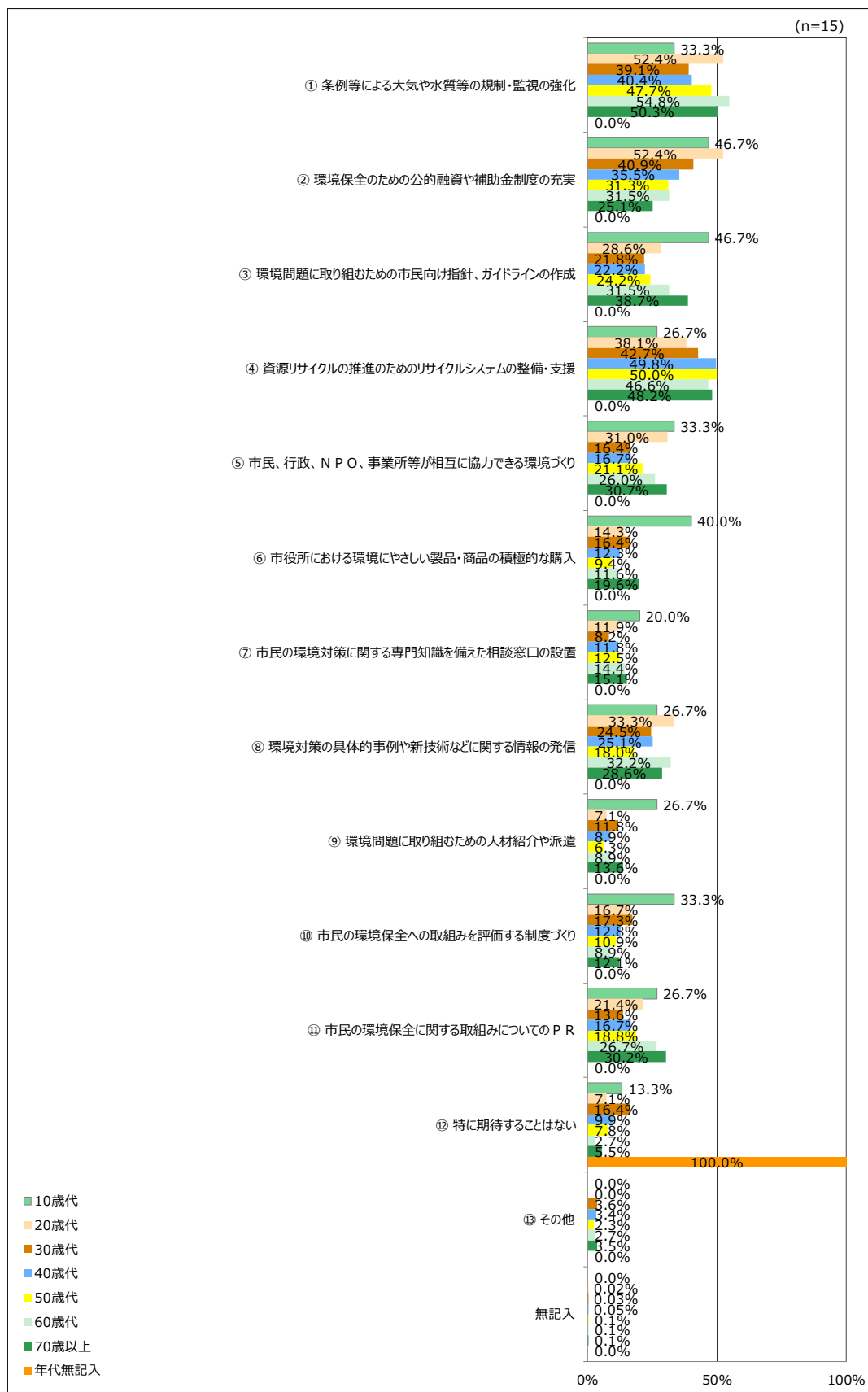
1) クロス集計（性別）

- ・「③環境問題に取り組むための市民向け指針、ガイドラインの作成」、「⑧環境対策の具体的事例や新技術などに関する情報の発信」は男性の回答率が高い傾向にある。



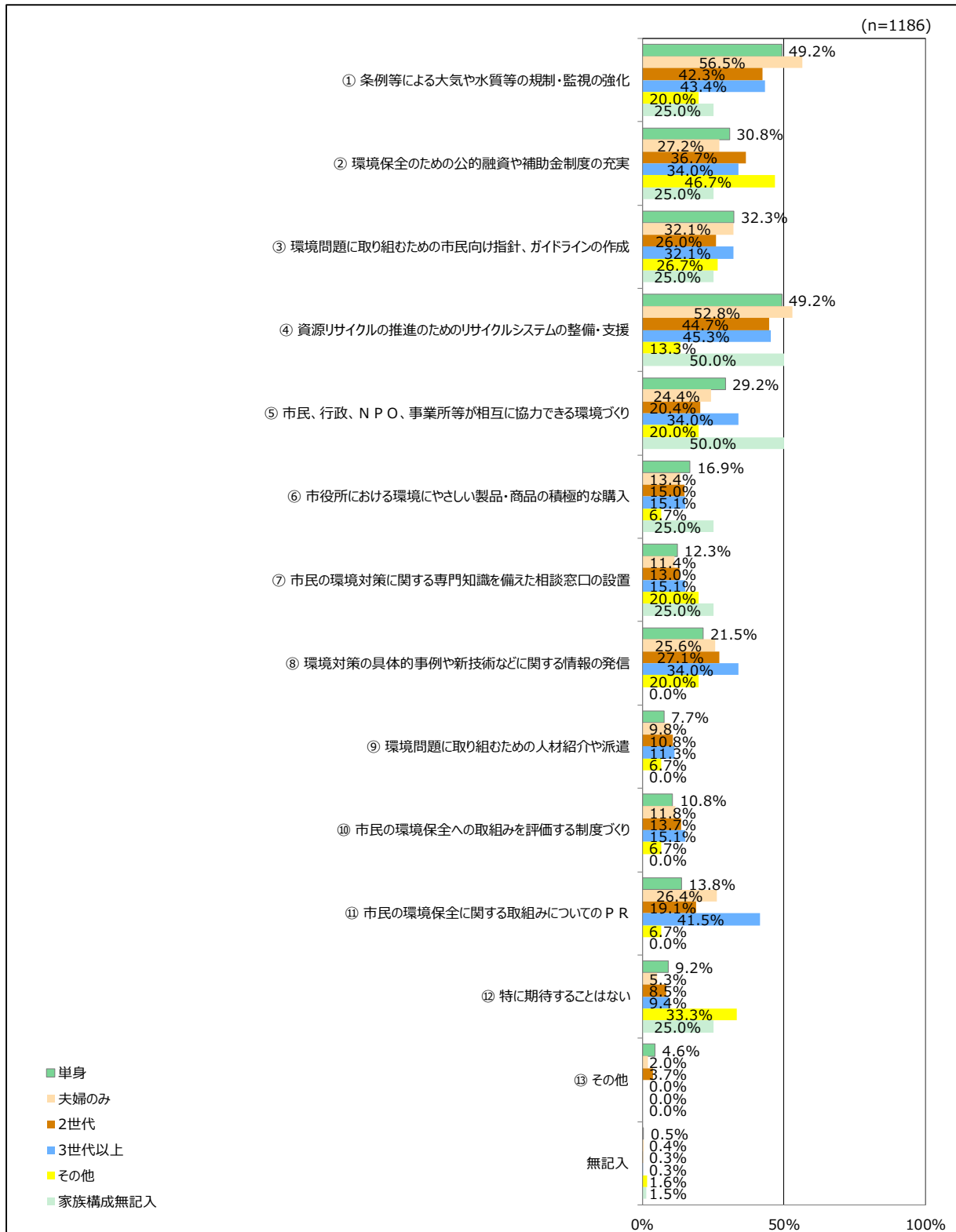
2) クロス集計（年齢）

- ・「①条例等による大気や水質等の規制・監視の強化」は30代、40代で低い傾向にある。
- ・「②環境保全のための公的融資や補助金制度の充実」は年齢が上がると低くなる傾向にある。



3) クロス集計（家族構成）

- ・3世代以上の世帯は「⑧環境対策の具体的事例や新技術などに関する情報の発信」や「⑪市民の環境保全に関する取組みについてのPR」が高い傾向にある。
- ・「⑤市民、行政、NPO、事業所等が相互に協力できる環境づくり」は単身、3世代以上の世帯で高い傾向にある。



9. 市の環境に関する意見

(1) Q19

白井市の環境について、お気づきのことやご意見などがありましたら、自由に記入して下さい。

- ・366名から計375件の自由意見があった。
- ・景観（ごみのポイ捨て）や鉄道・バス、道路（道路・歩道の整備）に関する意見が多くみられた。

中分類	件数
交通安全・防犯	11
鉄道・バス	49
大気汚染	21
騒音・振動	15
ごみ・リサイクル	20
悪臭・化学物質	7
街路樹・植栽管理	19
不法投棄	7
水辺・治水・生活排水	15
野生生物・ペット	18

中分類	件数
公園・緑地	22
道路・公共施設整備	29
環境保全活動	14
農地・農業	15
飲用水の安全	3
景観・街並み	30
情報発信	24
全般・その他	57
合計	375

◎交通安全・防犯（11件）

- ・街路灯がついていないことがしばしばある。LED化し電力消費と防犯を一度に改善してほしい。
- ・道路の整備や信号等の設置を充実させ、交通事故防止対策を強化してほしい。
- ・市内全体が暗い。大きな通りでも暗いが、住宅地内などでは真っ暗な場所もある。
- ・横断歩道の白線がはがれていて、ドライバーが気づかないことがある。

◎鉄道・バス（48件）

- ・北総線の運賃の高さに困っている。
- ・もっと市民と話し合い、公共交通機関の改善を。
- ・バスの本数が少ない。
- ・ナッシー号の路線が減って、移動が不便になった
- ・自動車がないと移動が不便。

◎大気汚染（21件）

- ・畑・梨園・住宅地での野焼きをなくしてほしい
- ・住宅地の薪ストーブの利用を規制してほしい
- ・工場による大気汚染が気になる
- ・トラックの通行が多く、空気が悪い

◎騒音・振動（14 件）

- ・工業団地近くの騒音が気になる。
- ・近所の楽器による騒音が気になる。
- ・下総基地があり、飛行機による騒音が気になる。
- ・バイクの騒音対策をしてほしい。特に夜間の騒音が気になる。

◎ごみ・リサイクル（20 件）

- ・有価物回収を積極的に行って欲しい。
- ・粗大ゴミの料金が値上げされて高くなった。
- ・ゴミ出しルールを守っていない人が多い。
- ・プラゴミを入れる袋を小さくしてほしい（小型版も販売してほしい）。大きさが種類しかなく大きすぎる。
- ・年末年始のゴミ収集の回数を増やしてほしい。
- ・夏場など可燃ゴミの収集を、週 3 日にして欲しい。
- ・クリーンセンターへのごみの持ち込み方法が非常に手間。直接持ち込みできるようにしてほしい。※「搬入許可証交付申込書」交付が平日しかできないため
- ・白井市内のスーパー、薬局、お店全体で簡易包装を心がけてほしい。

◎悪臭・化学物質（7 件）

- ・畑の肥料のにおいが気になる。
- ・時期や風向きによって養豚場から住宅地に悪臭が流れてくる。
- ・工業団地の産廃工場の悪臭がひどい。
- ・ゴミを燃やした臭いが洗濯物にしみこんでいることがある。

◎街路樹・植栽管理（19 件）

- ・白井駅前からの遊歩道の植栽をきれいに保ってほしい。
- ・植栽を見ていると、開花しない花が多くなってきている。
- ・街路樹について、現在では老朽化が進んでいるものも少なくない。
- ・風間街道の歩道の草がのびっぱなしなのが毎年気になる。（8～10 月くらい）
- ・道路沿いの除草をこまめにやってほしい。道幅が狭くなったり視界が悪くなったり危ない。
- ・街路樹に毛虫がたかっているのが気になる。

◎不法投棄（7 件）

- ・空地への不法投棄が目につく
- ・人通りの少ない道沿いに粗大ゴミが捨てられていることがある。

◎水辺・治水・生活排水（15 件）

- ・七次川調整池の水が汚いことがあるので、きれいにしてほしい。
- ・富士地区の浄化槽を廃止して、下水道にしてほしい。
- ・2019 年夏～秋の台風、大雨の時にあちこちの道路で排水が滞り、思いがけないところから水が

出ていた。

- ・十余一公園の池が汚れていると感じる。
- ・川の整備はコンクリート化以外も考えてほしい。

◎野生生物・ペット（18件）

- ・犬のふんが回収されず落ちているのが気になる。
- ・外来生物である「ナガミヒナゲシ」の生育が多く個人的に駆除活動を行っているが、すべての駆除は困難。注意喚起をしていただけると周知されていい。
- ・セイタカアワダチソウの駆除を積極的にしてほしい。
- ・作物を作っていない田畑も多く、イノシシやハクビシンが増えて困っている。
- ・夏場のムクドリの大量発生で桜並木が枯れないか心配。
- ・数年前より宅地化が進んだせいか、昆虫が少なくなっているのが気になる。

◎公園・緑地（22件）

- ・林などの緑地を維持してほしい。
- ・桜・梨の花は市外に周知をしてもいいと思う。
- ・ボール遊びや花火ができる公園がほしい。
- ・市民公園が放置されているので整備してほしい。
- ・公園の遊具が少ないと感じる。
- ・公園内にベンチを増やしてほしい。
- ・金山落周辺の緑地を保全してほしい。

◎道路・公共施設整備（29件）

- ・補修されていない道路を早く補修してほしい。
- ・以前と比べて道が整備されてきている。
- ・福祉センター前から市役所までの道路工事を早く終わらせてほしい。
- ・週末の渋滞を緩和してほしい。
- ・昔からある道路や駅から離れた道路は歩道が狭く、危ない。
- ・七次橋の小川添いの小道を散歩やジョギング又はサイクリングロードを整備してほしい。

◎環境保全活動（14件）

- ・千葉ニュータウン全体での広域環境保全に取り組むべき。
- ・子供達がまずは自分の学区の環境を保全しようという活動があるとよい。
- ・「ナゾトキウォーキング」や「環境フォーラム」の体験活動など、子どもにまずは興味を持たせるという活動は功を奏していると思うので、今後も継続してほしい。

◎農地・農業（15件）

- ・梨畑が減ってきて寂しい。
- ・使われなくなった畑等の荒れ地が目立つ。
- ・ナガエツルノゲイトウの田んぼの被害が大きいのので、対処をお願いしたい。
- ・特に市街化調整区域にある農地が荒れてきているように感じる。

◎飲用水の安全（3件）

- ・水道水が美味しくない。
- ・水道水の放射性物質測定は今後も続けてほしい。

◎景観・街並み（30件）

- ・駅・道路・田畑・公園へのポイ捨てにより景観が損なわれている。
- ・電線等の地下埋設をすればよいと思う。
- ・最近の宅地開発により景観が悪くなったと感じる。
- ・白井駅南口駅前広場の整備。
- ・タバコのポイ捨てが多い。
- ・ポイ捨てをなくすために、ごみゼロ運動を白井市全体で取り組んでほしい。

◎情報発信（24件）

- ・市の環境への取組みを市民に向けて積極的に周知してほしい。
- ・環境課の Facebook をいつも拝見しているので、これからも頑張してほしい。
- ・地元の人しか知らない自然と触れ合える場所などあったら、広報誌などで紹介してはどうか。
- ・ISO14001 に基づく評価結果等を定量的に環境白書に明記してもらいたい。
- ・広報しろいに環境についてのコーナーを毎回設けてはどうか。

◎全般・その他（57件）

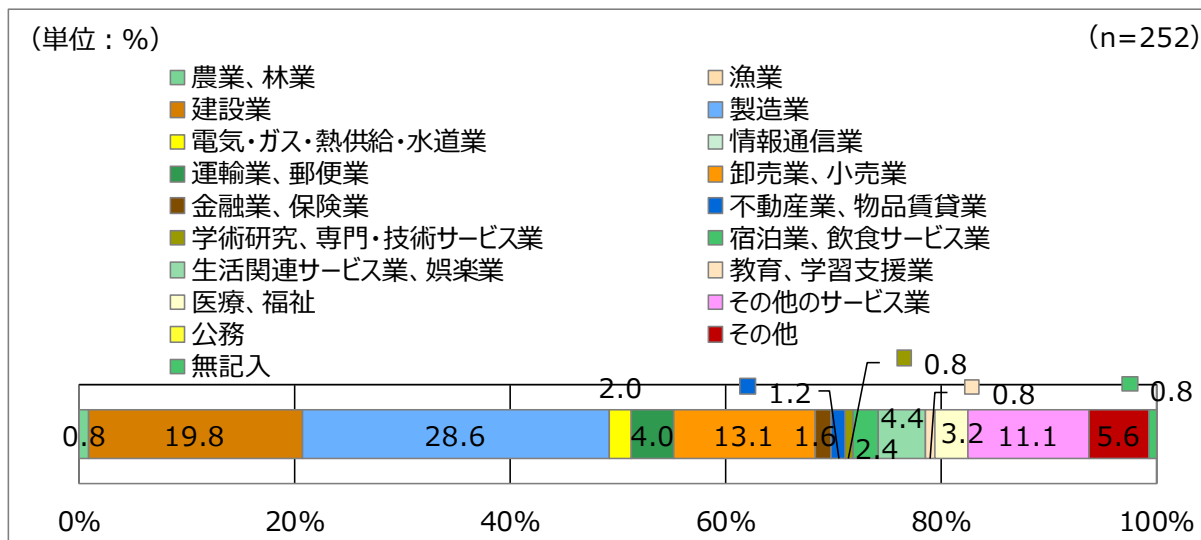
- ・自然との調整がとれていて住みやすい市であると思う。
- ・緑の豊かな白井を維持してほしい。
- ・都内等と比べて自然が多いと感じる。
- ・環境だけでなく、災害対応も急務であると感じる。
- ・限りある税金なので、環境と他の施策のバランスをとってほしい。
- ・エネファーム等の機器更新時の補助金がほしい。

2.2 事業者

1. 回答者の属性

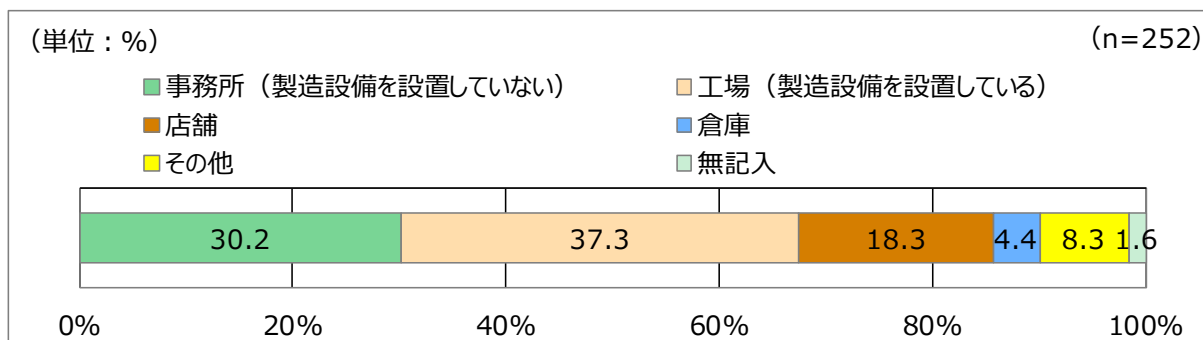
(1) Q1 業種

・製造業が28.6%と最も多く、次いで建設業が19.8%と多い。



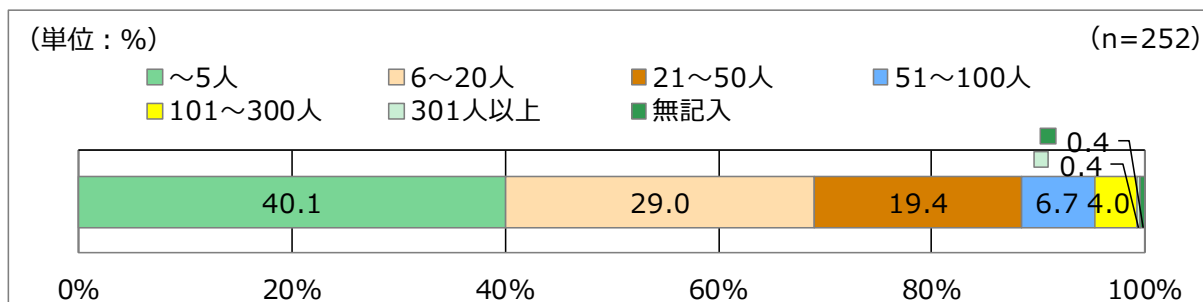
(2) Q2 事業所の種類

・工場（製造設備を設置している）が37.3%と最も多く、次いで事務所（製造設備を設置していない）が30.2%と多い。



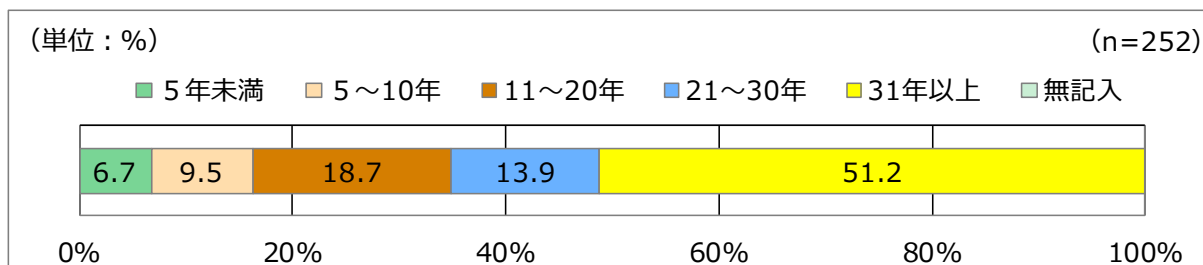
(3) Q3 従業員数

・ 5 人以下が 40.1%と最も多く、ついで 6～20 人が 29.0%と多い。



(4) Q4 事業活動年数

・ 31 年以上が 51.2%と最も多く、次いで 11～20 年が多い。



2. 環境の保全に関わる行動の実践状況について

(1) Q5

貴事業所内で行っている環境の保全に関わる行動の取組状況について、該当する番号に○をつけて下さい。(各項目につき○はひとつ)

<生活環境>

- ① 事業活動に伴い発生する排煙、排水、廃液、騒音、振動、地盤沈下、悪臭、化学物質等に関し、公害防止に係る法律や条例を遵守している
- ② 公害防止のため、法律や条例を上回る自主規制基準を設け、運用している
- ③ 事業所内及び周辺の清掃に努めている
- ④ 建築物は周辺の景観との調和を考慮している

<地球温暖化対策>

- ⑤ 事務機器、空調機器、照明等の節電に努めている
- ⑥ クールビズ・ウォームビズを励行している
- ⑦ 自動車のアイドリング・ストップや省エネ運転に努めている
- ⑧ 公共交通機関や自転車、徒歩での通勤・移動を励行している
- ⑨ 輸送・配送の合理化に取り組んでいる
- ⑩ 事業所の温室効果ガス排出量やエネルギー消費量を把握している
- ⑪ 省エネ診断やESCO 事業※を活用し、設備や運用改善を図っている
- ⑫ カーボン・オフセットを利用している
- ⑬ 気候の変化に伴う浸水や熱中症の発生のリスクに備えて対策を行っている

<ごみの減量・資源化>

- ⑭ 廃棄物の発生抑制・再使用・リサイクルに努めている
- ⑮ 再生紙やリサイクル品を積極的に購入している
- ⑯ 製品の容器・包装の簡略化に努めている
- ⑰ 食品ロスの削減に努めている

<自然環境>

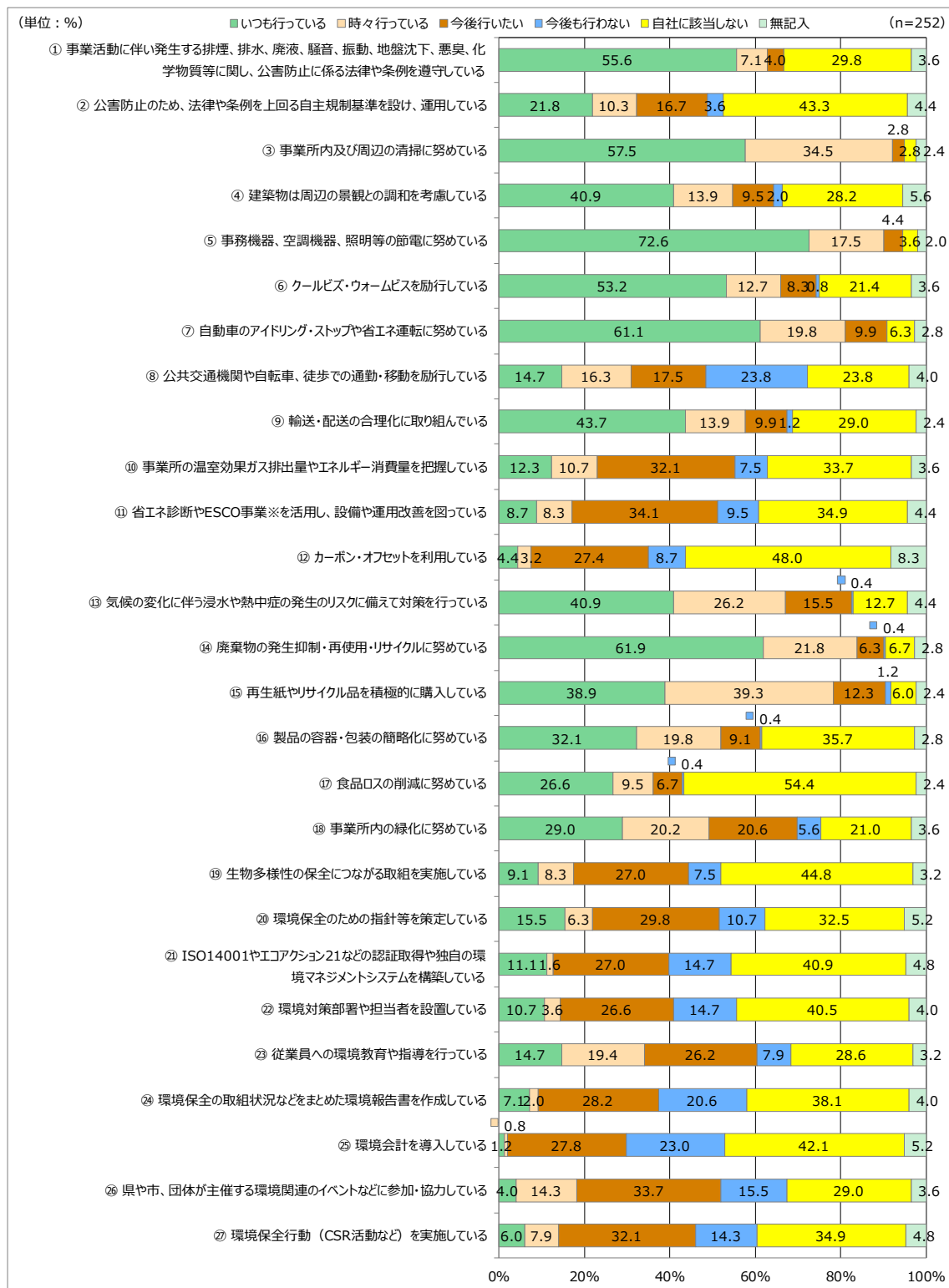
- ⑱ 事業所内の緑化に努めている
- ⑲ 生物多様性の保全につながる取組を実施している

<環境保全行動>

- ⑳ 環境保全のための指針等を策定している
- ㉑ ISO14001 やエコアクション 21 などの認証取得や独自の環境マネジメントシステムを構築している
- ㉒ 環境対策部署や担当者を設置している
- ㉓ 従業員への環境教育や指導を行っている
- ㉔ 環境保全の取組状況などをまとめた環境報告書を作成している
- ㉕ 環境会計※を導入している
- ㉖ 県や市、団体が主催する環境関連のイベントなどに参加・協力している
- ㉗ 環境保全行動（CSR 活動など）を実施している

1) 全体

- ・「③事業所及び周辺の清掃に努めている」の実施率（いつも行っていると時々行っているの合計値）が92.0%と最も高く、次いで「⑤事務機器、空調機器、照明等の節電に努めている」が90.1%と高い。
- ・「②⑤環境会計を導入している」の実施率は2.0%と最も低く、次いで「②④環境保全の取組状況などをまとめた環境報告書を作成している」が19.0%と低い。



3. 省エネルギー・再生可能エネルギー設備などの利用状況

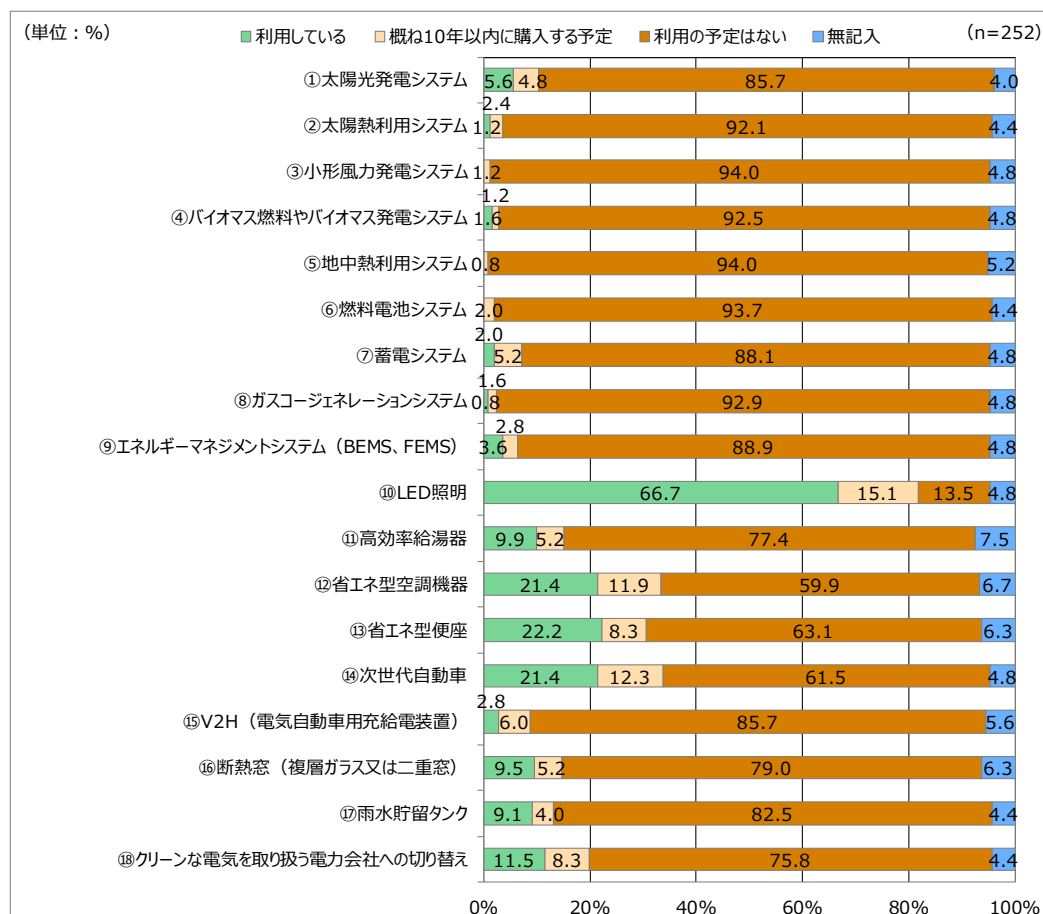
(1) Q6

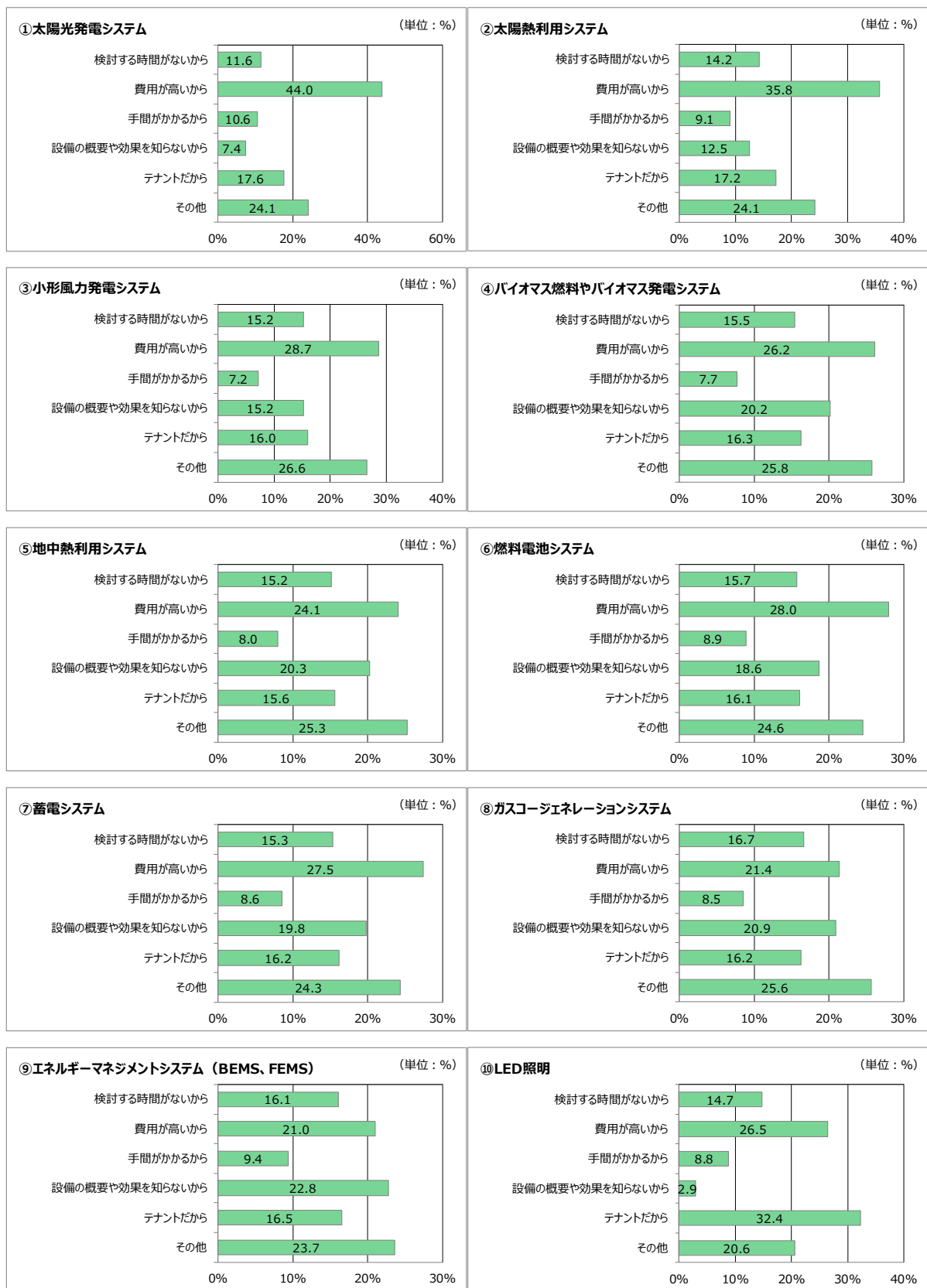
貴事業所では省エネルギーや再生可能エネルギー機器などを利用していますか。
もしくは今後利用する予定はありますか。該当する番号または記号に○をつけて下さい。
(利用状況の○はひとつ、“利用の予定はない” 場合の理由の○はいくつでも)

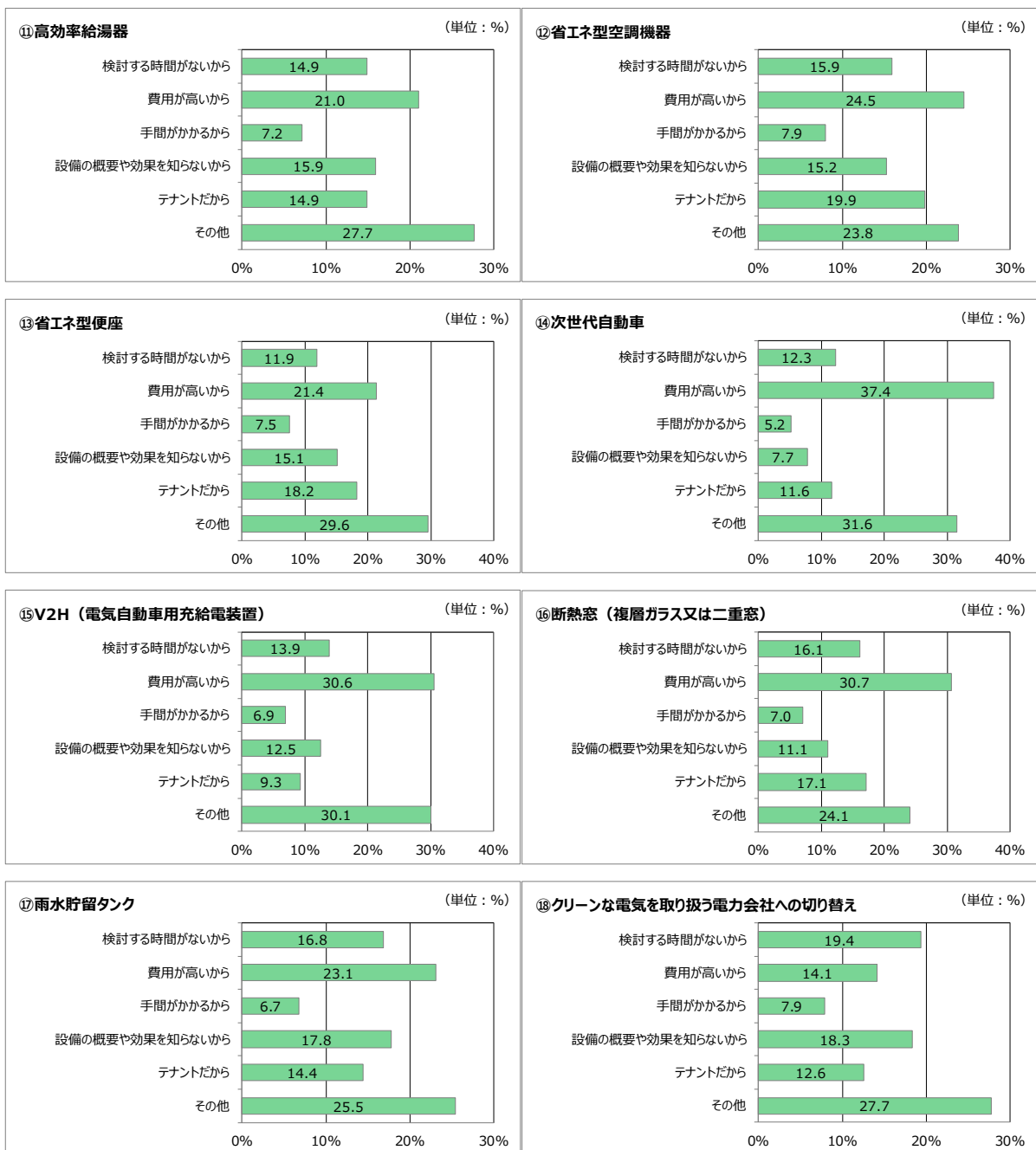
回答欄 1 利用状況(○はひとつ)	回答欄 2 “利用の予定はない”場合の理由 (○はいくつでも)
1. 利用している 2. 概ね 10 年以内に購入する予定 (台数記入欄がある項目は購入予定台数も回答) 3. 利用の予定はない	A. 検討する時間がないから B. 費用が高いから C. 手間がかかるから D. 設備の概要や効果を知らないから E. テナントだから F. その他

1) 全体

- ・「⑩LED 照明」は 66.7%、「⑬省エネ型便座」が 22.2%、「⑫省エネ型空調機器」および「⑭次世代自動車」の導入が 21.4%と高くなっている。その他の機器については、77%～94%の回答者が利用の予定はないとしている。
- ・利用の予定がない理由としては、全体的に「費用が高いから」、「テナントだから」の割合が高い。ガスコージェネレーションシステムやエネルギーマネジメントシステムについては、「設備の概要や効果を知らないから」の回答も多い。







4. 市の環境に対する貴事業所の満足度及び重要度

(1) Q7

市の環境についてどのように感じていますか。貴事業所の感想に最も近い番号に○をつけて下さい。(各項目につき○はひとつ)
満足度
1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(2) Q8

前問 Q7 の項目 1～19 のうち、貴事業所が特に重要と考える項目を上位 3 つ選び、下欄に番号を記入して下さい。	
重要度	
1 位	
2 位	
3 位	

1) 全体

・満足度が高い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)

- 1 樹林地や緑地との親しみやすさ (32.31)
- 2 田園風景の美しさ (31.94)
- 3 農業や園芸との親しみやすさ (31.63)
- 4 大気環境改善 空気のきれいさ(大気汚染や悪臭の少なさ) (31.94)
- 5 生きもの(野鳥、動植物、昆虫等)との親しみやすさ (31.35)

・満足度が低い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)

- 1 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ (22.06)
- 2 建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及 (26.75)
- 3 市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ (27.06)
- 4 市民・事業者における省エネ行動の定着 (27.14)
- 5 公園や遊歩道の多さ (27.86)

・重要度が高い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)

- 1 交通事故や洪水災害に対して安心できるまち (9.56)
- 2 大気環境改善 空気のきれいさ(大気汚染や悪臭の少なさ) (7.18)
- 3 自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ (6.91)
- 4 市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展 (4.44)
- 5 事業所の周辺の静けさ(騒音や振動の少なさ) (3.57)

・重要度が低い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)

- 1 河川・湧水等の水辺との親しみやすさ (0.44)
- 2 歴史的・文化的雰囲気 (0.56)
- 3 農業や園芸との親しみやすさ (0.64)
- 4 田園風景の美しさ (0.64)
- 5 生きもの(野鳥、動植物、昆虫等)との親しみやすさ (0.68)

・「樹林地や緑地との親しみやすさ」、「農業や園芸との親しみやすさ」などの農業や自然環境に関する項目の満足度が高い。重要度の高い項目は幅広い分野にわたっており、「交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」が最も重要度が高い。

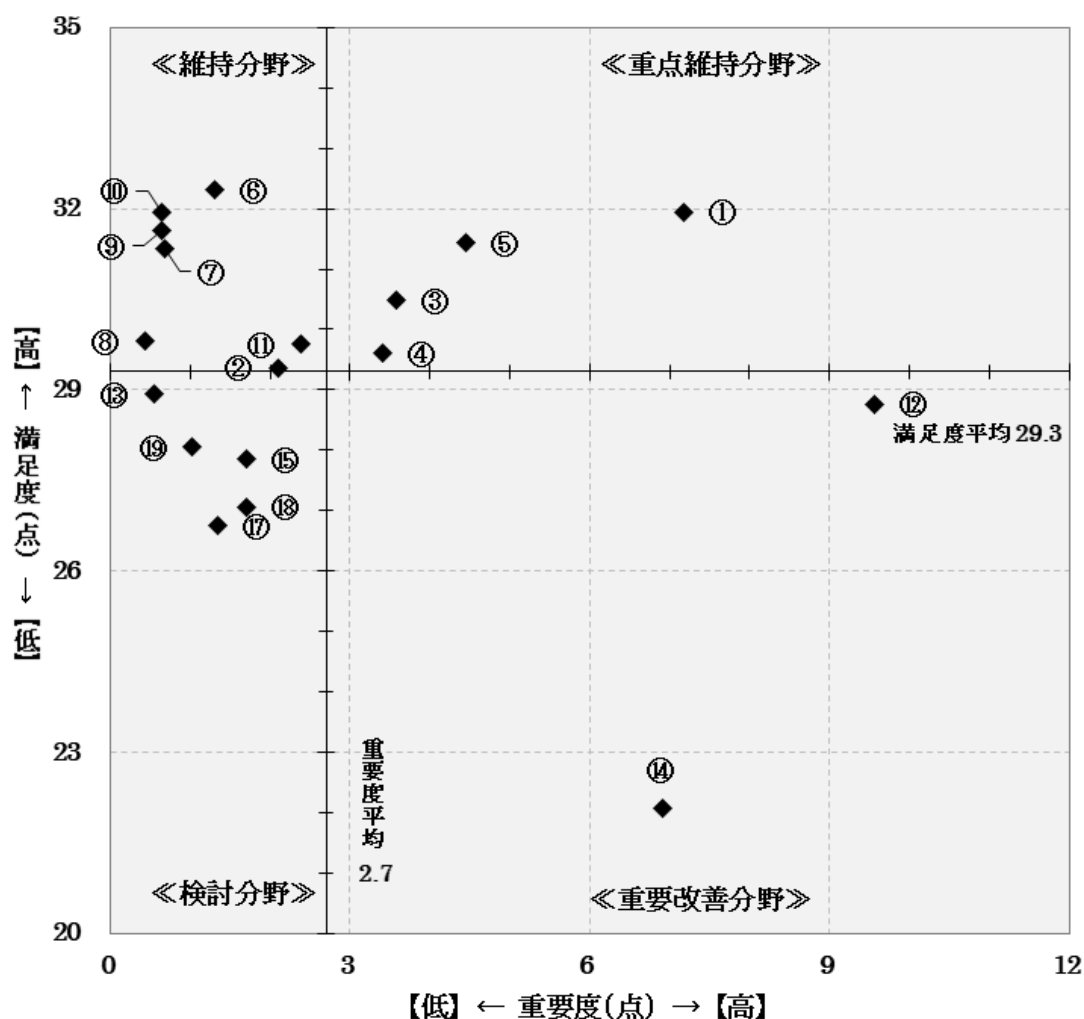
・「自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」の満足度が最も低く、「建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及」や「市民・事業者における省エネ行動の定着」の満足度も低い。「河川・湧水等の水辺との親しみやすさ」、「農業や園芸との親しみやすさ」、「田園風景の美しさ」、「生きもの(野鳥、動植物、昆虫等)との親しみやすさ」などの農業や生きものに関する項目の重要度は低い。

・「空気のきれいさ」、「事業所周辺の静けさや清潔さ」、「市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展」が重点維持分野である。

・「交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」、「自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ」が重点改善分野である。

※ 満足度・重要度の点数化方法は 41 ページの「散布図の見方」を参照

■ 満足度、重要度の散布（全体）

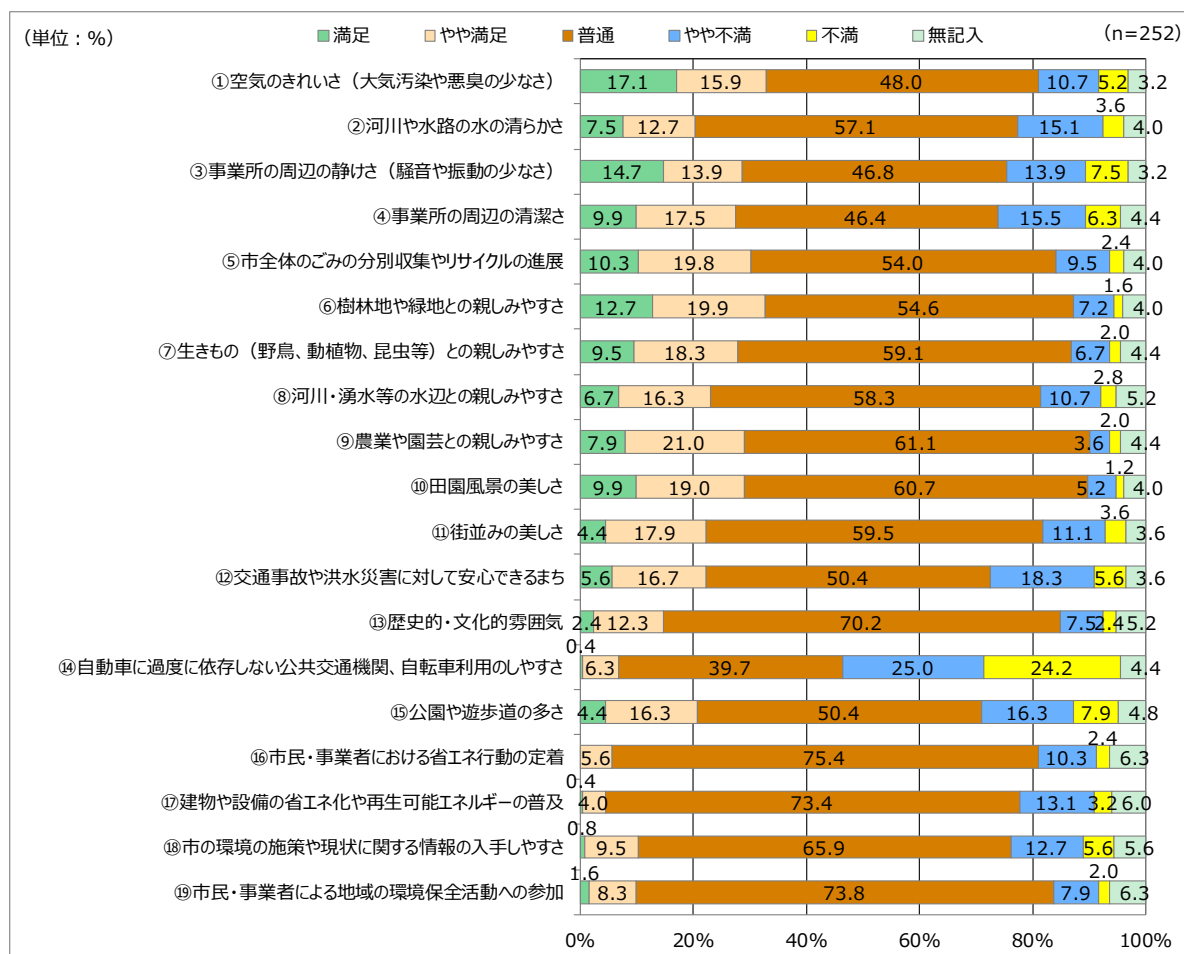


〈散布図〉

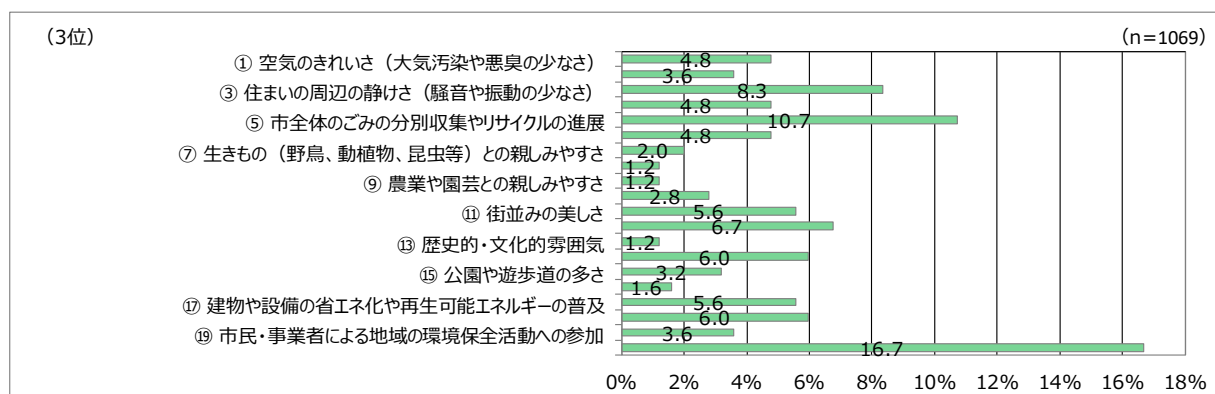
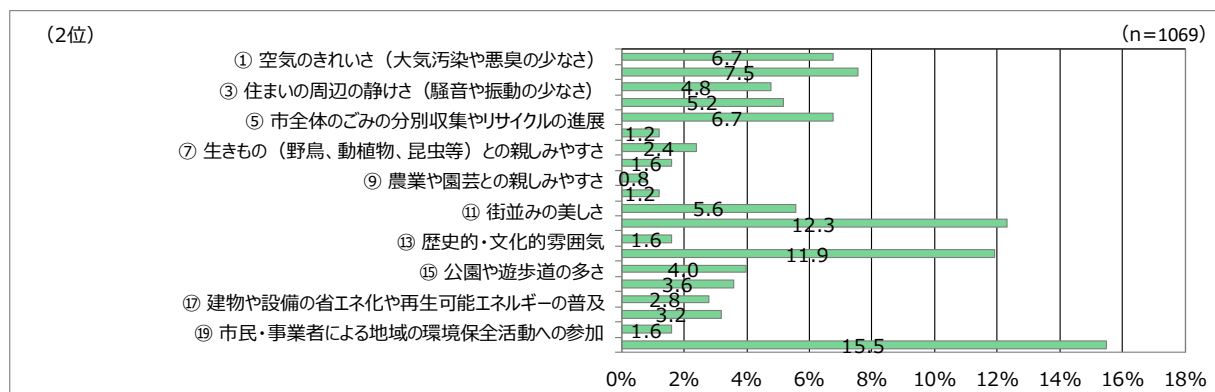
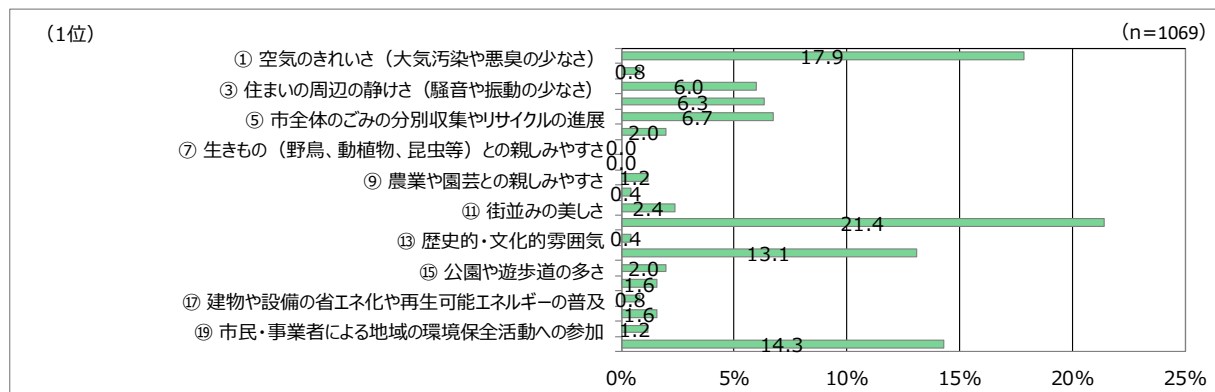
◆ 満足度と重要度の点数化（回答者の平均値）

No.	項目	満足度	重要度
①	大気環境改善 空気のきれいさ（大気汚染や悪臭の少なさ）	31.94	7.18
②	河川や水路の水の清らかさ	29.37	2.10
③	事業所の周辺の静けさ（騒音や振動の少なさ）	30.48	3.57
④	事業所の周辺の清潔さ	29.60	3.41
⑤	市全体のごみの分別収集やリサイクルの進展	31.43	4.44
⑥	樹林地や緑地との親しみやすさ	32.31	1.31
⑦	生きもの（野鳥、動植物、昆虫等）との親しみやすさ	31.35	0.68
⑧	河川・湧水等の水辺との親しみやすさ	29.80	0.44
⑨	農業や園芸との親しみやすさ	31.63	0.64
⑩	田園風景の美しさ	31.94	0.64
⑪	街並みの美しさ	29.76	2.38
⑫	交通事故や洪水災害に対して安心できるまち	28.77	9.56
⑬	歴史的・文化的雰囲気	28.93	0.56
⑭	自動車に過度に依存しない公共交通機関、自転車利用のしやすさ	22.06	6.91
⑮	公園や遊歩道の多さ	27.86	1.71
⑯	市民・事業者における省エネ行動の定着	27.14	1.35
⑰	建物や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの普及	26.75	1.35
⑱	市の環境の施策や現状に関する情報の入手しやすさ	27.06	1.71
⑲	市民・事業者による地域の環境保全活動への参加	28.06	1.03
平均		29.28	2.68

①-1 満足度



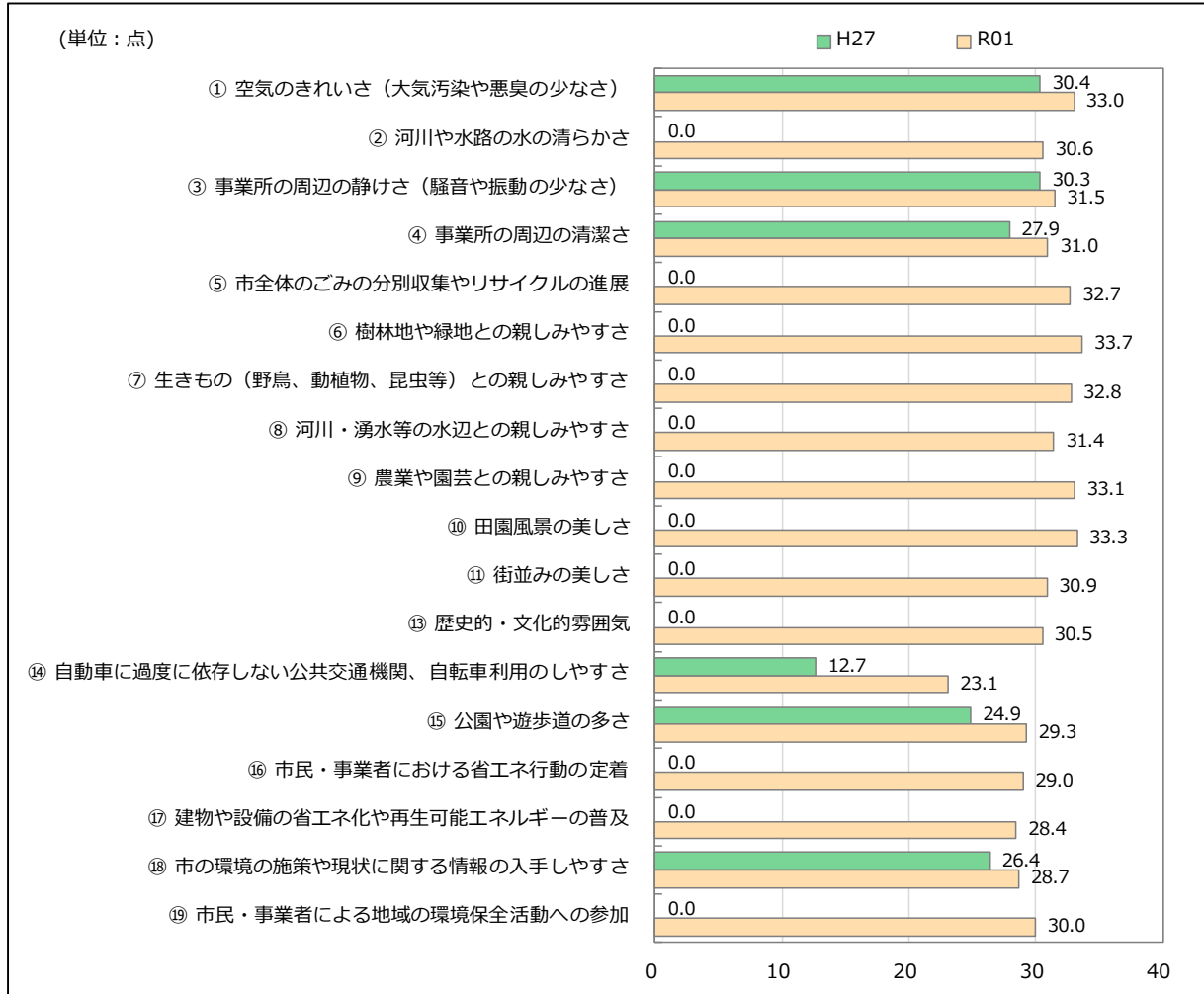
①-2 重要度



2) 経年変化

①-1 満足度

・H27の結果と比較すると、満足度は全体的に増加傾向であり、「⑭公共交通機関や自転車、徒歩で移動するように心がけている」の満足度が10.4点と最も増加している。

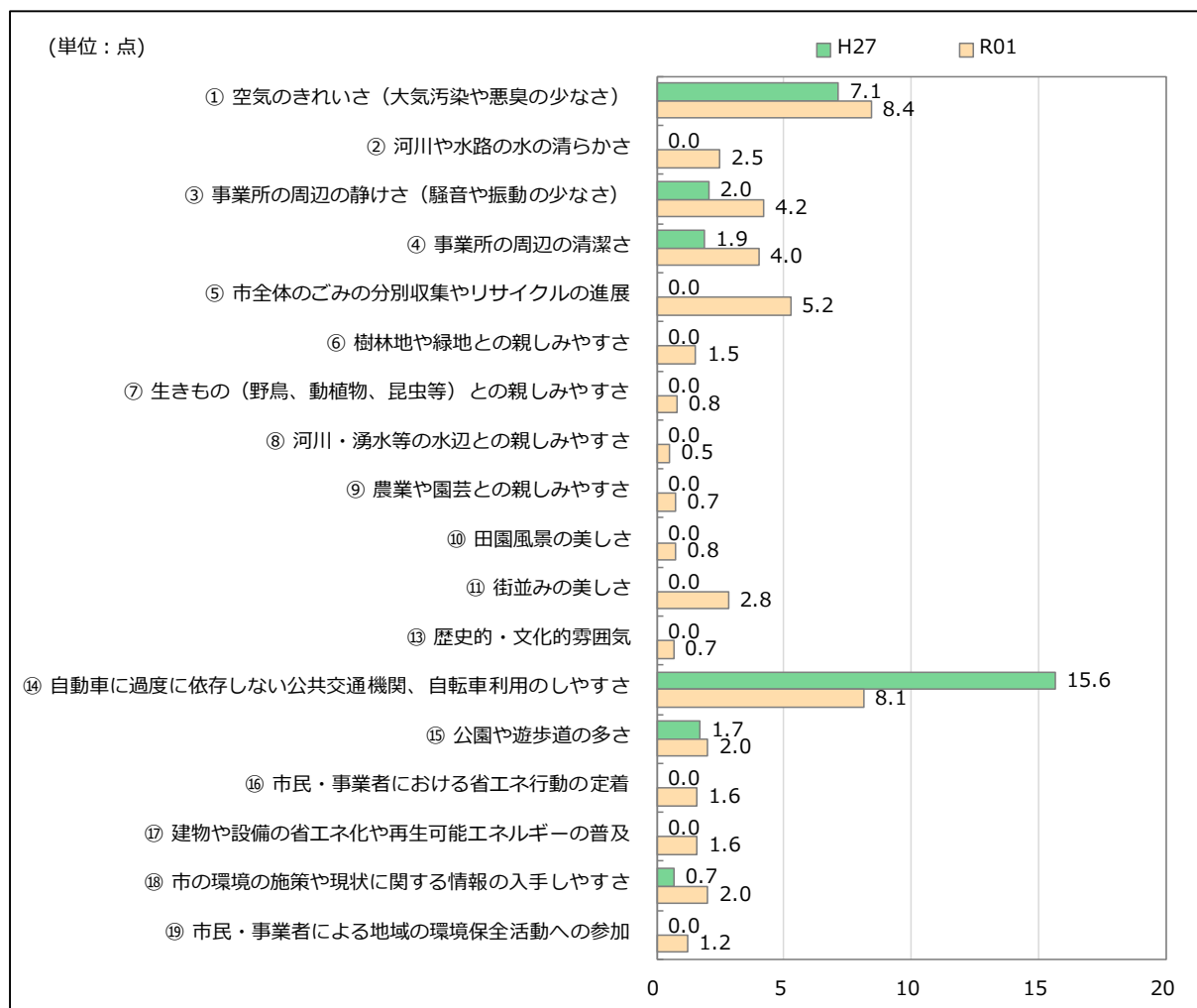


※点数は、「満足」50点、「やや満足」40点、「普通」30点、「やや不満」20点、「不満」10点としてそれぞれの回答者数を掛け合わせ、その合計点を項目ごとの全回答者数で割った「加重平均点」によって算出

※点数が0の項目は過去のアンケートで未実施

①-2 重要度

- ・H27の結果と比較すると、「⑫交通事故や洪水災害に対して安心できるまち」の重要が4.4点と最も増加している。
- ・H27の結果と比較すると、「⑭公共交通機関や自転車、徒歩で移動するように心がけている」の重要度が7.5点と最も減少している。



※点数は、「1位」30点、「2位」20点、「3位」10点としてそれぞれの回答者数を掛け合わせ、その合計点を全回答者数で割り「加重平均点」を算出している

※点数が0の項目は過去のアンケートで未実施

5. 環境問題に対する考えについて

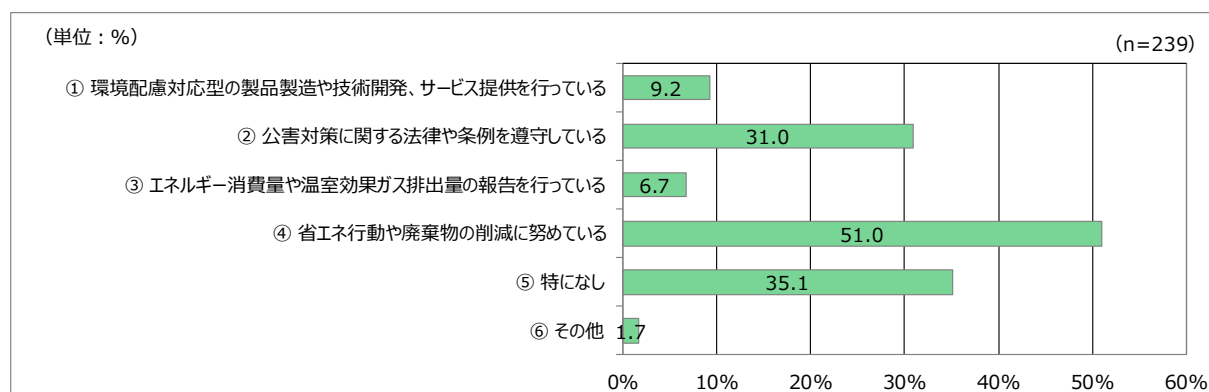
(1) Q9

貴事業所と環境問題の関わりについて当てはまるものは何ですか。
該当する番号に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

- ① 環境配慮対応型の製品製造や技術開発、サービス提供を行っている
- ② 公害対策に関する法律や条例を遵守している
- ③ エネルギー消費量や温室効果ガス排出量の報告を行っている
- ④ 省エネ行動や廃棄物の削減に努めている
- ⑤ 特になし
- ⑥ その他 ()

1) 全体

- ・「④省エネ行動や廃棄物の削減に努めている」が51.0%で最も高くなっている。
- ・「③エネルギー消費量や温室効果ガスの排出量の報告を行っている」は6.7%と最も低い。



(2) Q10

環境問題に対する貴事業所の考え方として当てはまるものは何ですか。
該当する番号に○をつけて下さい。(○はひとつ)

- ① 環境への配慮は企業の社会的責任として他社に関係なく最大限実施していく予定である
- ② 周辺他社の動向をみながら同等の取組を実施していく予定である
- ③ 法律や条例の範囲内で実施していく予定である
- ④ ビジネスチャンスとして捉えて取り組んでいく予定である
- ⑤ 特に実施する予定はない
- ⑥ その他 ()

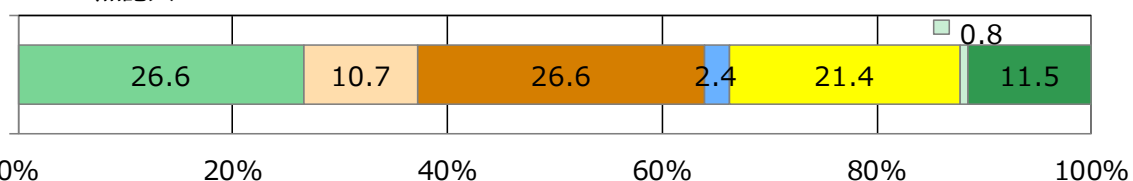
1) 全体

- ・「①環境への配慮は企業の社会的責任として他社に関係なく最大限実施していく予定である」と「③法律や条例の範囲内で実施していく予定である」が 26.6%と最も高くなっている。
- ・「④ビジネスチャンスとして捉えて取り組んでいく予定である」は 2.4%と最も低い。

(単位：%)

(n=252)

- ① 環境への配慮は企業の社会的責任として他社に関係なく最大限実施していく予定である
- ② 周辺他社の動向をみながら同等の取組を実施していく予定である
- ③ 法律や条例の範囲内で実施していく予定である
- ④ ビジネスチャンスとして捉えて取り組んでいく予定である
- ⑤ 特に実施する予定はない
- ⑥ その他
- 無記入



6. 事業所独自の環境保全の取組について

(1) Q11

ここまでの質問回答以外で貴事業所が環境保全に関して独自に取り組んでいることがありましたら記入して下さい。

- ・独自取組として、堆肥や肥料の高品質化やバイオマス発電の原料を公共剪定枝等にする取組がある。

回答

- ・農業生産法人として、堆肥や肥料を販売している。農作物の病気や害虫に強い作物が作られるよう、技術的にも堆肥や肥料のより高品質化を図るなどし、農薬散布回数が必然的に減らせる努力をしている
- ・職業上、法律的な事は当然であり、環境問題というよりは第三者の利用客がより安全に利用できる環境づくりに重点を置いております。土木工事につきましては近年では工具等の文明利器により、自然と環境への配慮も意識するようになりました。
- ・当社事業所に設置しているバイオマス発電施設で地域から発生する公共剪定枝や果樹剪定枝を発電原料として利活用しています。
- ・工業団地の一斉清掃など参加している。
- ・他県に太陽光発電システムを所有している。また、事業内容の関係もあり、環境保全について積極的に関わっていく。
- ・NPO法人としての活動で、地域の清掃活動（ごみ拾い）を月に2回実施し、環境衛生、保全に取り組んでいる。
- ・当社は廃棄物を全く出さないリサイクル業の模範と自負致しております。今後も環境に優しい事業内容を目指します。
- ・自分のところみたいな小規模なお店で出来ることは少ないのですが、個人的に環境保存に対しての関心は高いので目の前にある小さな事はやっております。金銭的に無理なものも多くもう少し一般的に行動しやすくなったとは思っています。
- ・事業所として取り組むことはないが、個人事業なので、個人としては環境保全は国民の義務だと考えています。これから徐々により環境保全に個人として取り組んでいきます。現場を移動して回るので、現場内の環境保全ごみの分別ほこりの吸引などを徹底して行います。
- ・防虫防鼠対策（年2回）、一般廃棄物処理、産業廃棄物廃油処理

7. 市に望む環境施策

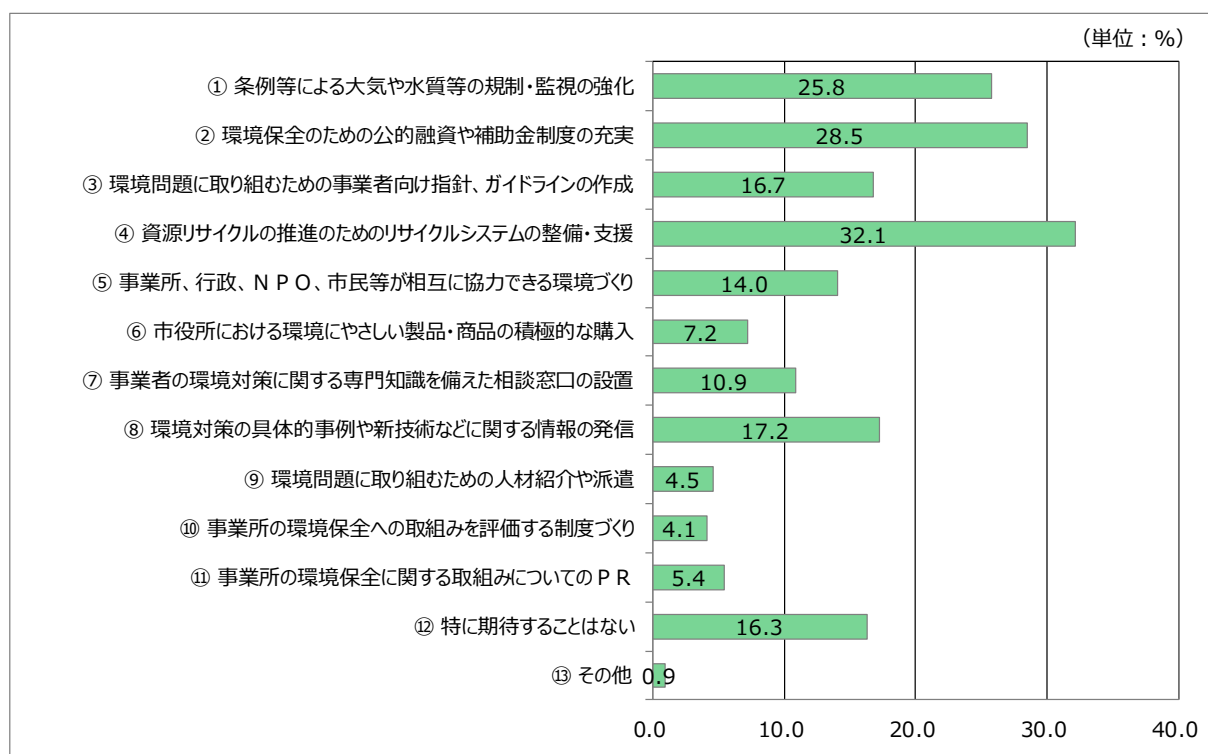
(1) Q12

貴事業所が環境配慮に関して市に望む環境施策は何ですか。
該当する番号に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

- ① 条例等による大気や水質等の規制・監視の強化
- ② 環境保全のための公的融資や補助金制度の充実
- ③ 環境問題に取り組むための事業者向け指針、ガイドラインの作成
- ④ 資源リサイクルの推進のためのリサイクルシステムの整備・支援
- ⑤ 事業所、行政、NPO、市民等が相互に協力できる環境づくり
- ⑥ 市役所における環境にやさしい製品・商品の積極的な購入
- ⑦ 事業者の環境対策に関する専門知識を備えた相談窓口の設置
- ⑧ 環境対策の具体的事例や新技術などに関する情報の発信
- ⑨ 環境問題に取り組むための人材紹介や派遣
- ⑩ 事業所の環境保全への取組みを評価する制度づくり
- ⑪ 事業所の環境保全に関する取組みについてのPR
- ⑫ 特に期待することはない
- ⑬ その他 ()

1) 全体

- ・「④資源リサイクルの推進のためのリサイクルシステムの整備・支援」が32.1%と最も高く、次いで「②環境保全のための公的融資や補助金制度の充実」が28.5%と高くなっている。
- ・「⑩事業所の環境保全への取組みを評価する制度づくり」が4.1%と最も低く、次いで「⑨環境問題に取り組むための人材紹介や派遣」が4.5%と低い。



8. 市の環境に関する意見

(2) Q13

市の環境について、お気づきのことやご意見などがありましたら、自由に記入して下さい。

・鉄道等の公共交通機関に関する意見、道路の整備に関する意見や防災を含めた安全に関する意見が挙げられている。

自由記述の回答

- ・地元のPOPやミニのぼり等、とても助かっております。白井をアピールできるポスターやのぼり、期待しています。
- ・活動等の実績や状況について何の情報も知識がないので、答えられない
- ・近年自然災害が多く発生しております。事業所前の道路が雨のたびに冠水することが多く精密機器を扱っているため、そのたびに事業所内で製品を移動しております。20年以上前から市のほうに対策をお願いしておりますが、早急に対応をお願い致します。
- ・産業廃棄物業者からの悪臭問題を改善お願い致します。工業団地内の道路が荒れております。工業団地内の緑化をお願い致します。春～秋までは生ごみ臭がひどいです。
- ・柏の葉公園のような広大で誰もが、いつでも使用できるような公園を造ってほしい。休日に家族連れ等で賑わうような施設がほしい。北総線の料金は高すぎる。
- ・安全で安心して生活ができる街づくりする白井市にしてほしい。例えば、道路に大型車トレーラーが駐車されている。なぜ駐車しているのか考えると工業団地にモータープールがない。物流を考えたときに大きな問題だと思う。
- ・市内の道路で脇にある排水溝に蓋がされていない所があり、危険を感じます。近年水害が増えている中で、手賀沼周辺の水害対策はされているのでしょうか。周辺の道路が水没したときの交通整理や水没しない工夫等
- ・北千葉道路の進捗。
- ・市内の至る所で見受ける「不法投棄」に対し、今以上の厳しい対応を望む（早急に）！※当社は作業する現場が全てお客様（施主様）の持ち物であるため、当方で出来ることに限界があり、材木の処理が中心となります。
- ・白井市には素晴らしい里山風景がある。どうかそういった部分を残しながら上手に発展してほしい。
- ・環境に対する情報がもっとほしい。
- ・道路、川等のごみ（ポイ捨て）
- ・わが社の様な小さな町工場から出るごみは少なくごみ処理業者に頼むと会社規模に見合わない契約料を取られるためどうしたらよいのか、困っている、近隣のクリーニング工場の振動に迷惑かけられている。いくら言っても改善してくれない。
- ・工業団地に水道を引いてほしい
- ・デンマークのような自転車専用道路ができたらいいな。不可能に近いぐらい困難な問題があるのでしょうか。

- ・市内外枠の環境整備することで、防犯・不法投棄対策にもなる。そして、緑化に特化した街づくりが次世代のためになると思います。
- ・木下街道・川原子街道での大型車の通行時の振動騒音をなくしてほしい。
- ・下水道、ガスの普及
- ・西白井地区については住民意識も含め環境にかかる取り組みが定着していると思います。強いてあげれば、コンビニ前のごみ、調整池におけるふきだまり、賃貸アパートのごみ管理
- ・市役所のとなりの公園などがあり、良いと思う。クリーンセンターが離れているので運送するのがつらい。
- ・事業所周辺は梨農家が多く朝から夕方まで剪定の枝を燃やして煙が漂い、煙くさい状態はいかがなものか。
- ・事業者としての要望：駅周辺において古い建物、団地、梨畑が多く所在する。街の景観として否定するわけではないが、だからといって整備されているというわけではないと考えます。事業者にとっても事務所や店舗として借りる環境はとても良いとは思えません。街の発展＝町の環境＝事業者の増加＝町の発展　といった考え方もあると思います。
- ・市の「ごみ収集車」、「資源ごみ回収車」の騒音対策とアイドリングストップの実施をご検討下さい。
- ・環境保全は重要事項と認識している。行政との協力は今後も継続していく予定です。
- ・環境対策として梨農家の剪定枝の焼却禁止
- ・ポイ捨て、歩きながらの喫煙の取り締まり条例等を作ってきれいな街づくりを行ってほしい。
- ・自分が知らないだけかもしれませんが、市が主導でなにか環境のことで取り組んでいるのを見たことも聞いたこともありません。もっとアピールするべきでは？
- ・私は公園のトイレを増やしてほしいと思っています。これは市によって例えば市川市や船橋市などは設置されている所が多いと思いますが、白井市は比較的少ないと思います。
- ・公共交通機関（バス路線）の充実を図ってない。

2.3 学生

1. 環境への取組に対する満足度及び重要度

(1) Q1

毎日の生活の中で、白井市の環境についてどのように感じていますか？

「はい」、「いいえ」、「わからない」の中からあなたの考えにもっとも近い答えを1つずつ選んで1～3の番号に“○”をつけてください。

- ①空気がきれいで、さわやかだ。いやなにおいがしない。
- ②川や水辺がきれい
- ③まわりが静かだと感じる（車やバイク、お店や工場の音がうるさくない）
- ④夜、星がたくさん見える
- ⑤野生の生きものを見かけることがよくある
- ⑥自然のままの緑が多く残されていると感じる
- ⑦まちのなかに植木や緑が多いと感じる
- ⑧街なみや田んぼなどの風景がきれいだと感じる
- ⑨歩道、自転車道を安心して歩ける（自転車に乗ることができる）
- ⑩ごみのポイ捨てをよく見かける
- ⑪ひとり一人の節電意識が高い
- ⑫建物などにおける、太陽光発電などの積極的な利用が進んでいる
- ⑬まちの環境活動に参加する機会がある
- ⑭まちの環境について勉強する機会がある

満足度

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. わからない

上の①～⑭の中から、あなたが特に大切だと思うものを3つ選び、下の赤い四角の中に記入してください。

重要度

1 位

2 位

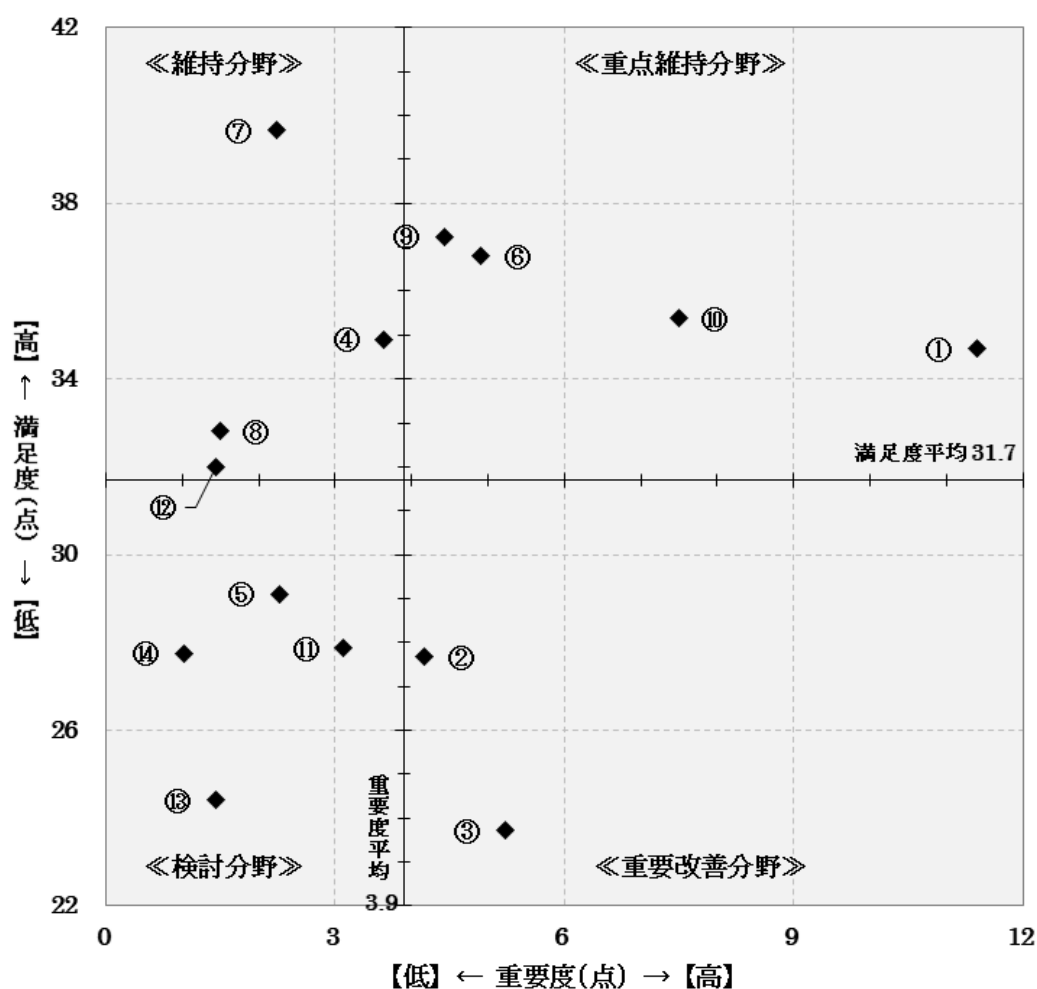
3 位

1) 全体

- ・ 満足度が高い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)
 - 1 まちのなかに植木や緑が多いと感じる (39.67 点)
 - 2 歩道、自転車道を安心して歩ける自転車に乗ることができる (37.24 点)
 - 3 自然のままの緑が多く残されていると感じる (36.79 点)
 - 4 ごみのポイすてをよく見かける (35.39 点)
 - 5 夜、星がたくさん見える (34.91 点)
- ・ 満足度が低い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は満足度を点数化した平均値)
 - 1 まわりが静かだと感じる (車やバイク、お店や工場の音がうるさくない) (23.72 点)
 - 2 まちの環境活動に参加する機会がある (24.41 点)
 - 3 まちの環境について勉強する機会がある (27.76 点)
 - 4 川や水辺がきれい (27.68 点)
 - 5 ひとり一人の節電意識が高い (27.88 点)
- ・ 重要度が高い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)
 - 1 空気がきれいで、さわやかだ。いやなにおいがしない。 (11.40 点)
 - 2 ごみのポイすてをよく見かける (7.49 点)
 - 3 まわりが静かだと感じる (車やバイク、お店や工場の音がうるさくない) (5.22 点)
 - 4 自然のままの緑が多く残されていると感じる (4.91 点)
 - 5 歩道、自転車道を安心して歩ける自転車に乗ることができる (4.43 点)
- ・ 重要度が低い上位 5 つは次のものとなっている。(括弧内は重要度を点数化した平均値)
 - 1 まちの環境について勉強する機会がある (1.03 点)
 - 2 まちの環境活動に参加する機会がある (1.43 点)
 - 3 建物などにおける、太陽光発電などの積極的な利用が進んでいる (1.44 点)
 - 4 街なみや田んぼなどの風景がきれいだと感じる (1.49 点)
 - 5 まちのなかに植木や緑が多いと感じる (2.23 点)
- ・ 緑に関する項目の満足度は全体として高い傾向にある。公害 (空気のきれいさ、静かさ等) について、重要度が高い傾向にある。
- ・ 環境活動の参加や環境教育の機会について、満足度と重要度がどちらも低くなっている。
- ・ 川や水辺のきれいさ、まわりの静かさは重点改善分野となっている。
- ・ 空気のきれいさ、緑の維持、歩道の整備、ごみのポイ捨てが重点維持分野となっている。

※ 満足度・重要度の点数化方法は 41 ページの「散布図の見方」を参照

■ 満足度、重要度の散布図（全体）

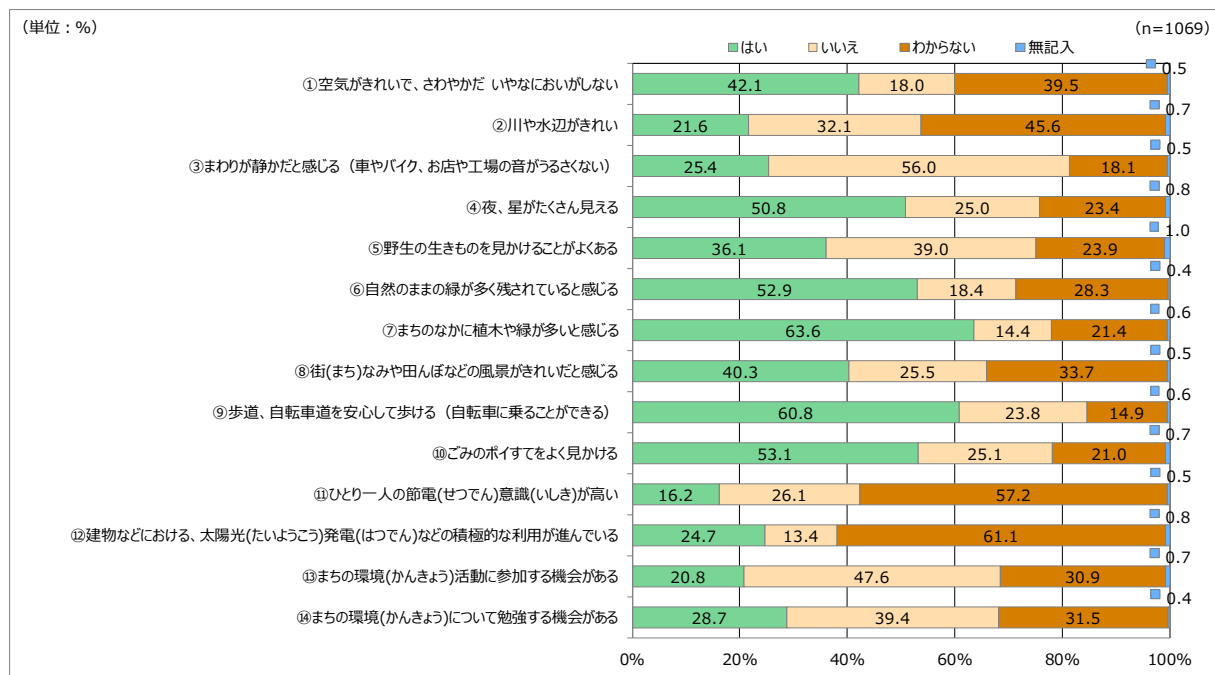


〈散布図〉

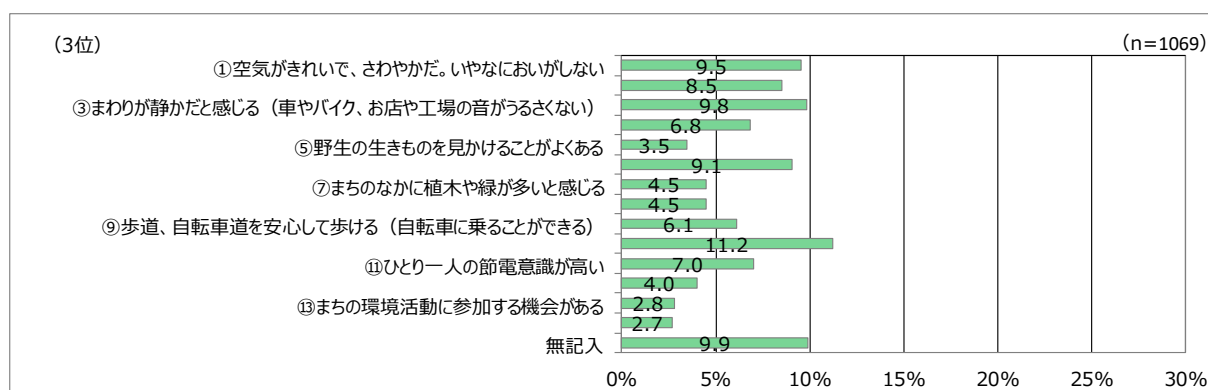
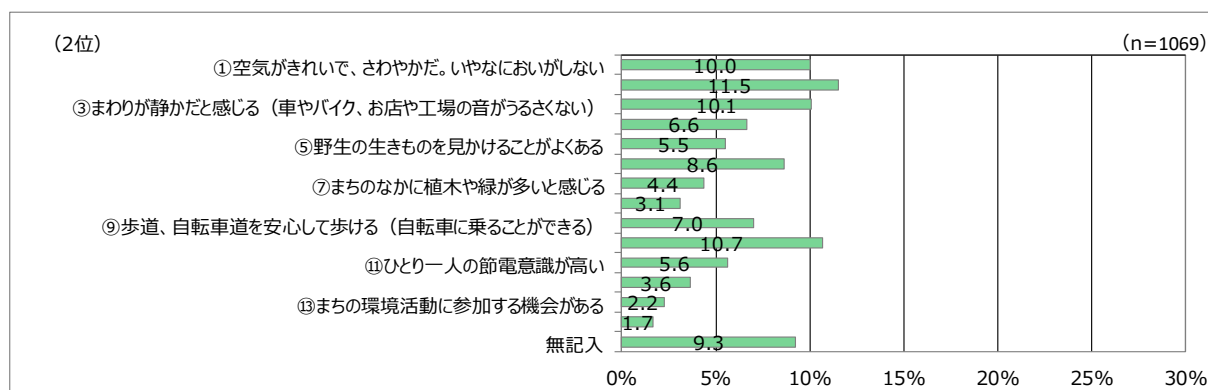
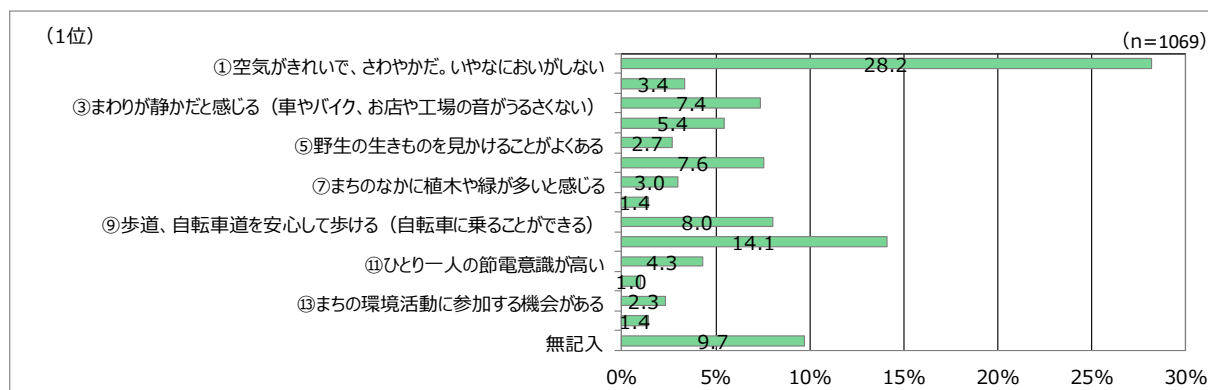
◆ 満足度と重要度の点数化（回答者の平均値）

No.	項目	満足度	重要度
①	空気がきれいで、さわやかだ。いやなにおいがしない。	34.69	11.40
②	川や水辺がきれい	27.68	4.16
③	まわりが静かだと感じる（車やバイク、お店や工場の音がうるさくない）	23.72	5.22
④	夜、星がたくさん見える	34.91	3.64
⑤	野生の生きものを見かけることがよくある	29.11	2.26
⑥	自然のままの緑が多く残されていると感じる	36.79	4.90
⑦	まちのなかに植木や緑が多いと感じる	39.67	2.23
⑧	街なみや田んぼなどの風景がきれいだと感じる	32.82	1.49
⑨	歩道、自転車道を安心して歩ける自転車に乗ることができる	37.24	4.43
⑩	ごみのポイすてをよく見かける	35.39	7.49
⑪	ひとり一人の節電意識が高い	27.88	3.12
⑫	建物などにおける、太陽光発電などの積極的な利用が進んでいる	32.01	1.44
⑬	まちの環境活動に参加する機会がある	24.41	1.43
⑭	まちの環境について勉強する機会がある	27.76	1.03
平均		31.72	3.87

①-1 満足度



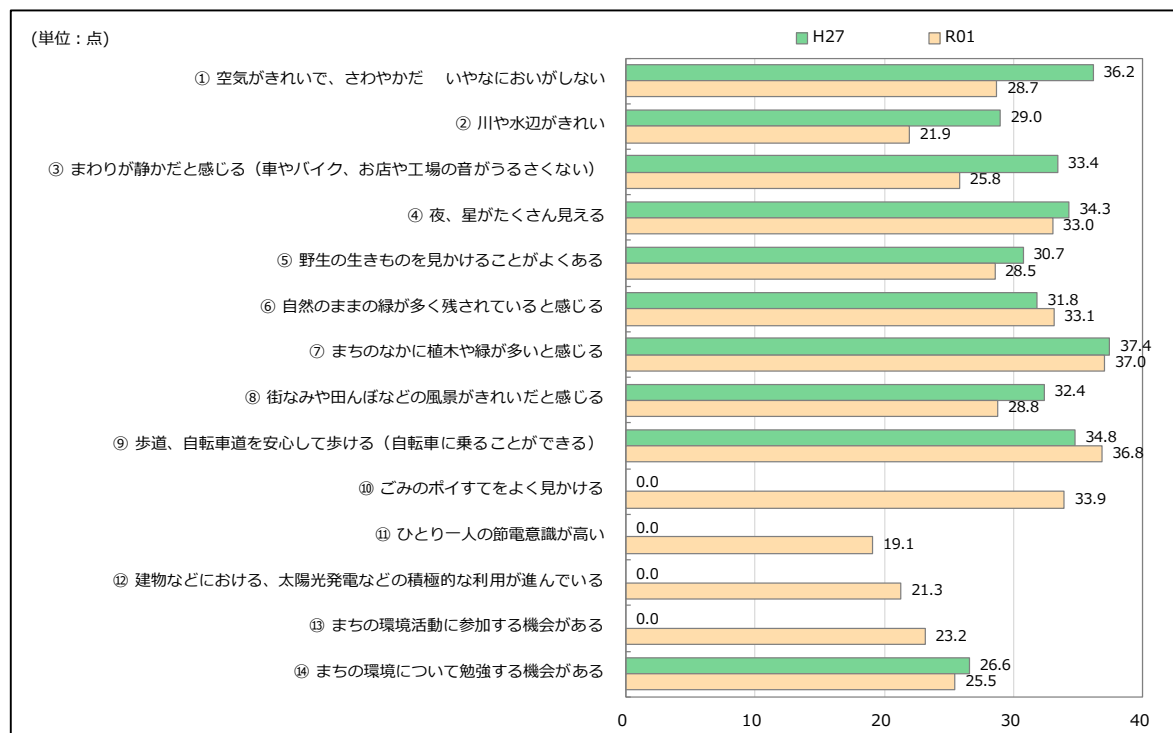
①-2 重要度



1) 経年変化

①-1 満足度

- ・H27の結果と比較すると、「⑨歩道、自転車道を安心して歩ける」の満足度が2.1点と最も増加している。
- ・H27の結果と比較すると、「③まわりが静かだと感じる」の満足度が7.6点と最も減少している。

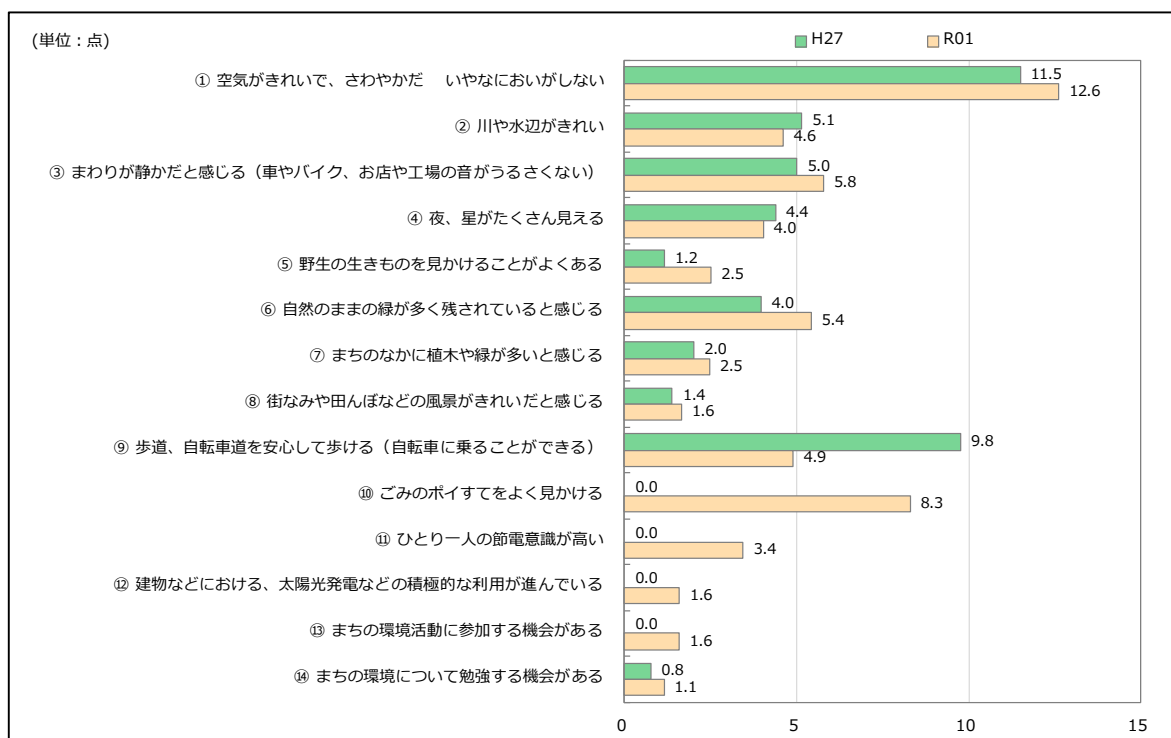


※点数は、「満足」50点、「やや満足」40点、「普通」30点、「やや不満」20点、「不満」10点としてそれぞれの回答者数を掛け合わせ、その合計点を項目ごとの全回答者数で割った「加重平均点」によって算出

※点数が0の項目は過去のアンケートで未実施

①-2 重要度

- ・H27の結果と比較すると、「⑥自然のままの緑が多く残されていると感じる」の重要度が1.5点と最も増加している。
- ・H27の結果と比較すると、「⑨歩道、自転車道を安心して歩ける」の重要度が4.9点と最も減少している。



※点数は、「1位」30点、「2位」20点、「3位」10点としてそれぞれの回答者数を掛け合わせ、その合計点を全回答者数で割り「加重平均点」を算出している

※点数が0の項目は過去のアンケートで未実施

2. 環境の保全に関わる行動の取組状況

(1) Q2

環境をよくするために、あなたがしていることは何ですか？

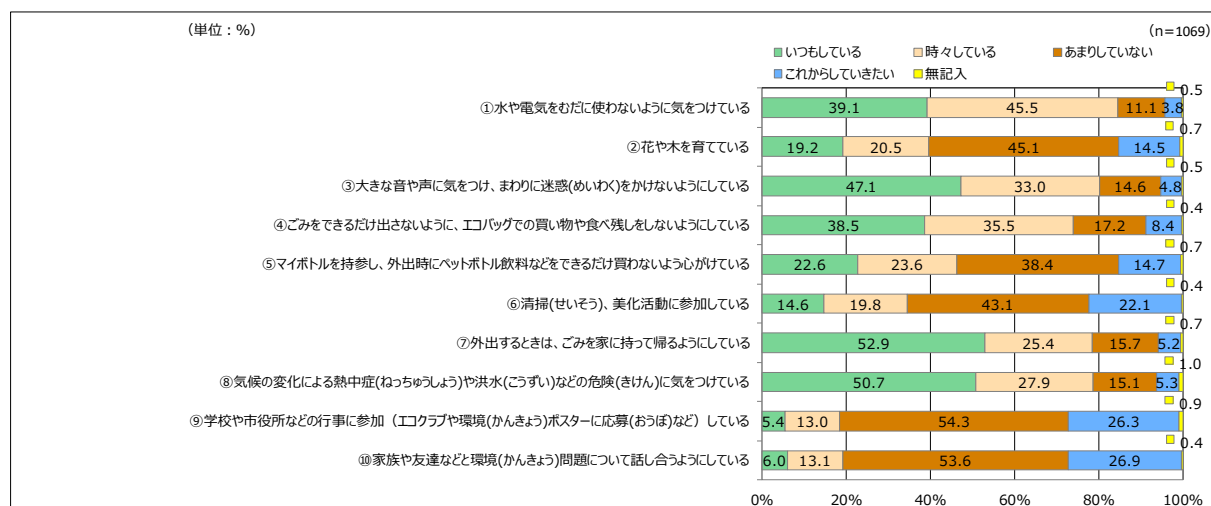
「いつもしている」「時々している」「あまりしていない」「これからしていきたい」の中からあなたの考えにもっとも近い答えを1つずつ選んで1～4の番号に“○”をつけてください。

- ①水や電気をむだに使わないように気をつけている
- ②花や木を育てている
- ③大きな音や声に気をつけ、まわりに迷惑をかけないようにしている
- ④ごみをできるだけ出さないように、エコバッグでの買い物や食べ残しをしないようにしている
- ⑤マイボトルを持参し、外出時にペットボトル飲料などをできるだけ買わないよう心がけている
- ⑥清掃、美化活動に参加している
- ⑦外出するときは、ごみを家に持って帰るようにしている
- ⑧気候の変化による熱中症や洪水などの危険に気をつけている
- ⑨学校や市役所などの行事に参加（エコクラブや環境ポスターに応募など）している
- ⑩家族や友達などと環境問題について話し合うようにしている

- ①いつもしている
- ②時々している
- ③あまりしていない
- ④これからしていきたい

1) 全体

- ・「①水や電気をむだに使わないように気をつけている」の実施率（いつもしていると時々しているの合計値）は84.6%と最も高く、次いで「③大きな音や声に気をつけ、まわりに迷惑をかけないようにしている」が80.1%と高い。
- ・「⑨学校や市役所などの行事に参加している」が18.4%と最も低く、次いで「⑩家族や友達などと環境問題について話し合うようにしている」19.1%と低い。



3. 望ましい環境像

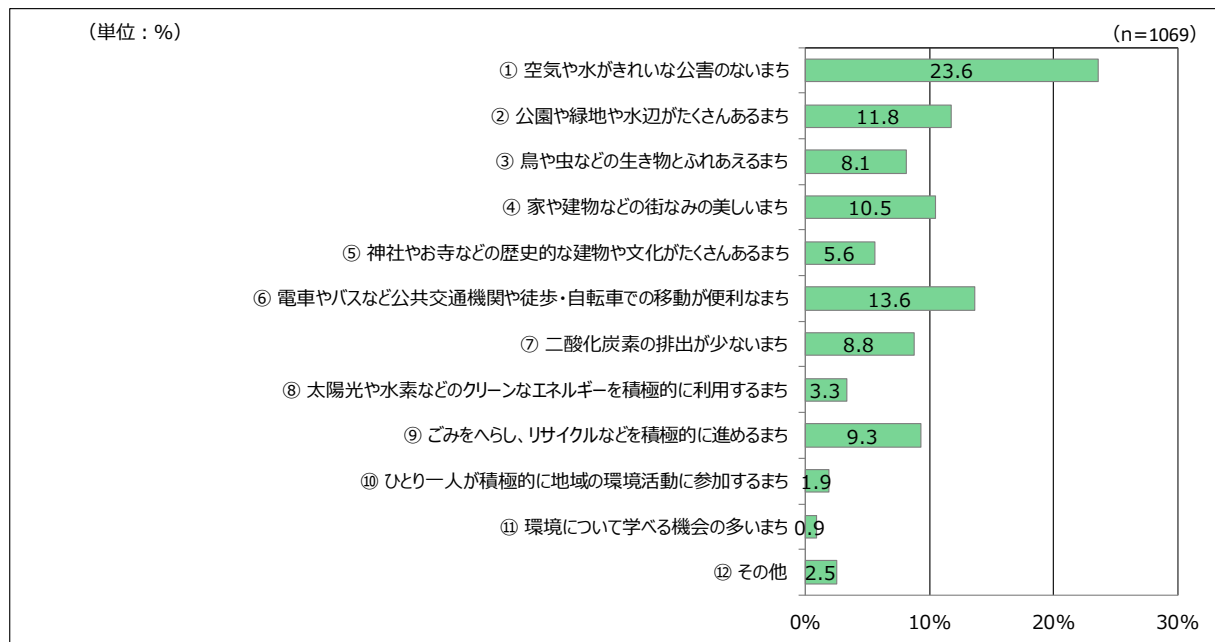
(1) Q3

あなたが「いいな」と思う未来の白井市は、どんなまちですか？
下の番号から3つ選んで“○”をつけてください。

- ① 空気や水がきれいな公害のないまち
- ② 公園や緑地や水辺がたくさんあるまち
- ③ 鳥や虫などの生き物とふれあえるまち
- ④ 家や建物などの街なみの美しいまち
- ⑤ 神社やお寺などの歴史的な建物や文化がたくさんあるまち
- ⑥ 電車やバスなど公共交通機関や徒歩・自転車での移動が便利なまち
- ⑦ 二酸化炭素の排出が少ないまち
- ⑧ 太陽光や水素などのクリーンなエネルギーを積極的に利用するまち
- ⑨ ごみをへらし、リサイクルなどを積極的に進めるまち
- ⑩ ひとり一人が積極的に地域の環境活動に参加するまち
- ⑪ 環境について学べる機会の多いまち
- ⑫ その他 ()

1) 全体

- ・「①空気や水がきれいな公害のないまち」が23.6%と最も高く、次いで、「⑥電車やバスなど公共交通機関や徒歩・自転車での移動が便利なまち」が13.6%と高くなっている。
- ・「⑪環境について学べる機会の多いまち」は0.9%と最も低い。



4. 大切だと思うまたは将来に残したい場所について

(1) Q4

白井市内で、あなたが大切だと思う“場所”または将来に残したい“場所”はありますか？
具体的に、その場所と残したい理由を記入してください。

場所	理由
----	----

- ・大切と思う場所の回答で最も多かったのは「七次川調整池」の 36 件であった。理由は「オオハクチョウの観察ができるから」などオオハクチョウに関するものが多い。
- ・次いで、活用する機会の多い公園を残したい場所とした回答が多かった。

大切だと思うまたは将来に残したい場所 (回答数上位 5 ヶ所)	回答数	主な理由
七次川調整池	36	・冬になるとハクチョウが観察できる ・動物が多くいる
木戸公園	31	・桜がきれい ・遊具が多くて、公園が広い
総合公園	31	・自然が豊か ・公園が広い
南山公園	22	・緑豊かで静かに過ごせる ・生きものが多い
笹塚公園	20	・桜がきれい ・よく遊ぶ公園

5. 環境に関する情報の認知度

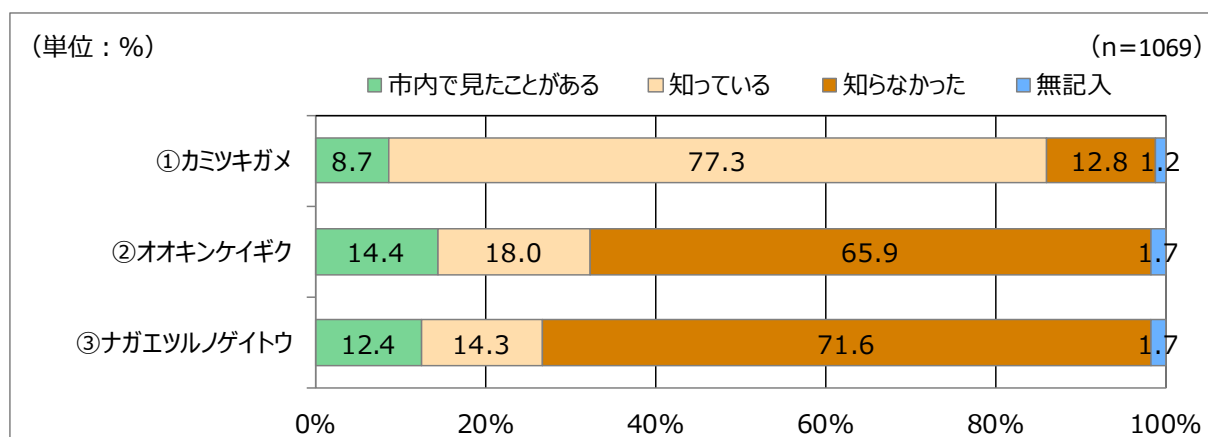
(1) Q5

次の動物・植物は、白井市で見つっているものです。あなたの知っているものがありますか？下の番号からもっとも近い答えを1つずつ選んで1～3の番号に“○”をつけてください。

- ①市内で見たことがある
- ②知っている
- ③知らない

1) 全体

- ・全ての項目で、「市内で見たことがある」と答えたのは10%前後であった。
- ・「①カミツキガメ」を「知っている」と答えた人は77.3%と高い一方で、「②オオキンケイギク」、「③ナガエツルノゲイトウ」は「知らなかった」が65%～72%と高い。



(2) Q6

あなたは次のロゴマークを知っていますか？下の番号からもっとも近い答えを1つ選んで1～3の番号に“○”をつけてください。

- ①意味を知っている
- ②見たことはある
- ③始めて見た

1) 全体

- ・「初めて見た」が60.6%と最も多く、「意味を知っている」が5.4%と最も少ない。

